


ACCESS MAP 交通のご案内

【編集・発行】横浜市立大学
2024.05

■ 舞岡キャンパス(木原生物学研究所)




〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12
TEL.045-820-1900
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

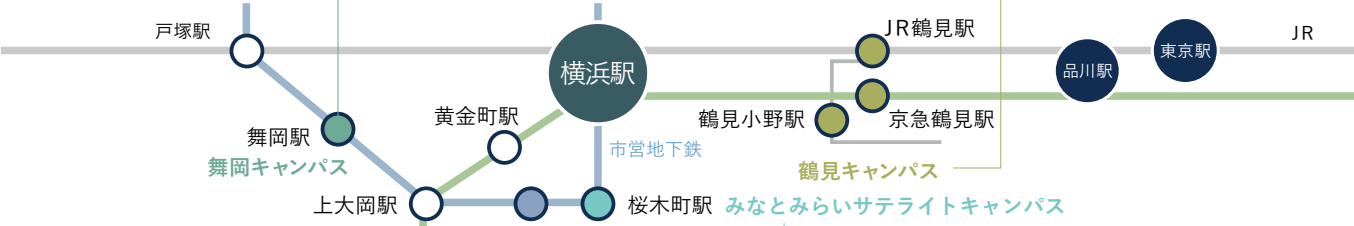
- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科
【生命環境システム科学専攻】
- 木原生物学研究所

■ 鶴見キャンパス




〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29
TEL.045-508-7201, 7202
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、「理研・市大大学院前」下車
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分

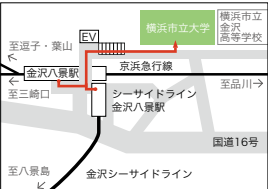
- 理学部
- 生命医科学研究科
【生命医科学専攻】



■ 金沢八景キャンパス



- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部(医学科・看護学科)※1年次
- 都市社会文化研究科
【都市社会文化専攻】
- 国際マネジメント研究科
【国際マネジメント専攻】
- 生命ナノシステム科学研究科
【物質システム科学専攻】
【生命環境システム科学専攻】
- データサイエンス研究科
【データサイエンス専攻】
【ヘルスデータサイエンス専攻】

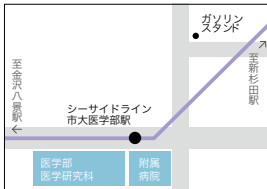


〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2311
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

■ 福浦キャンパス



- 附属病院
- 医学部(医学科・看護学科)
- 医学研究科【医科学専攻】[看護学専攻]
- 先端医科学研究センター



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
福浦キャンパス TEL.045-787-2511
附属病院 TEL.045-787-2800
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

■ みなとみらいサテライトキャンパス




〒220-8107 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー7階
TEL.045-681-7560
●横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩3分
●市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分
●JR京浜東北線・横浜線「桜木町駅」下車徒歩5分

- データサイエンス研究科
【ヘルスデータサイエンス専攻】

■ 附属市民総合医療センター




〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57 TEL.045-261-5656
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分 ●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分



※デバイスによっては読み取れない場合があります

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

X @YCU_koho
LINE @yokoichi
Facebook YokohamaCityUniv
Instagram yokohama_city_university
横浜市立大学 アドミッションズセンター
〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057
www.yokohama-cu.ac.jp



YCU 大学案内 2025 横浜市立大学

YOKOHAMA
CITY UNIVERSITY

Start in Yokohama!

YCU・横浜市立大学
2025
GUIDE BOOK

START IN YOKOHAMA.

ヨコハマから始まる



CONTENTS

・目次・

プロローグ 02

- ・ 学長メッセージ 02
- ・ 横浜市立大学の3つの特長 03
- ・ ヨコハマと歩む 04
- ・ 活躍する卒業生 06
- ・ Researcher Interview 10
- ・ 最新の研究NEWS 11
- ・ 数字で見るYCU 12

YCU教育の特長 14

- ・ 学部・大学院構成 14
- ・ 学部教育のカタチ 16

YCUの共通教養 16

グローバル教育 22

- ・ 海外で学ぶ
海外で実践する 22
- ・ グローバル人材育成 24
- ・ 短期留学・研修プログラム 25
- ・ 長期留学・研修プログラム 26
- ・ 海外フィールドワーク
支援プログラム 28
- ・ 海外インターンシップ 29

ヨコハマで学ぶ 30

領域横断教育 32

学部紹介

国際教養学部 34

国際商学部 40

理学部 46

データサイエンス学部 52

医学部 58

- ・ 医学科 60
- ・ 看護学科 68
- ・ 2つの附属病院 75

研究施設・連携研究機関 76

- ・ 先端医科学研究センター 76
- ・ 次世代臨床研究センター 76
- ・ 鶴見キャンパス 78
- ・ 木原生物学研究所
(舞岡キャンパス) 79
- ・ 連携大学院・海外連携機関等 80
- ・ みなとみらいサテライト
キャンパス 80

学生支援 81

- ・ 学生サポート 81
- ・ キャリアサポート 82
- ・ 内定者の声
インターンシップ 83

キャンパスライフ 84

- 数値で見る学生生活/
学生お気に入りスポット/
YCUトリビア/
YCUの1年 84
- 実家暮らし・一人暮らし 86
- Club/Circle 88
- キャンパス紹介
金沢八景キャンパス 90
福浦キャンパス 92

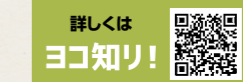
学費・奨学金 94

YCUの最新情報 96

WEBへのアイコンについて



さらに詳しい情報はWEBサイトに掲載中!
WEBサイトでは常に最新情報を
発信しているので、要チェック!



受験生向けWEBマガジン「ヨコ知り!」では、
受験に役立つ情報やYCU生の
キャンパスライフを発信中!



GO GLOBAL.
START IN
YOKOHAMA.



石川 義弘
YOSHIHIRO ISHIKAWA

1959年3月生まれ。神奈川県出身。医学博士。日本及び米国医師免許登録。専門は循環制御医学。1984年 横浜市立大学医学部医学科卒業。在学中にイエール大学医学部に留学。その後、コロンビア大学医学部助教授、ハーバード大学医学部助教授、ラトガース大学医学部教授などを歴任。1998年より横浜市立大学医学部循環制御医学教室主任教授。同大学院医学研究科長、医学群長、副学長、学術情報センター長、学長補佐などを経て、2024年4月より現職。

PRESIDENT'S MESSAGE | 学長メッセージ



キーワードは 「DIGITAL、MEDICAL、GLOBAL」

「世界初」を生み出すゲームチェンジャーを横浜の地から輩出したい

横浜市立大学は、日本最大の基礎自治体である横浜市にキャンパスを構え、商学部と医学部をルーツとする大学です。その歴史は古く、1882年に設立された横浜商法学校を起源とする横浜市立横浜商業専門学校と1944年設立の横浜市立医学専門学校(後の横浜医科大学)が統合し、横浜市立大学としての歴史を積み重ねてきました。その後、大規模な学部・研究科の再編・新設をはじめとする大学改革を経て、現在の5学部6研究科体制となっています。

明治初期に医学部のルーツとなる仮病院の設立・運営に携わった医師の早矢仕有的先生は銀行などを創業した起業家でもありました。そのアントレプレナーシップ(起業家精神)は、現在の横浜市立大学にも受け継がれています。

『不確実性の時代』と言われている今、横浜市立大学に求められるのは、横浜の地から日本、そして世界をリードするような人材を輩出することです。

コンパクトなサイズが強みである本学は、少人数による教育に取り組み、学生と教職員との距離感が近いことも大きな特長です。経済支援やキャリア支援などさまざまな学生支援も充実しています。学生が幅広い視野を持ち、常に新たな挑戦を続けられるように、分野横断型の「ADEPTプログラム(AI Data Science Education Program for Tomorrow)」や「医療イノベーション人材育成プログラム」、「起業家育成プログラム」なども設置しています。

これらの教育環境に加えて、世界に誇る研究力も横浜市立大学の強みです。それぞれの学問領域において独創的・先端的な研究を数々発信し続けると共に、領域横断的に新たな価値を創出し社会のイノベーションに繋がる研究にも取り組んでいます。また、二つの附属病院においては、安全かつ高度で先進的な医療を提供しています。感染症のパンデミックの対応や高度救命救急医療など、横浜市民の安心・安全のために「最後の砦」としての役割を果たしています。さらに本学が持つ教育・研究等のリソースを活用し、SDGsの目標達成に向けて取り組んでいます。

これまで、名実共に横浜と歩んできた横浜市立大学は2028年に創立100周年を迎えます。伝統と革新のその先に、さらなる発展を誓い、これからも横浜市立大学は「知の拠点」として教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすべく、より良い大学づくりを進めます。

横浜市立大学 学長 石川 義弘

横浜市立大学の 3つの特長

YCU's
Special
Features

教育 プログラム

広い視野と知識から、 自らの専門性を切り拓く

- すべての学生が1年次の共通教養科目で、専門科目の基盤となる知識、姿勢、思考法を学べる
- Practical EnglishやAdvanced Practical Englishで、英語によるコミュニケーション力を鍛えられる
- 少人数の演習等、多彩な教授陣による専門教育が受けられる領域横断型のプログラム



地域貢献と グローバル

国際都市横浜で学び、 世界に通用する力を身に付ける

- 横浜というフィールドで課題を発見し、解決策の実践を通して地域や世界の問題を学べる
- 駐日大使の講演会や国際イベントへの参加等、横浜にしながら多様な国際経験を積める
- 海外フィールドワークや留学、海外インターンシップで、世界へと飛び出し、自分を試せる



きめ細かな 学生支援

コンパクトだから、 温かい距離感

- 教養ゼミやPractical English、専門での演習等、少人数クラスで自ら、能動的に学べる
- 学生数約5,000人という規模だからこそ、教員との距離が近く、親身な指導が受けられる
- 履修や課外活動、留学や就職相談等、スタッフから手厚いサポートが受けられる



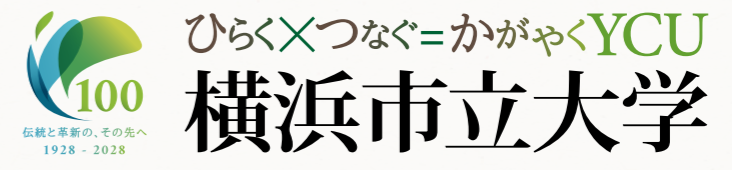
YCUの源流は、明治初頭に設立された横浜商法学校、横浜仮病院まで遡る。明治の早い時期に商業学校や病院が設立されたのは、当時、横浜が日本第一の貿易港で国際商業都市だったから。その後、創立される1928年の横浜市立横浜商業専門学校（Y専）、1944年の横浜市立医学専門学校を経て、1949年に新制大学として横浜市立大学に。以来、開国、開港の地である横浜にふさわしい、開放的で国際性、進取性に富む学風は、YCUの伝統として受け継がれている。

横浜市立大学は2028年で創立100周年



金沢八景
キャンパス
上:1950年
下:現在

1928年の創立から常に横浜と歩み進化し続けてきたYCU。2025年度の新入生は学生として大学の歴史的瞬間と一緒に迎える仲間となります。さまざまな記念事業プロジェクトやイベントを通じて、皆さまとともに祝い、感謝を伝え、これからの100年の発展を誓います。

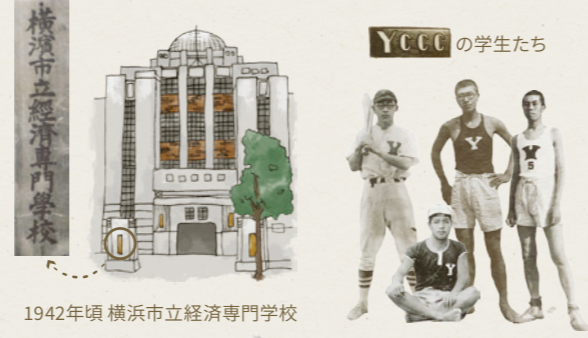


1882



横浜市立大学創立年

1942



1942年頃 横浜市立経済専門学校

1944



学生生活も戦時色が濃くなる。
1944年卒業アルバムより

横浜市立大学
新制大学の設置認可
横浜医科大学設立

1955



1955年 校歌発表会（県立音楽堂）

金沢八景キャンパス
in 1957

2018



2018年4月 首都圏初の
データサイエンス学部誕生

2028

1882 1888 1917 1928

横浜商法学校 (Y校) 横浜商業学校 横浜市立横浜商業学校 横浜市立横浜商業専門学校 (Y専)

1944 1949

横浜市立経済専門学校 横浜市立大学商学部

1952 1971

横浜市立大学 (商・文理・医) 横浜市看護婦養成所 医学部附属高等看護学校

1995

横浜市立大学 (国際総合科学部・理・医) 看護短期大学部

2005

横浜市立大学 (国際総合科学部/国際総合科学科、医学部/医学科・看護学科)

2018

横浜市立大学 (国際総合科学部、データサイエンス学部、医学部/医学科・看護学科)

2019 2028

横浜市立大学 (国際総合科学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部/医学科・看護学科)

1944 1949

横浜市立医学専門学校 横浜医科大学

1991 2000 2005

医学部附属浦舟病院 医学部附属市民総合医療センター 附属市民総合医療センター

1991 2005

医学部附属病院 附属病院

1871 1872 1874 1891 1898

横浜仮病院 横浜中病院 横浜共立病院 県立十全医院 横浜市十全医院 横浜市立十全看護婦養成所

1871年、早矢仕有的が「仮病院」を開設



早矢仕有的 (1837-1901)

米国人宣教師兼医師として来日。仮病院では週1回診療をし、1880年まで十全医院の中心となって活躍した。



Duane B. Simmons (1834-1889)

1874



JUZEN HOSPITAL

1924

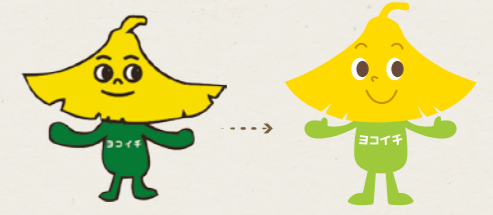


1924年 大震災後の仮病院

1987



1987年 医学部が福浦キャンパスに移転



横浜市立大学キャラクター「ヨッチー」
創立80周年企画で、2008年に誕生。
学生プロジェクトの発案、デザインをもとに、
在学生、卒業生、教職員からの人気投票により決定。

1958



1958年頃の横浜市立大学
医学部病院 (浦舟)

大学院沿革

医学研究科 (1961～)、経営学研究科・経済学研究科 (1970)、総合理学研究科 (1989)、総合理学研究科・連携大学院/生体超分子システム科学専攻 (2001)・国際文化研究科 (1993) を統合して国際総合科学研究科 (2005～2009) を設置、国際総合科学研究科を再編し、都市社会文化研究科、国際マネジメント研究科、生命ナノシステム科学研究科を設置 (2009～)、医学研究科看護学専攻 (2010～)、生命医科学研究科 (2013～)、医学研究科看護学専攻博士後期課程 (2018～)、データサイエンス研究科 (2020～)、ヘルスデータサイエンス専攻博士後期課程 (2023～)



将来は海外の生産拠点で、
技術と語学力を駆使して
活躍したい

詳しくは
ココ知り!



PROFILE.

Name 森下 樹里 Julie Morishita
Class of 2021 年度卒
Course 生命ナノシステム科学研究科
物質システム科学専攻

株式会社資生堂
掛川工場 技術部 中味技術グループ

日本のグローバル企業で化粧品の研究開発

▼株式会社資生堂のプロダクトエンジニアとして製品の開発研究に携わる森下樹里さん。研究職の枠を超え、幅広い業務をこなしている。

「私が所属するサプライネットワーク領域は量産化、物流までを考慮して新製品の開発研究を行う分野です。研究のほか研究所やマーケティング担当者も協力しながら新製品の企画開発や提供プロセスなどについて話し合う事も。いろいろなチャレンジできる職場環境ですね。語学力を生かし、海外拠点にいる外国人の上司が現場に訪れた際の通訳や、他の業務において英語を必要とする際にサポートする事もあります」

森下さんは子どものころからメイク方法よりも、化粧品の成分やその効果のほうに興味があったそう。高校時代には成分表を参考に口紅を自作するほど研究熱が高まっていた。

「YCUを選んだのは、興味のある分野を自由に研究できる自主研究プログラム(理数マスター育成プログラム)がある点に惹かれたから。大好きな化粧品の成分研究が思う存分できる!と思ったんです。

自主研究プログラムでは成分分析などを主に行う研究室に参加し、高校時代に試作した製品の原料に焦点を当て、2〜3年次に本格的な研究に取り組みました。YCUの研究室や自主研究プログラムの経験で得た分析力や論理的思考は、現在の業務にも活かされています」

日々、その力を実感 YCUで培った実践的スキル

▼YCUの国際的な環境やサークル活動で培った語学力とコミュニケーションスキルは、業務上とても重要な役割を果たしている事を実感しているという。

「YCUで学んだ事がすべてのベースになっています。将来の目標は、まずは現場で基本をしっかり身に付け、いずれは技術と語学力を駆使して海外の生産拠点で貢献したいと考えています。

受験勉強は大変ですが、その苦労に見合う豊かな経験がYCUで待っています。特に理系を目指す人には自主研究プログラムや英語で行われる理系の授業にチャレンジしてほしいと思います。YCUならではの貴重な体験がたくさんあります。頑張ってください!」



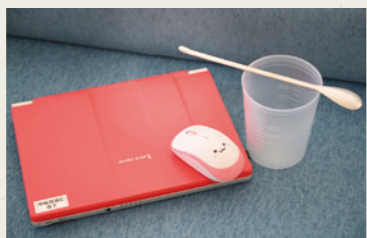
これまで研究開発に携わってきた製品で印象に残るものは?という問いにインウイというブランドのパウダーファンデーションと答えてくれた。

「初めて担当した製品で戸惑う事も多かったのですが、先輩方の協力を得ながら開発を進めました。商品化された実物を手に取った時の喜びは格別でした!」

受験生応援メッセージ

"Where there's a will there's a way"
どんな困難な道でも
意志さえあれば
必ず道は開ける!!

私の仕事道具



資生堂カラーの赤があざやかな愛用のパソコンとマウス。勤務中は生産エリアや実験室など色々な場所にパソコンを持ち運んで作業する。右のカップとスプーンは実験で薬品を混ぜるためのもの。カップは軽くて丈夫なポリプロピレン製。

学生時代のEPISODE



大学院の仲間たちと一緒に撮影した卒業式の写真(前列中央が森下さん)。仲間たちと理学系研究棟1階にある「知的たまり場」という部屋に集まって、実験のレポートや課題などに取り組んでいたのが当時の思い出。

受験生応援メッセージ

金銭のことニ
意味がある!!

私の仕事道具



仕事で使用するモバイルモニターと、PCスタンド、マウスなど。モニターとマウスは必需品で、これがないと仕事の効率が落ちてしまう。また、終日画面を見続けるため、PCスタンドで角度を付けると首の痛みを軽減できるのだそう。

学生時代のEPISODE



高校の同級生で、国際総合科学部(現・理学部)に入学した友達(右)と北海道に旅行した時のスナップ。大学時代は休みが長く、時間も作りやすかったため、出野さんは度々機会を見つけて旅行を楽しんでいた。

あらゆる経験を糧に、
グローバルに活躍する
スキルを磨き続ける



詳しくは
ココ知り!



PROFILE.

Name 出野 遥 Haruka Ideno
Class of 2021 年度卒
Course データサイエンス学部
データサイエンス学科

富士通株式会社
ジャパン・グローバルゲートウェイ
エンタープライズアプリDivision

した。その時ITが人々に与える影響の大きさや可能性を感じた事がその後の私の進路を決定づけました。

また、大学2年生の時、大西先生先生の授業で空間情報をコンピュータ上で作成・保存・利用・管理・表示・検索ができる地理情報システム『OGIS』を使用する機会がありました。この授業で、これまで数字のみで表されてきたデータを地図上にビジュアル化する楽しさと奥深さに魅了された事も大きいですね」

日々、その力を実感 YCUで培った実践的スキル

▼将来は、世界に何かしらの形でつながりを築く存在になりたい、と話す出野さん。学生時代に始めたオンス

YCUで鍛えた英語力で世界をつなぐ役割を担う

▼日本を代表する総合エレクトロニクスメーカーである富士通株式会社でSEとして活躍中の出野遥さん。日本のみならず海外のメンバーとも連携しながら業務をこなす忙しい毎日を通す。

「システム開発や保守運用サービスの提供を目的とする部署に所属し、そこで私はSEとして、製造業のお客様向けのシステム刷新プロジェクトに携わっています。主にインドやフィリピンなどアジア圏のメンバーと連携しながら業務を進めています。基本的にやり取りは英語ですが、大学2年の時に受講していたAPE(アドバンスド・プラクティカル・イングリッシュ)という英語の授業でも実践的なコミュニケーションスキルを磨いた経験が、仕事に取り組みうえてしっかり私を支える基礎になっているように思います」

出野さんがIT業界に関心をもちたきっかけは新型コロナウイルスの感染拡大だった。

「二密回避という事で対面交流ができなくなった頃、オンライン授業やオンライン飲み会などを通じてかろうじて人とのつながりを保っていました。二密回避という事で対面交流ができなくなった頃、オンライン授業やオンライン飲み会などを通じてかろうじて人とのつながりを保っていました。





大学病院から地域医療まで 総合診療医として 最前線で戦う



詳しくは
ココ知り!



PROFILE.

Name 石塚 晃介 Kousuke Ishizuka
Class of 2015年度卒
Course 医学部 医学科

横浜市立大学附属
市民総合医療センター
総合診療科 部長代理/助教

**大学病院は「最後の砦」
強い責任感を持って診療する**

▼横浜市立大学附属市民総合医療センターに勤務する石塚晃介さん。幼少期から人の役に立ち、人を笑顔にさせる職業に就きたいと思っていた。「もともと理系で、『日々人の役に立て、成果が出る仕事に就きたい』と思い、医師を志望しました」

石塚さんは現在、総合診療医として大学病院と医療不足地域の病院の2か所で勤務している。

「大学病院では、原因不明の病気を持つ方と対峙することが多いのですが、薬をもつがる思いで訪れた彼らにとって、自分が『最後の砦』なのだという自覚を持って、日々患者さんと向き合っています。一方、医療を受けるのが難しいへき地で、診断や治療をしています。風邪などの急性疾患への対処や、生活習慣病など慢性疾患の管理を、地域や生活背景を含めたマネジメントを意識して行います」

石塚さんが医師として大切にしていくのは「患者さんの症状に対して、包括的に診て、統合されたアプローチを行うこと」だといいます。

「特に大学病院の患者さんは、複合的な原因で診断が難しい方が多く、彼らを適切に診断できて、治療へと繋がった際は、やりがいを感じます」

**大学病院から地域医療まで
専門性を武器に最前線で戦う**

▼石塚さんが、YCUでの学びを通して特に身に付いたのは「思考力」だ。「4年次には『リサーチ・クラ-



ッシュアップ」といって、研究室で自ら設けたテーマについて研究を行っています。また、TBLという、ある症例についてチームで検討する授業もあります。YCUは、自ら学び考える力を養う授業が多いですね。ここで養われた思考力は、医師となった時に非常に有意義なものになりました」

同時に、大学時代のことで今も生きているのは「仲間の存在」だ。

「6年間、同じ医学を学ぶ仲間とじっくり友情を育むことができた。人数は1学年90人程度と、全国の医学部でも最も少人数なのですが、そのため全員非常に仲が良かったです。附属市民総合医療センターや附属病院で、大学の同期生と再会することはたびたびありますが、とても楽しみであると同時に、刺激も感じています」

石塚さんは医学部を目指す際、YCUが神奈川県内の医療の中心を担っていることも決め手となったという。

「もちろん神奈川県内の病院は他の大学とも連携していますが、やはりなかでもYCUは大きな部分を担っています。多様な経験ができるのは、学生にとって大きな魅力ですね。今まさにYCUを自指して頑張っている受験生の皆さん、努力は必ず報われるので、最後まで粘り強く頑張ってください」

受験生応援メッセージ

努力は必ず報われます。
最後まで粘り強く
頑張りぬいて下さい!

私の仕事道具



書類は、総合診療科で最も大切な問診票、HADSという精神症状を評価する質問票、デルマトームという症状の分布を確認する領域図。そのほかは平衡感覚を調べる音叉や、神経診察のための打鍵器、病歴が正確か確認するための認知症評価キット。

学生時代のEPISODE



YCUの最大の魅力は一緒に医学を学ぶ仲間存在だと話す石塚さん。学年代表としてクラスをまとめた経験は、今でも大きく活かしているという。写真は、石塚さんが学年代表として答辞を読んだ、思い出深い卒業式でのひとコマ(中央左が石塚さん)。



**患者さんの望む療養生活を
実現する助けになりたい**

▼横浜市立大学附属病院の看護部で働く中村祐太さんは「多くの方の支えとなる存在を目指したい」という思いで、患者さんにとって身近な存在である看護師を志した。

「父が放射線技師だったこともあり、幼い頃から医療の分野に興味がありました。その縁もあり、医療に関係する道を探っていたときに、看護師さんや薬剤師さんと話す機会を作ってもらったんです。日々の大変さややりがいについて教えてもらうなかで、病院ではさまざまな職種の人がお互いの専門性を活かし、チームで力を発揮している点に惹かれました」

泌尿器科と皮膚科の混合病棟で、1組2人のペアで10人程度の患者さんを担当する中村さん。現在は主にがん患者さんに関わることが多い。

「患者さんの状況はさまざま。根治を目指す方から、終末期と呼ばれる段階にある方もいます。多様な背景をもつ患者さん一人ひとりと向き合い、何を望んでいるかをくみ取っていくことはとても難しく、大変なこともあります。しかしその分、希望する療養生活を実現する一助となったときや、感謝される場面があると、とても嬉しく、やりがいを感じます」

大学時代の 実践的な学びを活かし 患者さんとの信頼を築く

詳しくは
ココ知り!



PROFILE.

Name 中村 祐太 Yuta Nakamura
Class of 2022年度卒
Course 医学部看護学科

横浜市立大学附属病院・看護部



**専門的な指導のおかげで現場で
使える実践力が身に付いた**

▼また、YCUには附属病院が2つあり、実践的な学習環境が整っていることも良かったという。

「学生時代は臨床実習に力を入れて取り組んでいました。授業で習った疾患や症状、看護理論を、実際の現場で展開する経験を積み、実践力が身に付きました。また、特定機能病院で最先端の医療現場を見られたことも刺激になりました。看護師さんたちが根拠を大事にしながら業務にあたっている姿も印象に残っています」

その実践力を支えるのは、少人数のゼミでの専門的な学びだった。

「卒業研究では先生に手厚くご指導いただきました。先生から直接学んだことは、病棟で勤務している今も、看護の考え方の指針になっています。YCUでは幅広い専門性を持つ先生方が、学生一人ひとりにあわせて対応してくれるのもとても心強いです。YCUを自指す皆さん、受験はとても緊張すると思いますが、YCUでの素敵なキャンパスライフを想像しながら、皆さんのペースで最後の最後までつき進めるよう祈っています!」

進路選択にあたっては、総合大学であることを優先に看護学科を探していたという。

「総合大学のYCUでは、他学部の人と話す機会も多く、視野が広がりました。関わる患者さんもしろいろな人がいるので、会話のときに共感したり、幅広い知識を使って一緒に話せたりするのは、大学で培ったコミュニケーション力のおかげです」

受験生応援メッセージ

興味のあることは
積極的にチャレンジ
してみてください!
最後まで諦めず、
頑張ってください。

私の仕事道具



毎日必ず使用する看護グッズの数々。聴診器、消毒線、点滴のための針や輸液ルート、腕を縛るゴムなど。その他にも感染対策として消毒剤や手袋なども用意する。これらを準備し、バスコンを乗せたカートを押して、担当する患者さんを回っていく。

学生時代のEPISODE



大学時代の実習で、患者をストレッチャーで運んでいるところ。場所は看護教育研究棟の屋上。

生物学的な現象を、実際の治療や診断に どう役立てていくかが 研究者として課せられた使命

脳卒中や脳梗塞による脳神経の損傷を対象に、リハビリによって脳内の神経回路の可塑性(経験や学習によって脳の神経回路が変化していくこと)が促進されるメカニズムについて研究しています。この研究はリハビリ促進薬の開発のみならず、神経の変化する性質が医学的に有用な概念である事を証明していく試みでもあります。

リハビリテーション医療は個々の患者さんに対応する重要な個別医療の代表格です。生物学的な原理に基づく回復プロセスの理解を深め、診断・治療概念を刷新する事が目標です。大学・病院・研究所・製薬企業の方々と協働しながら医学の可能性に挑戦し続けています。

医学部医学科 准教授
研究分野: 臨床神経学、神経生理学

阿部 弘基 Hiroki Abe



詳しくは
ヨコ知り!



Researcher Interview

未来を切り拓くYCUの最先端研究

人々の健康を経営学からアプローチ、 医療経営研究で未知の可能性を 拓いていきたい

「医療経営」は、患者さんのニーズや医療資源、職員満足度など医療を取り巻く諸要素をマーケティングや経営学を用いて調査し、より良い医療につなげていくために研究する学問です。子どもから高齢者まですべての人の健康をターゲットにしています。たとえば、高齢者を対象とした研究では、介護施設と医療機関の連携状況を調査し、密な連携がより良いサービスにつながっている事が明らかになりました。また、若い世代を対象とした研究では、横浜市内の結婚・子育て世帯に対する大規模な調査(通称:ハマスタディ)に取り組んでいます。このように、すべての人の健康を対象に、経営学を使ってより良くできる事はないかと日々考えながら、研究に取り組んでいます。

国際商学部国際商学科 准教授
研究分野: 医療経営

原 広司 Koji Hara



詳しくは
ヨコ知り!



YCUで行われている 最新の研究NEWS

産学官共創によるメタバースを活用した 若者のこころの支援を推進

～JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)に採択～

研究・産学連携推進センター 教授
拠点事業推進部門長・学長補佐
研究分野: 麻酔科学、医療薬学

宮崎 智之
Tomoyuki Miyazaki



研究・産学連携推進センター 宮崎智之教授(学長補佐)がプロジェクトリーダーを務めるMinds1020Lab(マインズテントウエンティラボ)では、生きづらさを感じる若者の心の課題を包括的に研究する新たな学術領域を立ち上げ、得られる研究結果を基に心が上向き・元気になるコンテンツ(デジタルメディスン)やサービスを提供するメタバースプラットフォームを構築し、高いウェルビーイングを実現することを目指したプロジェクトを進めています。



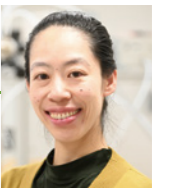
研究開発課題等の詳細は、Minds1020Labのホームページをご覧ください。
<https://minds1020lab.yokohama/>

山火事により発生する ガス状有害物質の放出量は 「燃焼温度」の影響が大きいことを発見

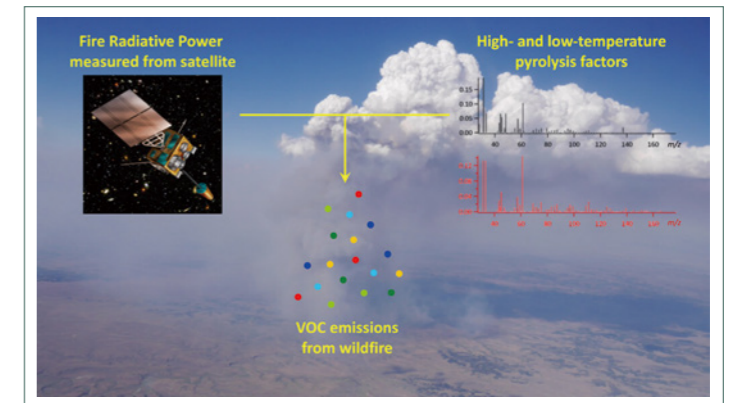
～「Environmental Science & Technology」に掲載～

理学部理学科 准教授
研究分野: 質量分析学

関本 奏子
Kanako Sekimoto



大学院生命ナノシステム科学研究科 関本奏子准教授、米海洋大気庁(NOAA)、米航空宇宙局(NASA)の共同研究グループは、北米西部の山火事から発生する揮発性有機化合物(VOC)の種類と量は、燃える植物の種類よりも燃焼温度による影響が大きいことを見出し、山火事由来するVOC発生量を推定する新たなフレームワークを提唱します。



北米西部の山火事のVOC発生量は、2つのVOCプロファイル(高温・低温熱分解プロファイル)と衛星観測から得られるFIRE RADIATIVE POWERによって高精度に推定できる

YCU Research Portal 注目の研究者や最新の研究成果をチェック!



留学生数

133人

23の国・地域

本学に在籍している外国人留学生の数

(2023年11月1日現在)



(2024年3月1日現在)

海外留学・研修参加者

474人



世界大学ランキング

国内11位タイ
公立大学では1位



THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング2023で、YCUは国内の大学では11位タイ、公立大学では4年連続1位となりました。

(Times Higher Education World University Rankings 2023の発表をもとに掲載)

数字で見る

YCU

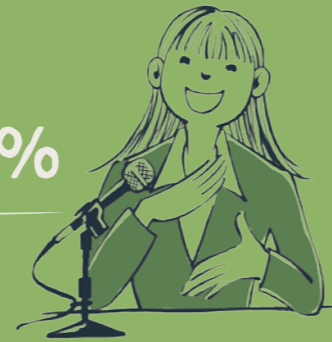
よこはましりつだいがく

TOEFL-ITP 500点相当以上の学生

97.2%

Practical Englishの最低達成条件をクリアしている学生の割合

(2023年度修了時点)



(2024年3月現在) 部活動・サークル数

112団体



運動系団体: 55 団体
文化系団体: 44 団体
その他サークル: 13 団体

※金沢八景キャンパス・福浦キャンパスの合計

(2023年度実績)

医師国家試験合格率

97.0%

(全国平均)92.4%

※既卒含む



(2023年度実績)

看護師国家試験合格率

100%

(全国平均)87.8%

※既卒含む



海外大学・研究機関等と締結している交流協定数

86

国際教養・国際商・理・データサイエンス学部の就職実績

98.7%

(全国平均)97.3%

キャリア支援センターでは、年度を通じて約100のキャリア・就職イベントを実施しています。



(2022年度実績)



国際総合科学部学生数

国際総合科学科	22人
---------	-----

男子12人 / 女子10人

国際教養学部学生数

国際教養学科	1,276人
--------	--------

男子323人 / 女子953人

国際商学部学生数

国際商学科	1,195人
-------	--------

男子608人 / 女子587人

理学部学生数

理学科	531人
-----	------

男子271人 / 女子260人

データサイエンス学部学生数

データサイエンス学科	275人
------------	------

男子198人 / 女子77人

医学部学生数

医学科	553人
-----	------

男子329人 / 女子224人

看護学科	427人
------	------

男子9人 / 女子418人

大学院学生数

都市社会文化研究科	58人
-----------	-----

博士前期39人 男子20人 / 女子19人
博士後期19人 男子10人 / 女子9人

国際マネジメント研究科	51人
-------------	-----

博士前期39人 男子18人 / 女子21人
博士後期12人 男子11人 / 女子1人

生命ナノシステム科学研究科	131人
---------------	------

博士前期108人 男子59人 / 女子49人
博士後期23人 男子13人 / 女子10人

生命医科学研究科	131人
----------	------

博士前期87人 男子33人 / 女子54人
博士後期44人 男子29人 / 女子15人

データサイエンス研究科	90人
-------------	-----

博士前期74人 男子57人 / 女子17人
博士後期16人 男子14人 / 女子2人

医学研究科 医科学専攻	432人
-------------	------

修士35人 男子11人 / 女子24人
博士397人 男子284人 / 女子113人

医学研究科 看護学専攻	67人
-------------	-----

博士前期42人 男子9人 / 女子33人
博士後期25人 男子3人 / 女子22人

(2024年4月1日現在)

国際総合科学群 進路状況

国際教養学部	就職率 97.5%		
	就職	進学	その他
計	195	12	18

国際商学部	就職率 99.5%		
	就職	進学	その他
計	220	4	7

理学部	就職率 100%		
	就職	進学	その他
計	40	82	1

データサイエンス学部 進路状況

データサイエンス学部	就職率 100%		
	就職	進学	その他
計	47	19	2

(2022年卒業生)

留学生数(人)

(2023年11月1日現在)

所属	正規生	研究生	交換留学生	合計	
				学部	大学院
国際総合科学部	2	0	0	2	
国際教養学部	22	0	14	36	
国際商学部	19	0	11	30	
理学部	11	0	0	11	
データサイエンス学部	1	0	1	2	
学部生合計	55	0	26	81	
都市社会文化研究科	10	0	0	10	
国際マネジメント研究科	19	1	0	20	
生命ナノシステム科学研究科	3	2	0	5	
生命医科学研究科	3	1	0	4	
データサイエンス研究科	2	0	0	2	
医学研究科	10	1	0	11	
大学院生合計	47	5	0	52	
合計	102	5	26	133	

※休学(国商・韓国出身1名)含む

教員数(人)

(2024年4月1日現在)

所属・配属	教授	准教授	講師	助教	助手	計
学術院(国際総合科学群)	78	57	4	14	0	153
国際教養学部	21	20	2	0	0	43
国際商学部	15	10	1	0	0	26
理学部	31	21	1	14	0	67
データサイエンス学部	10	5	0	0	0	15
国際総合科学部	1	1	0	0	0	2
学術院(医学群)	63	102	94	404	2	665
医学部医学科	43	35	39	82	2	201
医学部看護学科	10	2	8	14	0	34
データサイエンス研究科	3	3	1	0	0	7
生命医科学研究科	1	2	0	1	0	4
附属病院	1	20	20	140	0	181
附属市民総合医療センター	1	40	26	165	0	232
保健管理センター	1	0	0	0	0	1
先端医科学研究センター	2	0	0	2	0	4
研究・産学連携推進センター	1	0	0	0	0	1

学部・大学院構成

YCU 教育の特長

学部	PAGE	学科	学位	入学定員	キャンパス	特色	教員数	取得できる資格	卒業必要単位数	大学院
国際教養学部	P.34	国際教養学科	学士(学術)	270	金沢八景キャンパス	多様な学問群の中から多角的な視点と豊かな教養を育み、確かな外国語運用能力と思考力で、現代社会や都市の課題を解決できる人材を育成	専任教員数 43名	教員免許 (英語)	124	都市社会文化研究科 ■都市社会文化専攻 修士(学術)／博士(学術)
国際商学部	P.40	国際商学科	学士(経営学) 学士(経済学)	260	金沢八景キャンパス	グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力等「実学」を意識した、社会に変革をもたらすグローバル・リーダーを育成	専任教員数 26名	—	124	国際マネジメント研究科 ■国際マネジメント専攻 修士(経営学)／修士(経済学) 博士(経営学)／博士(経済学)
理学部	P.46	理学科	学士(理学)	120	金沢八景キャンパス 鶴見キャンパス 舞岡キャンパス	物理学、化学、生物学を基盤とし、生命現象を原子・分子・細胞・個体それぞれのレベルで解明し、融合的に物質科学と生命科学に挑んでいける人材を育成	専任教員数 67名	教員免許 (理科)	124	生命ナノシステム科学研究科 ■物質システム科学専攻 ■生命環境システム科学専攻 修士(理学)／博士(理学) 生命医科学研究科 ■生命医科学専攻 修士(理学)／博士(理学)
データサイエンス学部	P.52	データサイエンス学科	学士(データサイエンス)	60	金沢八景キャンパス	数理や統計といった専門的な教育のみならず、文系理系にとらわれない広範な教育でビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、新たな社会的価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストを育成	専任教員数 15名	—	124	データサイエンス研究科 ■データサイエンス専攻 ■ヘルスデータサイエンス専攻 修士(データサイエンス)／ 修士(ヘルスデータサイエンス)／ 博士(データサイエンス)／ 博士(ヘルスデータサイエンス)
医学部	P.60	医学科	学士(医学)	93	金沢八景キャンパス 福浦キャンパス	豊かな人間性と深い知性を有し、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して、人類の福祉に貢献できる人材を育成	専任教員数 201名	医師 国家試験 受験資格	201	医学研究科 ■医科学専攻 修士(医科学)／博士(医学)
	P.68	看護学科	学士(看護学)	100	金沢八景キャンパス 福浦キャンパス	高い教養と専門性だけでなく、他者の痛み、喜びも理解できる豊かな人間力で未来の看護をけん引できるリーダーを育成	専任教員数 34名	看護師 保健師 国家試験 受験資格	124	医学研究科 ■看護学専攻 修士(看護学)／博士(看護学)

※データサイエンス研究科は、2020年に新設しました。国際教養学部、国際商学部、理学部は、2019年に国際総合科学部を再編し、開設しました。データサイエンス学部は、2018年に新設しました。
※専任教員数は「客員教員」「特別契約教員」を除く。※教員数は2024年4月1日現在。

学部教育のカタチ

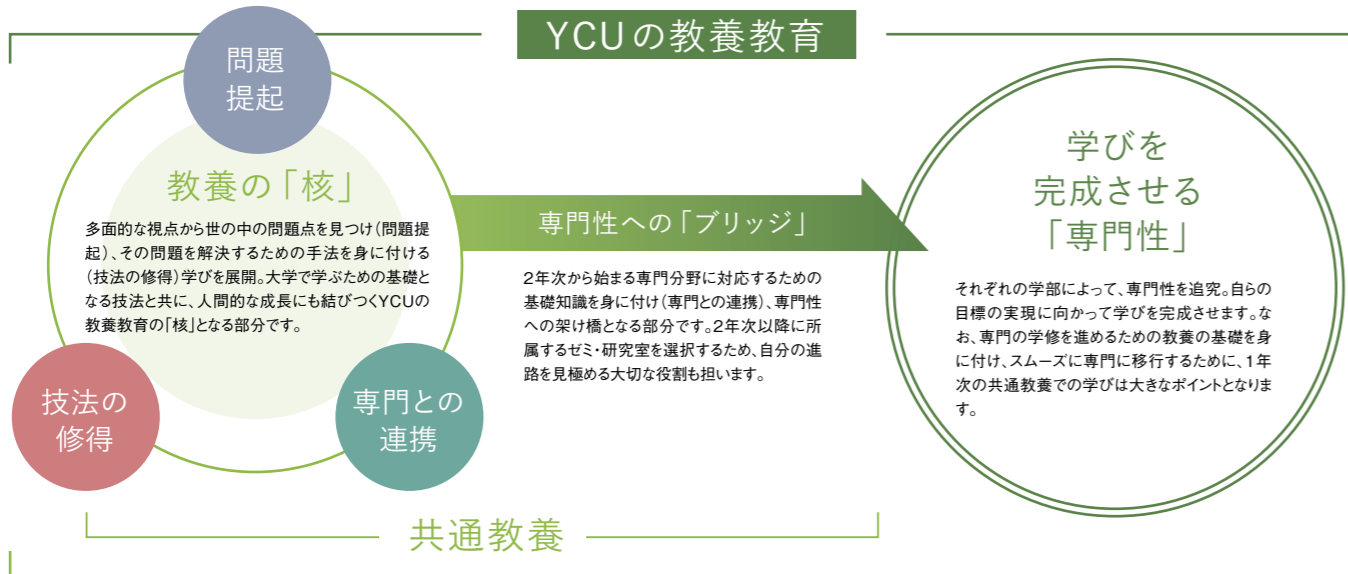
YCUの学部教育は、教養教育、グローバル教育、地域での学び、そして専門教育を柱として展開していきます。教養教育は、他大学に先がけて展開した文理融合型のアプローチをベースとした、共通教養科目が中心となります。また、国内外でのグローバル体験を積み、多様性を理解し、コミュニケーション力を身に付けるグローバル教育や、自分たちの暮らす「ヨコハマ」をフィールドに地域や社会の課題解決に実践的に取り組む地域での学びによって総合力を高めています。この総合力を、それぞれの専門教育において応用・深化させていく、そんな体系的な教育プログラムがYCUにはあります。



YCUの共通教養

自ら問題を発見し、解決する力を修得する

共通教養は、YCUの教育の土台であり、「自ら主体的に課題を発見して解決する力」を育てていく事を目標としています。問題の解決には、情報の質を見極め、主体的に選別する能力や技術が必要になり、ときには高い専門性が求められる場面もあります。問題が発見してから試行錯誤を重ねて解決に至るプロセスに必要な基礎力を獲得するため、YCUの共通教養科目は、「問題提起科目」「技法の修得科目」「専門との連携科目」という大きく3つの科目群で構成されています。全学部の学生は、入学後1年次よりこれらの科目群を通して学ぶ姿勢を身に付け、さらには問題の発見・課題解決の力を修得していきます。



共通教養3つの科目群

★ 必修科目

問題提起科目群

★YCUリベラルアーツ入門

総合講義	特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。				
<ul style="list-style-type: none"> 国際関係論 環境論入門 まちづくり学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 連携特別講座「国際協力の実践と課題」 企業家に学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 生命科学と環境 医療と社会 Education in the World 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会とジェンダー 鎌倉・金沢を知る 横浜学事始 	<ul style="list-style-type: none"> 多文化社会を考える データサイエンス入門 国際マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 物質と生命

多文化交流ゼミ	Practical English合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現する事を学びます。			
<ul style="list-style-type: none"> 現代アジア・太平洋地域事情 横浜の中にある外国人コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の日本研究 世界で報道される日本 	<ul style="list-style-type: none"> Comparing Education in the World Japan from Foreigner's View 	<ul style="list-style-type: none"> Global Communications 	

実践科目	実践する事で、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。				
<ul style="list-style-type: none"> キャリア形成実習 キャリアデザイン プレ・インターンシップ キャリア教育プログラム インターンシップ 横浜の産業と企業理解 	<ul style="list-style-type: none"> 健康スポーツ実習 春期スポーツ種目 秋期スポーツ種目 ウエルネスライフ実習 	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験実習 ボードセーリング ヨット シーカヤック 	<ul style="list-style-type: none"> 長期海外研修 短期海外研修 福祉施設実習 2Q海外語学研修 2Q海外留学 	<ul style="list-style-type: none"> 特別講座 留学科目・共通教養A 留学科目・共通教養B 留学科目・共通教養C 留学科目・共通教養D 	

技法の修得科目群

ゼミ	語学	
<ul style="list-style-type: none"> ★ 教養ゼミ ★ 基礎ゼミ (国際教養学部・国際商学部・理学部のみ必修) 	<ul style="list-style-type: none"> ★ Practical English Essential Practical English 	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Practical English I～VII 看護英語

初習外国語	Practical English合格者対象の科目です。中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があります。※国際教養学部 教養学系のみ必修				
<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語教養基礎 I ドイツ語教養基礎 II ドイツ語教養実践 フランス語教養基礎 I 	<ul style="list-style-type: none"> フランス語教養基礎 II フランス語教養実践 中国語教養基礎 I 中国語教養基礎 II 	<ul style="list-style-type: none"> 中国語教養実践 A 中国語教養実践 B 中国語教養実践 C 韓国・朝鮮語教養基礎 I 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国・朝鮮語教養基礎 II 韓国・朝鮮語教養実践 A 韓国・朝鮮語教養実践 B 韓国・朝鮮語教養実践 C 	<ul style="list-style-type: none"> スペイン語教養基礎 I スペイン語教養基礎 II スペイン語教養実践 	

<ul style="list-style-type: none"> 日本語入門 I 日本語入門 II 日本語 I 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語 II 日本語 III 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語実践 文章表現 A 文章表現 B 	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現 C 口頭表現 A 口頭表現 B 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭表現 C アカデミックジャパニーズ A アカデミックジャパニーズ B 	<ul style="list-style-type: none"> 留学生のキャリアデザイン A 留学生のキャリアデザイン B
--------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

情報関連科目	★ 情報リテラシー				
	DSリテラシー	プログラミング A	プログラミング B	プログラミング C	

専門との連携科目群

基礎科学講義	専門への接続科目			
<ul style="list-style-type: none"> 心理学入門 文化研究入門 思想研究入門 文学研究入門 健康スポーツ科学入門 倫理学入門 歴史学入門 世界史概説 社会学入門 国際社会学入門 政治学入門 経営学入門 I 経営学入門 II 法学入門 経済学入門 I 経済学入門 II 簿記入門 I 	<ul style="list-style-type: none"> 簿記入門 II 民法入門 日本国憲法 ビジネス統計 I ビジネス統計 II ゲーム理論入門 経営管理論 微分と積分 微分と積分演習 行列とベクトル 行列とベクトル演習 物理学概説 A 物理学基礎演習 A 物理学概説 B 物理学基礎演習 B 化学概説 A 化学概説 B 	<ul style="list-style-type: none"> 化学概説 C 生物学概説 A 生物学概説 B 生物学概説 C 基礎物理学実験 基礎化学実験 基礎生物学実験 統計と確率 科学の倫理学 英米文化理解 A 英米文化理解 B 英語学入門 A 英語学入門 B イギリス文学入門 アメリカ文学入門 	<ul style="list-style-type: none"> English Grammar for Higher Education Introduction to Psychology Topics in Modern Psychopathology 欧米研究入門 課題探究科目 Japanese Globalization Comparative Context History of Modern Japan 現代社会の見方 歴史から今を知る 企業の経済学 ライフサイクルの経済学 病気を科学する 哲学入門 社会調査法入門 芸術入門 日本史概説 アジア研究入門 	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス倫理 国際文化論 人間科学論 国際社会論 都市政策・まちづくり論 リメディアル講座 基礎物理学 基礎生物学 医学科基礎物理学 地理学入門

※ データサイエンス学部、医学部の学生が履修する共通教養科目の科目名については、上記の科目名と一部異なるものがあります。国際教養学部、国際商学部、理学部の再編に伴う科目名変更によるもので、履修する内容は、5学部共通です。上記科目は2024年4月1日現在となります。今後、科目名が変更となる可能性があります。

Pick up 科目

YCUリベラルアーツ入門

めまぐるしく変化する現代社会においては、多様な価値観を認め合いながら、世界や地域におけるさまざまな課題を主体的に解決していく必要があります。そのためには、領域を超えて多面的かつ柔軟に思考し、多様性を受容し、人間と社会をより深く理解しようとするリベラルアーツの涵養が求められます。YCUでは、2023年度から全学部1年生の必修科目「YCUリベラルアーツ入門」を開講しました。この講義では、リベラルアーツの根幹を成す領域のゲスト講師による講演や本学の卒業生による学びの体験や現在の活動についての講演を聴きます。また、講義の中で提起された課題について「教養ゼミ」で議論することでさらに理解を深めていきます。



オンラインによって、離れた3つの教室で同時に講義を行う



教養ゼミ

受験生のためのWEBマガジン

ヨコ知り! THE MOVIE

詳しくは

ヨコ知り!



教養ゼミの目的は、「考える力」と「それをカタチにする力」を体得することです。なぜなら、大学では自らの疑問から「問い」を設定し、それを研究し、発表する事が求められるからです。教養ゼミでは問いを定め、それを研究・発表していく過程を通して、データの信頼性・データと正しく向き合う姿勢・多様な意見の尊重を習得し、自分の考えを表現する力を育成していきます。専門の異なる教員2名と学部異なる学生で少人数クラスを形成し、その中で自由に活発に議論を交しながら「大学での研究の第一歩」を踏み出します。

情報系科目・ADEPTプログラム

現代社会には大量の情報が溢れています。今後さらに進む情報化社会において、適切な情報を見抜いて、データを解析していく能力が不可欠となりますが、それと同時に情報倫理や情報モラルを身に付けることも必要です。そこで、YCUでは全学生が1年次に情報リテラシーを学びます。さらに、DSリテラシーや総合講義（データサイエンス入門）を学び、その基盤の上に専門領域の科目を積み上げ、確かなデータサイエンスのスキルを身に付けていきます。

情報リテラシー

コンピュータや情報ネットワークの用途や動作原理などの基礎知識、情報倫理、情報セキュリティを学んだ上で、表計算ソフトを用いた実践的な実習課題を行います。データの活用方法を学び、学生生活に必要な基本的スキルを身に付けます。なお、情報リテラシーで学んだことを教養ゼミで実践することで理解を深めることができます。



DSリテラシー

データサイエンスの基礎を学ぶ講義です。具体的には、データの集計・分析・可視化などの基礎的な内容と統計的手法を用いたデータ解析を学びます。講義は座学と演習を中心に展開されますが、実践的な実習も行うことで、データサイエンスの素養を身に付けます。



ADEPTプログラム

AI Data Science Education Program for Tomorrow

情報化社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や職場で使いこなすことができるように、基礎的素養を身に付けておくことが重要となっています。このプログラムは、修得した知識・技能を基に、人間を中心とした適切な判断ができ、自らの意志でデータやAI技術を有効かつ、安全に活用することができる人材育成を目的としています。このプログラムを修めた学生には修了証が授与されます。



キャリア形成実習

キャリア教育のスタート

これから先の人生（キャリア）をスタートする準備を行うのがキャリア形成実習です。インターンシップでは、自分の将来のキャリアと照らし合わせ、実際に就業体験を行う事で、進路についての理解を深めます。国内に限らず、海外でのインターンシップも推進しています。インターンシップに参加、報告を行う事で、卒業単位として認定されます。



基礎科学講義

知識を学問に変える準備

基礎科学講義の大きな柱は2つ。その分野を勉強するために必要な基本概念の修得を目指す入門科目と、事象を主体的かつ批判的に分析する思考方法を身に付ける課題探究科目です。さらには、実験を通じて自然科学の基礎を修得する科目、高等学校での知識を補うリメディアル講座も用意されています。これらは共通教養の科目なので、所属する学部に関わらず、自分の問題意識にあった講義を履修することができます。

※このページの写真は2020年以前に撮影したものが含まれています。

Pick up 科目

■ Practical English



国際水準の英語による コミュニケーション能力を身に付ける

Practical Englishの目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスタートアップポイントに立つ事にあります。授業は、4つの基本的なスキル（読む・書く・話す・聞く）を使いながらすべて英語で進められ、英語を使う事、英語で考える事、英語で学ぶ事を修得します。到達度を客観的な基準（TOEFL-ITP）で測り、500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の修得には、授業への8割以上の出席も求められます。授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリング等をはじめ、さまざまな学生のサポートはPractical English Centerが行います。



多文化交流ゼミ

グローバル人材、はじめの一歩

Practical EnglishとAdvanced Practical Englishで培った英語力を生かす場としての多文化交流ゼミ。使用言語はすべて英語。ゲストスピーカーによる講義、グループでテーマに沿ったリサーチ、プレゼンテーション、クラスディスカッションの流れを繰り返しながら、学生中心に展開される授業です。アメリカ・カナダ大学連合やCITYNETといった横浜にある国際機関の協力により開かれる科目もあり、大学レベルでの実践的英語力を身に付けると同時に、広い視野に立った思考力と発信力を養います。

Advanced Practical English



PE クリアは、 ゴールではなくスタート

Practical Englishで到達したTOEFL-ITP500点という水準は、あくまでもスタート地点です。Advanced Practical Englishでは、このスタート地点に立った学生が、留学や国際協力といったさまざまな活動を本格的に行う事ができる力を身に付けられるよう、レベル別、目的別のクラスを用意しています。また、YCUで提供している学生海外派遣プログラムとも連携し、TOEFL-ibt、IELTS等の受検や、英語圏の大学学部レベルの授業に必要なスキルの養成にも対応。英語を使って世界に羽ばたく学生をサポートします。

コミュニケーション・アワー

インストラクターと自由な会話をし、英語を使う機会が豊富にあります。平日にスケジュールされた時間であれば、予約不要で学生は誰でも自由に参加できます。集まった学生とインストラクターによって会話が展開され、継続的に参加する事により、話す力と聴く力を養う事ができます。曜日や時間によってインストラクターが代わるため、さまざまな出身地やその国の文化、習慣、趣味等に触れる事ができ、教養の幅も広がります。

ライティング・センター

学生の英文作成能力を向上させる事を目的にPractical English Center内に設置されたセクションで、英語による文章作成のプロセスを指導・サポートします。指導は1対1のチュートリアル方式です。単なるネイティブチェックや翻訳サービスの提供ではなく、文章の作成と構成（アカデミックな表現や文章構造等）ができるようになるためのサポートを行っています。このようなライティング・コンサルの体制が整っている大学は国内ではまだ少数です。



初習外国語

母語 + 英語 + もうひとつの外国語

英語の授業に加えて、外国語の授業を中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択して履修する事ができます。グローバル化がますます進展するこれからの社会で、複数の外国語・文化に習熟する事は、複雑化するさまざまな文脈の中で自分を生かす力=生きる力を形づくる事です。まず最初に週3回の授業に積極的に取り組む事で、生活上の基礎的な運用能力を身に付ける事が可能です。続いてそれぞれの専門領域における社会活動や、学術研究活動での実践的な受信・発信能力を養成します。海外の大学へ留学できる道も開かれています。

※国際教養学部 教養学系のみ必修

※このページの写真は2020年以前に撮影したものが含まれています。



学生の声

共通教養科目で養った広い視野で
理論を実践へと発展させたい。

国際商学部 国際商学科 2年
東京都 私立山脇学園高等学校卒

鈴木 佐和子 Sawako Suzuki

経済学や経営学など自分の専門分野の基礎を学んだほか、他分野も広く知識や教養を得られました。実際の経営者の方による講義を受けられた事や、他学部の学生との交流で新たな視点を得られた事はとても貴重な経験です。また、レポートの書き方やメールマナーのスキルも身に付き、早速学生生活で役立てています。将来はビジネスの力で社会課題の解決を目指すべく、今はYCUの卒業生が立ち上げた企業でインターンをしています。目標に向け、経営戦略やソーシャルビジネスについてさらに知識を深めていきたいと考えています。



学生の声

興味の幅がどんどん広がり
出会いも生まれる貴重な学びの場。

理学部 理学科 2年
東京都立田無高等学校卒

石田 恭雅 Kyouga Ishida

共通教養科目の中でも、「教養ゼミ」は知的好奇心を広げ、多様な価値観を共有できる講義です。思考を巡らせ他学部の仲間と協力し、ひとつのものを作り上げていくプロセスにおいては強い責任感を培う事ができました。また、「理数マスター育成プログラム」は自分の興味を追求し、より深い研究が可能であり、YCUならではの大きな魅力のひとつだと思います。この学びの場で得たスキルや、人的財産と呼ぶに相応しい仲間たちとの出会い・交流は、更なる研究や、ビジネスでの経営戦略の構築に役に立つはずだと考えています。



学生の声

共通教養科目の受講によって
看護の枠を超えた発想や技術を養った。

医学部 看護学科 2年
神奈川県 私立神奈川大学附属高等学校卒

加藤 碧 Aoi Kato

普段、看護学科の学生だけだとしても思考の枠組みが看護中心になりがちですが、共通教養科目では講義後の質問で他学部の専門性を交えた質問や私たちにない発想の意見を聞くと、「こういう考え方もあるんだ!」と目を見開かれます。自分が多様な思考をするきっかけになり、ここで得た多角的な視点は、看護の専門科目で議論する際にも有用です。また、社会学や経済学などの授業では、データから論理的に情報をひもとく術を学びました。このスキルも看護の専門科目において大いに役立っています。

グローバル教育

海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進するYCUでは、その中の32の国・地域の大学と学生間の交流を深めています。

夏季または春季の休暇を利用した短期留学プログラムの他、長期派遣プログラムや交換留学プログラム、海外フィールドワーク支援プログラム等があり、毎年多くの学生が世界の各地で国際性を磨きながら成長しています。



YCUの国際交流ネットワーク 世界32の国・地域の大学・研究機関等とのネットワーク

ヨーロッパ

- | | | | | |
|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| イタリア
●ベネチア大学 ●カターニャ大学
●パドヴァ大学
オーストリア
●ウィーン大学 | ルーマニア
●ブカレスト大学
セルビア
●ベオグラード大学
●ルーヴェン・カトリック大学
●ルーヴァン・カトリック大学
スペイン
●ナバラ大学
●マドリッド・コンプルテンセ大学
●サンティアゴ・デ・コンポステラ大学
フィンランド
●オウル大学 | スイス
●チューリヒ大学
ベルギー
●ルーヴェン・カトリック大学
●ルーヴァン・カトリック大学
オランダ
●ユトレヒト大学
スウェーデン
●オレブロ大学
●ハルムスタード大学 | イギリス
●リーズ・トリニティ大学
●ド・モントフォート大学
●キール大学
ポーランド
●ヤゲウォー大学 | トルコ
●中東工科大学
ハンガリー
●エトヴェシュ・ローランド大学 |
|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|

北アメリカ

- アメリカ
●サウスカロライナエイキン大学 ●セントクラウド州立大学 ●サンディエゴ州立大学 (SDSU)
●カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)
●フロリダ国際大学 ●米国管理会計士協会 (IMA)
●UCSD スクリプス海洋研究所
●サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所
●ラホヤアレルギー免疫研究所 ●テンプル大学 ●ウィーバー州立大学
●ニューヨーク州立大学ストーブルック校 ●サザン・メイン大学 ●シンシナティ小児病院
- カナダ
●ブリティッシュコロンビア大学 (UBC) ●マニトバ大学
●モントリオール大学 ●メモリアル大学 ●ヒューロン大学カレッジ

中南米

- ブラジル
●リオグランデ・ド・スル連邦大学 ●アメリカス・フエブラ大学 (UDLAP)
- メキシコ
●アメリカス・フエブラ大学 (UDLAP)

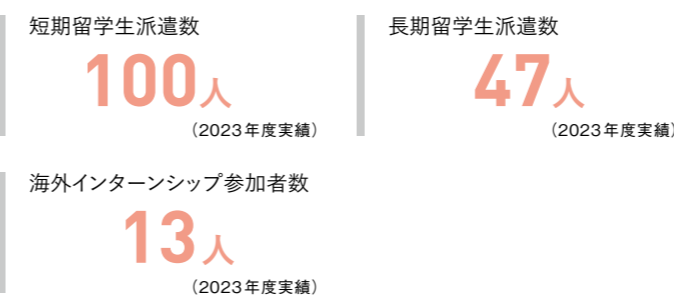
アフリカ

- ウガンダ
●マケレレ大学
- ザンビア
●ザンビア大学

アジア・オセアニア

- シンガポール
●シンガポール国立大学
- タイ
●カセサート大学
●タマサート大学
●チェンマイ大学
●ウボンラチャタニ大学
- フィリピン
●フィリピン大学
- ベトナム
●貿易大学
●ベトナム国家大学
●ホーチミン市校
●ハノイ大学
- マレーシア
●マレーシア科学大学
- 中国
●上海師範大学
●上海交通大学
●北京師範大学
- 台湾
●国立台湾師範大学
●東海大学
●国立虎尾科技大学
●国立政治大学
●国立台湾科技大学
●国立成功大学
●長庚大学
- 韓国
●仁川大学校
●世明大学校
●光州科学技術院
●高麗大学校 (世宗キャンパス)
●淑明女子大学校
●延世大学校
- インドネシア
●ハサヌディン大学
- ネパール
●クオバ工科大学

国際交流実績



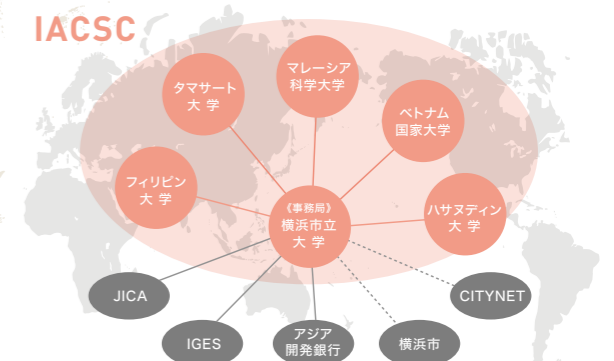
地球規模の課題を海外の現場で学び、考え、分析し、解決する

アカデミックコンソーシアム

YCUは、アジア各国のトップ大学と協働で都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム (IACSC※1)」を2009年に創設し、横浜市およびJICA・アジア開発銀行(ADB)・CITYNET等の国際的機関と連携しながらグローバルな研究や教育を推進しています。IACSCでは「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3分野を中心に①年次総会・国際シンポジウムの運営 (2023年度はタイのタマサート大学で開催)、②国際共同研究の推進、③持続可能な都市づくり共通教育プログラム (SUDP※2) の開講、④海外フィールドワークや国際ワークショップ開催等、多岐にわたる活動を各国で展開しています。YCUの「グローバル都市協力研究センター (GCI※3)」は2011年に設立され、IACSCネットワーク全体の事務局として上記の諸活動の企画立案、各参加大学や協力機関との交渉や調整、教育・研究プログラムの実施を担当しています。YCUの学生は、IACSCの活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地での学びの機会を得る事で、国際化する社会で要求される行動力、交渉力、思考・分析力、発信力を身に付けています。GCIは、学生が国内や海外のフィールドに出て、都市の現場が抱える現状と課題に向き合い、新たな知識と経験を得て実践的に課題解決を目指す事のできるグローバル人材の育成を支援しています。

※1 IACSC: International Academic Consortium for Sustainable Cities
※2 SUDP: Sustainable Urban Development Program
※3 GCI: Global Cooperation Institute for Sustainable Cities

【アカデミックコンソーシアム (IACSC)】



【主な参加大学・協力機関等】

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> マレーシア科学大学 タマサート大学 (タイ) フィリピン大学 ベトナム国家大学 ハサヌディン大学 (インドネシア) 横浜市 | <ul style="list-style-type: none"> アジア開発銀行 (ADB) 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) アジア太平洋都市間協力ネットワーク (CITYNET) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

長期留学・研修プログラム



YCUの留学プログラムは、外国の文化、言語、社会等に関する知識を修得し、

現地での交流を通して豊かな国際感覚を養う事を目的としています。

大学プログラムではYCUからの補助金や、後援会からの助成金等、さまざまな経済的支援制度があります。

長期留学プログラム 【出発時に学部2年次以上】

(2023年度参考)

プログラム名	プログラム名	語学要件 (最低応募基準)	プログラム期間	費用 (概算) 学費・渡航費・滞在費・食費・危機管理費等学費・渡航費
交換留学	ヨーロッパ※	TOEFL iBT 72以上 /IELTS6.0以上	1年間	170万円～ (+YCU学費)
	北米	TOEFL iBT 72以上 /IELTS6.0以上	1年間	200万円～ (+YCU学費)
	アジア※	TOEFL iBT 61以上 /IELTS5.5以上	1年間または半年	1年間:120万円～ 半年:70万円～ (+YCU学費)
セメスター留学	ヨーロッパ 北米	TOEFL iBT 72以上 /IELTS6.0以上	1年間または半年	1年間:500万円～ 半年:300万円～ (YCU学費免除)

※ ヨーロッパ、アジアの一部交換留学先では TOEIC Listening & Reading での応募も可

交換留学プログラム協定校 (2023年度募集)

■ ヨーロッパ

イギリス	ド・モントフォート大学
イギリス	リーズ・トリニティ大学
イギリス	キール大学
イタリア	ベネチア大学
フランス	リヨン第3大学
ドイツ	ゲーテ大学
ドイツ	フライブルク大学
オーストリア	ウィーン大学
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学
スペイン	ナバラ大学
スペイン	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学
スペイン	マドリド・コンプルテンセ大学

■ 北米・中南米

アメリカ	サンディエゴ州立大学
アメリカ	サウスカロライナ大学エイキン校
アメリカ	セントクラウド州立大学
アメリカ	フロリダ国際大学
アメリカ	ニューヨーク州立ストーンブルック校
カナダ	モンリオール大学
カナダ	メモリアル大学
カナダ	ヒューロン大学
メキシコ	アメリカス・ブエブラ大学

■ アジア

中国	上海師範大学
中国	北京師範大学 (漢語文化学院)
台湾	東海大学
台湾	国立政治大学
台湾	国立台湾科技大学
台湾	長庚大学
韓国	仁川大学校
韓国	高麗大学校 (世宗キャンパス)
韓国	淑明女子大学校
タイ	タマサート大学
タイ	チェンマイ大学
マレーシア	マレーシア科学大学



交換留学体験者インタビュー

現地でのサステナビリティの学びを
将来の進路に活かしたい。

留学先

スウェーデン (ハルムスタード大学 2022年8月～2023年6月)

国際教養学部 国際教養学科 4年
神奈川県 横浜市立戸塚高等学校卒

遊馬 楓 Kaede Asoma

環境問題とビジネスにおけるサステナビリティに関心があったので、環境先進国であるスウェーデンのハルムスタード大学へ留学。留学先では、世界中から来た留学生とチームを組んで学外で調査を行うグループワークやさまざまな講義で、日本ではまだ浸透したとは言えないサステナビリティの本質を問う視点を養いました。また、自然に囲まれた寮で、異なる国の友人たちと過ごす毎日とはとても充実したものでした。料理やバーベキュー、旅行を通じて多様な文化と考え方を学びました。この留学を通じ、異なるバックグラウンドを持つ人々と協力する面白さを学びました。将来は、この経験を活かせる仕事に就きたいと考えています。



■ おおよその学費

YCU	50万	留学先	免除
-----	-----	-----	----

■ おおよその金額

渡航費	35万円
家賃・公共料金	5万円
食費	3万円
交際費	1万円
通信費	5千円
娯楽費 (洋服等)	1万円
その他生活費	1万円
生活費/月計	11万5千円



交換留学体験者インタビュー

思い切って挑んだ異文化体験が
失敗を恐れない私に変えた。

留学先

カナダ (ヒューロン大学 2022年9月～2023年4月)

国際教養学部 国際教養学科 3年
神奈川県立横須賀高等学校卒

三上 真奈 Mana Mikami

高校時代、フィンランドの交換留学生のサポートをきっかけに異文化交流や日本文化の発信という事に興味を抱きました。YCUに入学したのは、その時の楽しかった経験をさらに発展させようという「国際関係論」を勉強したかったからです。留学は以前から関心があり、留学に関する選択肢の多いYCUは魅力的な大学でした。カナダのヒューロン大学へ8か月留学して、失敗を恐れずに色々な事に挑戦できる自分になったような気がします。冬期休暇中に思い切って友人の帰省に同行し、アメリカで過ごした3週間も素敵な人々との出会いや貴重な体験に満ちた日々でした。将来、日本で暮らす外国人 (留学生) の方々の支援に取り組みたいと考えています。その足掛かりとして、現在はYCUへ学びに来る交換留学生をサポートするチューターに挑戦中です。

■ おおよその学費

YCU	50万	留学先	免除
-----	-----	-----	----

■ おおよその金額

渡航費	30万円
家賃・公共料金	7万円
食費	1万5千円
交際費	2万円
通信費	4千円
娯楽費 (洋服等)	5千円
その他生活費	3万円
生活費/月計	15万円



交換留学体験者インタビュー

異国での多様な学びを通して
自分自身の可能性を実感した。

留学先

韓国 (淑明女子大学校 2022年9月～2023年6月)

医学部 看護学科 4年
神奈川県 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校卒

久保 麻里 Mari Kubo

大学で初習外国語として韓国語を学び始め、それもあって、留学先に韓国を選びました。現地の授業では韓国語で栄養学を、英語で経営学や国際経済学などを勉強し、2つの言語を活用しながら、さまざまな分野の知識を得る事ができました。なかでも大変だったのは、英語で2時間半に渡るプレゼンをした時の事です。チームメイトのアドバイスや、積極的に聞こうしてくれる仲間のおかげで乗り切れました。今まで少し躊躇しがちだった自分が変わった瞬間だと思います。週末には、寮の友達と一緒に外国人コミュニティのイベントや外国人向けの語学講座に参加しました。留学中にさまざまなキャリアを描こうとしている人たちと出会った事が大きな刺激となったので、卒業後は自分の興味に向くものと「看護」が上手く交わるような場を模索したいと考えています。

■ おおよその学費

YCU	50万	留学先	免除
-----	-----	-----	----

■ おおよその金額

渡航費	10万円
家賃・公共料金	2万5千円
食費	4万円
交際費	1万円
通信費	4千円
娯楽費 (洋服等)	3千円
その他生活費	3万円
生活費/月計	8万5千円



医学部のグローバル教育

- 01 医学科のグローバルプログラムの紹介 P.66・67
- 02 看護学科のグローバル教育の取り組み P.70・71

海外フィールドワーク 支援プログラム



YCUでは、国際的な視野を持った人材を育成するために、海外での実践的な教育活動を支援する「海外フィールドワーク支援プログラム」を行っています。授業の一環として実施する、海外での実践的な教育研究活動を支援するため、渡航経費の経済的補助を行っています。

プログラム例 国際教養学部（都市学系）

科目名	海外地域政策実習
渡航先	スウェーデン（ウプサラ、ストックホルム）
概要	SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた先進的な環境取り組みや、プラスチック廃棄物による河川、海洋への影響と海洋環境保護の取り組みについて、現地政府機関、地方自治体、ウプサラ大学等を訪問し、意見交換を行う。

フィールドワーク参加者インタビュー

加速していく医療や 介護サービスのグローバル化を 肌で感じた。

国際商学部 国際商学科 4年
神奈川県立湘南高等学校卒
野嶋 菜々恵 Nanae Nojima

医療経営を学ぶゼミ活動の一環として、ベトナムのハノイでのフィールドワークに1週間参加。現地の病院や介護施設を見学し、日本との違いに触れるなか、日本の介護制度や技術がベトナムはもとよりグローバルに展開できる可能性を強く感じる内容でした。また、ベトナムの学生たちは非常に優秀で、英語や日本語を流暢に操る方や、日本での就職が決まっている方などそのスキルの高さに同じ学生として大変刺激を受けました。帰国後、ハノイ大学の学生と共同で「大学生の健康」をテーマに研究を行い、学生論文としてまとめました。将来はベトナムでの経験を活かし、医療分野で広く活躍、貢献したいと考えています。



YCU100募金 「ビジネス人材育成・ 留学支援プロジェクト」奨学金



創立100周年に向けたプロジェクトの一つ「ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト」は、世界で活躍する優れた人材・ビジネスリーダーを輩出するための取り組みです。その一環として以下の奨学金を支給し、世界に羽ばたく学生を支援します。

① はまぎん Global Challenge

横浜市立大学創立100周年を見据え、世界に羽ばたくグローバル人材を育成するため、自らの課題をもって海外へチャレンジする学生を支援する奨学金です。横浜銀行からの本学100周年プロジェクトへの寄付金より奨学金を支給します。海外インターンシップ、海外長期・短期留学など既存のプログラムだけでなく、学生の海外における積極的なチャレンジを支援します。

①プロポーザル型【学部生・大学院生対象】 最大200万円

留学、インターンシップ、ボランティアなどを活用して、学生が自ら課題と目標を設定し、その解決に向けた計画を立案する起業家マインドを持つ学生等を選抜し、支援します。（大学公式プログラムは除く）

②経済支援型【学部生対象】 最大20万円

経済的に海外渡航が困難だが成績優秀な学生の大学公式プログラムへの参加を支援します。

② 世界大学ランキングTOP100 大学留学支援

世界大学ランキングTOP100以内（過去5年以内）の大学へ留学する学生を支援する奨学金です。最大300万円が支給されます。

海外インターンシップ

海外の企業等で実際に就業体験ができるプログラムです。世界で活躍する人材になるために必要不可欠な国際感覚やリーダーシップ、語学力等を実践の場で磨く事ができます。参加にあたってはYCUからの補助金や後援会からの助成金等、さまざまな経済支援制度を利用する事ができます。

■ 時期

学年	前期	夏季休業期間	後期	春季休業期間
学部3年		夏季プログラム (8月～9月)		春季プログラム (2月～3月)
学部4年				
大学院1年				
大学院2年				

■ インターンシップ先

大学と直接連携するプログラム（ダイレクト型）や、サポート会社を経由するプログラム（サポート型）により、英語圏からアジア圏まで、さまざまな国・地域の企業・団体等が受け入れ先となるインターンシップへ参加できます。

■ダイレクト型プログラム

（大学と企業が直接連携して学生を派遣）

国（都市）	実習先
アメリカ（シカゴ）	シスメックス株式会社
アメリカ（ニューヨーク）	横浜市米州事務所
オーストラリア（シドニー）	コニカミノルタ株式会社
中国（上海）	上海良図商務諮詢有限公司 横浜市 / IDEC 上海事務所 蘇州新鋭電子工業有限公司
韓国（ソウル）	ベストフレンド韓国語学校
シンガポール	コニカミノルタ株式会社
マレーシア（クアラルンプール）	イオン株式会社
フィリピン（イロイロ）	Ayala Business Club

*インターンシップ先により、応募可能な学部や語学力、履修科目が指定されている場合があります。

*インターンシップの時期や期間はインターンシップ先により異なります。

*2020～22年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部プログラムのみの実施となり、またオンライン形式での実施となりました。

■サポート型プログラム

（プログラム提供団体のサポートをとおして学生を派遣）

プログラム提供団体	実施国・地域
株式会社エス・ジー・エス	インド（ブネ）、ベトナム（ハノイ）
ライトハウス・キャリアエンカレッジ株式会社	アメリカ（ロサンゼルス）、オーストラリア（シドニー）、ベトナム（ハノイ・ホーチミン）

*上記はオンライン形式での実績も含みます。

海外インターンシップ参加者インタビュー

マレーシアでのビジネスを舞台に 仲間や現地の人たちと話す貴重な体験。

参加プログラム

イオングローバルインターンシップ

国際教養学部 国際教養学科 3年

神奈川県立横浜国際高等学校卒

荒金 琴美 Kotomi Aragane

海外に行き、現地の人とビジネスを通してコミュニケーションする事で自分を成長させたいと思い、このインターンシップに参加しました。店舗でのアンケートで勇気を出して現地の人に話しかけて答えてもらう事も経験し、自信につながりました。また、肉やアルコール製品の取り扱いに配慮するなど、マレーシアの宗教に応じた販売戦略を学べたのも収穫でした。このプログラムではYCUの学生のほか、他大学の学生とグループを組み、ディスカッションを行います。毎日の振り返りにおいてメンバー同士でアドバイスをし合う中、自分の行動の長所や弱みなども知ることができて、自己分析にも役立ちました。



ヨコハマで学ぶ

横浜という地域が学びの場となる

横浜市は日本最大の基礎自治体としてさまざまな産業が集積する大都市です。そこには多くの都市型の課題や地域の課題が存在しています。YCU では、ゼミやボランティア活動等を通じて、行政や企業、地域住民とも関わり合いながら、社会課題への実践的なアプローチを学ぶことができます。また、カリキュラムとして地域に関する学修を行う「地域志向科目」も用意されています。



三輪 律江 教授
地域貢献センター長
国際教養学部

これからの社会を生きていくために ～地域貢献が学びの深化につながる～

大学での学びの本質は、深い専門性に裏打ちされた人間や社会の原理・真理への理解ですが、地域貢献、すなわち実社会での実践は、そのような学びを深める方策としても重要です。座学で得た知識や理論を実践する事で、学びの真の意味に気づく事ができます。そして、経験に裏打ちされた広い視野、思考力は、自分が今後の人生を生きぬいていく力を高めるだけでなく、社会や地域を変え、持続可能性を高めていく事にもつながるでしょう。

急激な都市化と超高齢化を経験し、ダイバーシティ社会を目指す横浜は、それに対する先駆的な取り組みのショーケースであり、それらに触れ参加できる機会も豊富で、まさに実践的な学びの場として最適な都市・地域です。現代社会は一層多様化や複雑化の様相を呈していますが、それに対応し乗り越えていくためにも、理論と実践の往還によって総合的な学びの質を高めることが必要です。それを得られる環境がYCUにはあります。皆さんとお会いできる事を大いに期待しています。

地域志向科目 総合講義(まちづくり学入門)

まちづくり学入門では、横浜のまちづくりを中心に学ぶオムニバス講義です。前半は国際教養学部都市学系の教員を中心に、大都市横浜の歴史や都市計画・まちづくり・防災・観光などについての講義が行われます。後半は横浜のまちづくりの第一線で活躍するプロフェッショナルの方達をゲスト講師に招いて、「まちづくり」の現場で行われているさまざまな取り組みとその課題について知り、大学での学びとの関連性について考えていきます。



地域志向科目 総合講義(鎌倉・金沢を知る)

YCUが所在する金沢区は、歴史的にみると相模国と武蔵国の境目に位置し、朝夷奈切通しを通じて鎌倉まで歩いて行くことができ、中世都市鎌倉と歴史を共有する場所です。授業では、この鎌倉・金沢地域の歴史・地理・文学・芸術に関する知識や、地域や場所のとらえ方を各分野の専門家から学び、神奈川県立金沢文庫や鎌倉歴史文化交流館を訪れ直に文化財に接することで、地域社会の課題について歴史的・文化的観点から解決する力を養う人材を育てます。



科学倶楽部「親子で楽しむ 実験講座」の企画・運営

学生団体「科学倶楽部」の学生たちによる「親子で楽しむ実験講座」は、YCUのエクステンション講座(市民公開講座)として、毎年開催。地域の小学生に人気の講座となっています。講座の運営はすべて学生たちが担い、「サイエンスの楽しさや面白さを伝える」をテーマに、理科が苦手な子どもも得意な子どもも喜びや感動を味わえる実験を企画しています。実際に子どもたちに教える楽しさ、伝える難しさが体感できる、YCU学生たちにとっても学びのある取り組みです。



■ キャンパスタウン金沢

YCUと関東学院大学、金沢区が連携し“大学の活力を生かしたまちづくり”に取り組んでいます。2023年度は、①若者が「金沢八景」の新たな魅力を発信するフォト・プロジェクト活動 ②福浦キャンパスを地域の方々に開放し健康情報を提供する活動 ③区内小中学校で医療に関する訪問授業を行う活動 ④小児がん等の病気や事故で頭髪を失った子ども達に「幸運のウィッグ」を届ける活動などが採択され、活動しました。



医学部YDC(Yokohama Dream Catchers)による並木ラボでの授業

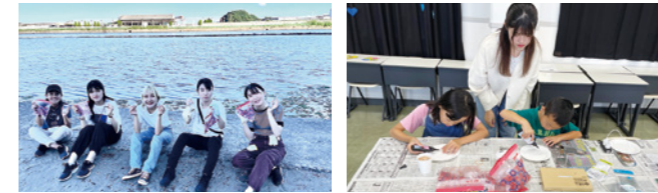
学生のボランティア活動

■ さまざまなボランティア活動

◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【YCU×SEEDプリスター回収プロジェクト】

12月 14日 海洋ゴミ問題やリサイクルを通して「環境を守る活動」
■学生団体「Clover(シーラバー=sea+lover)」

海洋プラスチックゴミを減少させ海洋環境を改善させるために、株式会社シードと協働して、キャンパス内で使い捨てコンタクトレンズの空ケース(プリスター)の回収活動を行っています。また浜大祭では、プリスターを活かしたアクセサリー作りやクイズなどによる啓発活動も行っています。



◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【YCUウクライナ支援プロジェクト】

3月 16日 ウクライナ避難民ユースとの交流を図るY-SHIPサイドイベント
「ウクライナ・横浜ユース 写真+トークイベント」

ウクライナ避難民のユースと「YCUウクライナ支援プロジェクト」のメンバーを中心とした横浜のユースが、話し合い交流を深めながら、横浜市主催の国際コンベンション「Y-SHIP」のサイドイベントとして、ひとつのプログラムを作り上げました。当日はメンバーそれぞれの故郷の写真展示や、トークセッション、交流会などを行いました。

◆ボランティア活動
横浜マラソン2023

4年ぶりに賑わいが戻った2023大会では、「一般ボランティア」が高速上り口直前の第9給水所での給食配布を、また「教護ボランティア」は第8教護所南部市場ブロックのFR(初期対応)隊として活動しました。



◆ボランティア支援室主催の協働プロジェクト
【循環型「食」の協働プロジェクト(食のサイクル活動)】

1月 12月 17日 「継続的な食の支援」とフードロスの削減活動

物価高のため厳しい生活を送っている本学学生を対象に、公益社団法人フードバンクかながわ(以下「フードバンクかながわ」)などと連携して「食の支援」を実施しています。またフードロスを解決するため、フードバンクかながわから「ロス品」の提供を受ける一方、学生・学生団体はボランティアとしてフードバンクかながわでの活動(食品の仕分けなど)や、フードドライブ活動を行い「食のサイクル」を進めています。



◆学生ボランティア団体のサポート
【医学部があるYCUならではのボランティア活動支援】

3月 17日 ■学生団体「one by ONE」「医学部YDC」「Hair for Children」「病院ボランティアグループ」等

横浜市唯一の医学部がある本学では、医学部系ボランティア団体の活動が活発です。これらの団体の中には医学部生だけでなく学部横断的に活動している団体もあります。ボランティア支援室では、団体の活動を活動資金面(「YCUボランティア・スタートアップ補助金」)や、補助金・助成金情報の提供、イベント等の周知などでサポートしています。



■ ボランティア支援室とは

学生の自主的なボランティア活動を支援

学生の「地域に貢献したい」という意欲や、地域での主体的な学びをサポートするため、YCUボランティア支援室ではさまざまな活動を行っています。学生の活動希望と地域からの要請(ニーズ)のコーディネート、ボランティア情報の収集と発信、また初めてボランティアに参加する学生が安心・安全に活動できるようサポートを行うなど、地域社会でのボランティアを通じて成長する学生の側面的支援を行っています。



■ ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」(以下「Volunch」)

「Volunch」は、ボランティアの楽しさを発信し、①地域と市大生をつなげる、②ボランティアに参加することで自らの経験値を上げる、という2つの目標を掲げ活動しています。



Volunchの声

◆ボランティアを一から企画してみたいと思い、Volunchに参加しました。1～2年前期は「オンライン履修相談会」や「ヨコイチ・トークルーム」などに参加。2年後期は国際交流グループで講演会を、3年ではジェンダーグループを立ち上げ勉強会を企画しました。
◆以前から食品ロスに関心があり理解しているつもりでしたが、フードバンクでのボランティアを通して、廃棄される食品が想像以上に多いことを実感しました。またフードドライブでは地域の方々の温かさを感じ、ボランティアでしか学べないことがあると感じました。
◆ボランティアを通して、ウクライナ避難民支援など横浜市の取り組みを知り、より横浜が好きになりました。今後は一市民として自分の住んでいる横浜をよりよくしていくため、積極的にボランティアに参加したいと思います。

領域横断教育

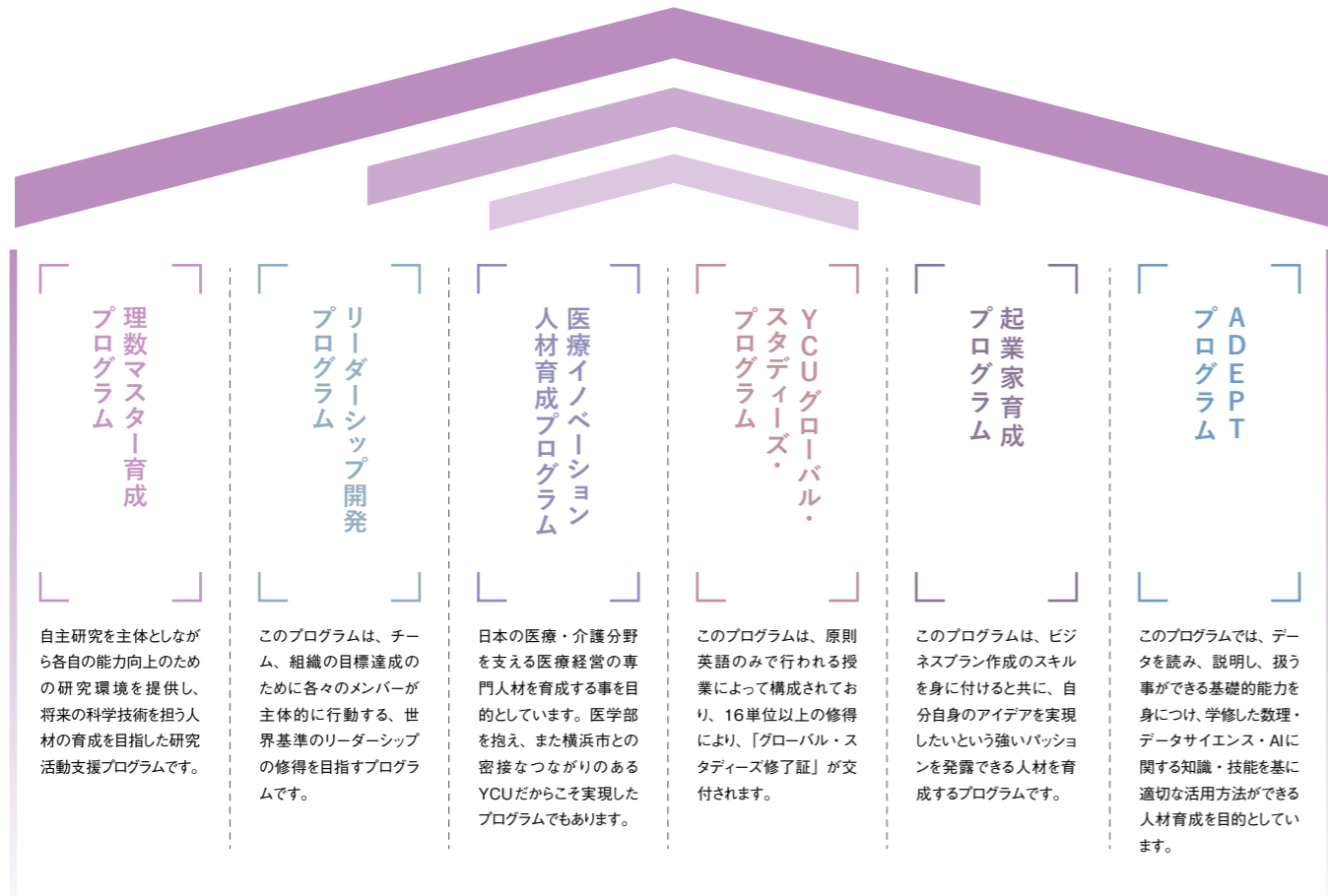
YCUならではのキャリア形成プログラム

YCUでは、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部に分かれて専門を究めています。その専門性を究めると共に、将来のキャリア形成を視野に入れ、体系化した知識を身に付けた人材を育成するための各種プログラムが設けられています。

※2024年3月時点のプログラムです。2025年度は、変更になる可能性があります。



さまざまなキャリア形成



共通教養

国際教養学部

国際商学部

理学部

データサイエンス学部

医学部

実践的英語学習

学生の声



理数マスター育成プログラム

海老沼 璃乃 Rino Ebinuma

理学部 理学科 3年
栃木県 私立宇都宮短期大学附属高等学校卒

私は、医学部 免疫学教室の「単核貪食細胞系の分化」に関する研究に興味を持ちました。当教室での研究を進めるにあたり、必要となる手技や知識を習得すべく、現在は免疫学教室の皆様にご指導いただいております。今後は、本プログラムにて学んだ事を土台にし、本格的に研究を進めて参りたいと考えております。そして、「治療法が確立していない疾患の研究に関わる」という自分の夢に一歩でも近づきたいです。

学生の声



医療イノベーション人材育成プログラム

藤崎 脩平 Shuhei Fujisaki

国際商学部 国際商学科 3年
新潟県立三条高等学校卒

「経営学入門」、「医療イノベーション経営管理論」、「医療政策学」など複数の講義で、次世代の医療経営を学びました。2年生の夏休みには医療経営合同インターンシップにも参加し、病院で行われているDX推進や病院の現状と課題について理解しました。患者さんの命を支えるのは医師や看護師だけではなく、医療経営の専門職もその大切な一員だということが分かり、将来、職業を選択する際、この領域にも可能性を感じています。

学生の声



起業家育成プログラム

大谷 遥菜 Haruna Otani

国際商学部 国際商学科 3年
神奈川県立柏陽高等学校卒

経済学、経営学などの実学の基礎となる講義を幅広く受け、その後に起業に関する専門性の高い講義を受講しました。起業家の方々のお話を直接聞き、社会貢献とビジネスの成長が両立可能なことを知りました。また、チームでビジネスプランの作成をするのですが、メンバーと対話を繰り返しながら戦略や収支を考える際には、これまで受けてきた基礎講座の知識が役立ちました。インプットした知識をアウトプットして企画立案する、そのことの楽しさも味わうことができました。

学生の声



リーダーシップ開発プログラム

金澤 優理愛 Yuria Kanazawa

国際商学部 国際商学科 3年
青森県立弘前高等学校卒

特講科目として1ヵ月間カナダの大学へ留学しました。現地や他国からの留学生と一緒に、ビジネス関連の授業を受講するものです。留学を通し、多様性のあるチームの下で、一人ひとりがリーダーシップを発揮する難しさと重要性を実感できました。大学卒業後は、グローバルに事業を展開する食品企業で、商品開発に関わりたいと考えています。国を超えた多能な人材が集まるチームで主体的に行動し、社会に良いインパクトを残したいです。

学生の声



YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

原田 琉碧 Lucia Harada

国際商学部 国際商学科 3年
広島県 私立AICJ高等学校卒

国際的な視点からさまざまな課題に取り組み、グローバルな課題への対処能力を養いました。特に「Japan from Foreigner's View」の授業では、日本の問題を多角的な視点からとらえる重要性を学びました。今後は離婚後の家族のサポート活動をしたいと考えており、経済産業省主催のプログラムに採択されたアプリの開発を進めています。プログラムで学んだグローバルな視点を活かして、地域社会に貢献するリーダーを目指しています。

学生の声



ADEPTプログラム

吉原 茉那 Mana Yoshihara

国際教養学部 国際教養学科 3年
神奈川県 私立捜真女学校高等学校卒

データサイエンス学部の先生などから、社会調査の方法やデータ分析の基礎、プログラミングの手法を学びました。肥満度を表す体格指数のBMIや、図形の面積を出すプログラムを体得し、自分で作りたいプログラムを書く事も経験できました。社会調査の実践としては、中華街でアンケートやインタビューを実施、分析をもとに中華街の周遊コースを作成しました。こうしたデータ分析は、自分が普段学ぶ国際教養学部でも必要な知識だと実感しました。



SCHOOL OF INTERNATIONAL LIBERAL ARTS

国際教養学部

国際教養学科 / 教養学系・都市学系

学位: 学士(学術) / 取得できる資格: 教員免許(英語)

国際教養学部では、英語をはじめとする外国語の運用能力、文化的背景に基づいた多様性への理解、理論を実践に応用する能力、そして共感を獲得し課題を解決するためのコミュニケーション能力を身に付けます。また、確かな専門性に裏打ちされた論理的思考力を身に付ける「教養学系」と世界と日本の都市や地域の課題に実践的に取り組む「都市学系」という2つの学系での学びを通して、真のグローバル人材を育てます。

こんな学びを志向する人に

- 世界の人々の相互理解に貢献したい
- 複雑化する現代社会が抱える問題の解決に貢献したい
- 外国語をその背景となる文化や歴史を理解しながら学びたい
- 人間の心のメカニズム、発達や成長について学びたい
- まちづくり、都市計画、都市デザインに関心がある
- 都市・地域の課題解決に貢献したい



国際教養学部の特色

国際教養学部は、豊かな教養と高い思考力、さらに、高い外国語運用能力と課題解決に向けた実践的な力を養う教育を展開します。それにより、多文化共生社会の実現や世界規模の課題、現代のさまざまな都市における諸問題の解決に貢献できる人材を育成します。教養教育と専門教育の融合をベースとしながら、社会・文化・人間に関わる多様な学問群の中から、自らの関心に沿って「主体的な学び」を進め、それぞれの分野における「専門的な知見」を修得します。また、幅広いアプローチを学ぶ事で「多角的視点」に立ち、ものごとの本質や根本をとらえる豊かな教養と高い思考力を養います。加えて、このような教養と思考力に裏打ちされた、現代の都市・地域社会が直面する現実的な課題を解決するための実践力を持つ人材を育成していきます。

特色 1 『専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得』

グローバル化が進み、複雑化する社会で生きていくために必要な事は何でしょうか。それは、ものごとの本質を見極められる深い思考力と未知の事象に出会った時に対応できる柔軟な発想力です。国際教養学部では1年生全員が国際社会論、国際文化論、人間科学論、都市政策・まちづくり論という学問入門科目を受講し学びのスタートを切ります。2年次からは、社会・文化・人間の諸問題を多角的にとらえる教養学系と都市・地域の課題に実践力で挑む都市学系の2学系、4つのクラスター(科目群)の中から自ら選択した分野の学びを深めます。さらに関連するクラスターの学問領域を融合的に学ぶ事によって、深い思考力と柔軟な発想力を身に付けていきます。

特色 2 『理論に裏打ちされた実践力を鍛える』

大学での学びの大きな特徴は、専門性を持つ事、そしてその専門性を武器に理論的な思考ができるようになる事です。さらには、身に付けた力を社会に還元する事が大学を卒業した人の使命といえるでしょう。国際教養学部の学びの中には、社会に還元するための実践力を鍛えるプログラムが用意されています。海外、国内で行う実習プログラムはその一例です。国連やJICA、海外、国内の大学、自治体等と連携したフィールドワークや共同研究で学びのカチを変えていく体験をします。講義で学んだ事を現実の課題に当てはめて思考したり、国内外の同世代の学生とディスカッションしたりという体験を通して、理論と実践の両面から学びを深めていきます。

特色 3 『グローバル時代の未来を切り拓くコミュニケーション能力』

より良い学びのためには、学んだ事を形にして人に伝える事、相互に理解し合う事が重要です。国際教養学部の学びにはコミュニケーション能力を鍛える仕掛けがちりばめられています。少人数で行われるゼミでの発表や討論、講義中に課されるプレゼンテーション等、発表や討論の機会がたくさんあります。経験を積み重ねる事で、コミュニケーション能力を磨いていきます。高度な英語運用能力の修得に加えて、もうひとつの外国語を学ぶ事にも力を入れており、国際教養学部教養学系では英語以外の言語を学ぶ「初習外国語」を必修としています。2年次前期後半から夏休みにかけての期間に海外体験をする事を強く推奨しています。以心伝心ではなく、ことばとことばの積み重ねによって相互理解をする体験がグローバル時代の未来を切り開いていく力へとつながります。



Message from the Dean

深い専門性、幅広い教養、そして高い外国語運用能力に基づいて、主体的に課題を解決できる実行力のある人間を育てる場。

国際教養学部長
鈴木 伸治 Nobuharu Suzuki



国際社会では多角的な視野に立って課題を発見し、確かな思考力と高い対話能力で課題を解決できる人材が求められています。そこで必要とされるのは、外国語能力を含むコミュニケーション能力、多様な社会・文化的背景の理解、自文化の相対化、根拠に基づいて主体的に行動できる能力です。国際教養学部では、選択したクラスターで体系的に専門の軸を固めると共に、隣接する学問領域との融合をはかり、専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得を目指します。

ゼミの活動では、他者との協働作業を通して理論に裏打ちされた思考を応用できる実践力を鍛えます。さらに、海外留学や国内外におけるフィールドワーク、インターンシップ等、さまざまな体験を積み重ねる事で相互理解に基づく日本語および外国語でのコミュニケーション能力に磨きをかけます。共に作り、共に育つ場としての国際教養学部での学びを通して、あらゆる社会、文化、思考を認め合い生かす事ができる、グローバル時代の未来を切り開いていく国際人を目指しましょう。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	国際教養学部の入門科目を学び、基礎を固める	専門性を深めるため教養学系、都市学系のどちらかを選択し、専門性を確立するために4つのクラスター(科目群)からひとつを選択する プレゼミ	海外留学、インターンシップ、英語で行われる専門科目等を履修し複文化・複言語を体験。専門を深めると同時に、学問間の融合を図る 演習	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する 卒論演習 大学院科目の早期履修
教養学系		地域調査実習・海外調査実習・海外文化実習 インターンシップ実習		
都市学系		都市課題実習I	都市課題実習II	
共通	全学開放科目 教養ゼミ/基礎ゼミ Practical English		共通教養科目 Advanced Practical English	
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

専門性を深める学系とクラスター

国際教養学部は、「教養学系」と「都市学系」という二つの学系を持ち、少人数で行われるゼミを中心にそれぞれの専門性を深めていきます。その専門性を確立するために4つのクラスター(科目群)を設けています。学生はの中から必ずひとつのクラスターを選択し、集中的に学ぶ「専門の軸」を持ちながら、関連する学問領域の科目まで融合的に学修する事ができます。〈国際文化〉〈人間科学〉〈国際社会〉〈都市政策とまちづくり〉の4つのクラスターを専門の軸として、下記の専門科目における「文化」「人間」「社会」「都市」の 카테고리から関連する科目を履修していきます。

国際文化(教養学系)	人間科学(教養学系)	国際社会(教養学系)	都市政策とまちづくり(都市学系)
文学、言語学、歴史学等	哲学、身体科学、心理学等	社会学、国際関係学等	地域科学、都市計画学等

国際教養学部専門科目一覧

文化	人間	社会	都市
日本文化史A 日本文化史B 中国文化論A 中国文化論B 東南アジア史 アメリカ文学A アメリカ文学B イギリス文化論 フランス語文学 ドイツ文化論A ドイツ文化論B 言語学 アンロ・アメリカ文芸批評論 イギリス文学A イギリス文学B フランス文化論 Linguistics (Discourse Studies) 第二言語習得論 日本応用言語論 日本語文学 日本思想史 日本古典文化論 イスラーム地域史A イスラーム地域史B	Explication of American Literary Text B 英米言語文化A 英米言語文化B 翻訳文化論B 西洋古典学A 西洋古典学B 英文学史 英米文学講義 英語学 演劇文化論 音楽文化論 映像文化論 Japanese Literature in English ヨーロッパ史 東アジア史A 東アジア史B 社会言語学 理論言語学 日本メディア史 東洋文化 Elements of Fiction in English European Culture in English 英語構文研究 メディア英語 ロシア・東欧の文化	哲学的人間論A 哲学的人間論B 現代倫理学 臨床心理学A 臨床心理学B 臨床心理学C 発達心理学 現代思想 文化人類学 心理学研究法 身体運動科学 現代教育論 社会福祉論 宗教学 東洋思想 認知心理学 社会心理学 運動生理学 オルタナティブ教育論 インクルージョン論 スポーツ文化論 世界の福祉 高齡社会論 現代社会論 東南アジア研究 東アジア社会経済論 国際移住論A 国際移住論B 海洋法 多文化社会論 国際関係論	現代社会論 社会学 エスニシティ論 アジア地域論 国際協力論 国際開発学 グローバル政治論 国際法I 国際法II メディア社会論 社会理論 東南アジア研究 文化社会学A 文化社会学B 韓国朝鮮研究 地域開発論 国際経済社会論 日本外交論 農村振興論 国際機構論 Global Issues 芸術社会学 メディア・リテラシー論 ヨーロッパ統合論 ラテンアメリカ研究 アフリカ社会論 平和構築論 家族社会学 ジェンダー論 文化社会学A 文化社会学B 韓国朝鮮研究 国際経済社会論 国際人権法 都市計画論 都市解析 地域活性化論 都市と暮らし 比較社会システム論 行政法I 行政法II 住環境計画論 地球環境政策論 港湾都市論 地方自治論 都市空間形成論 地域CSR論 都市デザイン論 都市財政論 都市環境論 都市防災計画論 不動産マネジメント論 CSR実践論 非営利組織論 観光政策論 横浜の都市づくり 都市経済学 労働生活政策論 環境社会学 環境まちづくり論 文化政策論 地域保健医療福祉論 労働経済学 環境経済学 資源経済学 環境ISO論 品質ISO論 日本の都市計画と都市開発

外国語・実習・専門ゼミ

専門外国語A(フランス語) 専門外国語B(フランス語)	専門外国語A(ドイツ語) 専門外国語B(ドイツ語)	専門外国語A(スペイン語) 専門外国語B(スペイン語)	専門外国語A(中国語) 専門外国語B(中国語)	専門外国語A(韓国・朝鮮語) 専門外国語B(韓国・朝鮮語)	アジア諸言語I(タイ語) アジア諸言語II(タイ語)	アジア諸言語I(ベルシャ語) アジア諸言語II(ベルシャ語)
地域調査実習 都市課題実習I	海外文化実習 都市課題実習II	海外調査実習 地域課題実習	プレゼミA 海外都市課題実習	プレゼミB インターンシップ実習	演習I キャンパス起業体験実習	演習II 演習III 卒論演習I 卒論演習II 卒業論文

SDGsへの取り組み



国連の活動を題材に国際社会に生起するさまざまな問題に考えを巡らせ、そこから「人」の営みの本質をとらえる国際機構論演習(高橋力也ゼミ)

2015年にSDGsを採択した国連は、「誰一人取り残さない」というスローガンを掲げ、国家ではなく人間を中心に据えて、紛争、テロ、貧困、差別、温暖化などのさまざまな問題に取り組んでいます。国連そのものは193の加盟国から成る国際機関ですが、実際の意思決定の一つひとつは、各国の外交官、国連職員、NGO職員などの「人」の手によってつくり上げられ、執行されます。実は国連とは、利益だけでなく、各国から集まった人々の感情や文化が交錯し、入り交じる、非常に人間臭い場なのです。そうした問題意識から、このゼミでは、国際機構論の専門書や論文をもとに発表や討論を行いながら、例えば、PKOの事例などを、外交官、国連職員、PKO隊員、派遣先の現地住民など、異なる視点から多角的に分析することを心がけています。「もし私が〇〇の立場だったら…」と想像の羽を自由自在に伸ばしながら、「人」とは何かという大きな問いについて思考を深めます。



Pick up 授業

比較地方自治

新垣 二郎

地方自治というのは、国家レベルという遠い世界だけで政治(=諸アクターの利害の調整)や行政(=税金に基づくサービス提供)を完結させるのではなく、市町村や都道府県など、我々に身近なレベルでも政治や行政を行わせる仕組みを指します。世界中で広く導入されており、いまや地方自治未整備の国のほうが少ないですが、制度設計は国によって千差万別であり、欧米やアフリカ、アジアなど、地域的な差も大きいです。この講義では、日本の地方自治の仕組みが海外諸国と比較してどのような特徴を持っているのか、そして、現在の仕組みがどのような歴史的経緯を辿ってきたのか、という2つのテーマを扱います。地方自治の仕組みを多角的に学ぶことは、これからの地域社会や都市のあり方、まちづくりや自治体サービスの方向性を考える上でとても重要です。公務員志望の方はもちろん、民間就職を考えている方にもぜひ履修してほしい講義です。



社会理論

渡會 知子

社会理論では、現代社会を生きるために重要な考え方のエッセンスを、哲学と社会学に基づいて紹介します。授業では、そうした知識をただ覚えるだけではなく、実際にそれを使って「現代社会」や、その中を生きる「私」あるいは「他者」とどう向き合うのかを一緒に考えることを大事にしています。受講生は学部も年齢も経歴もバラバラですが、だからこそ、ひとりでは思い付かなかった多様なものの見方に出会うことができます。逆に、こんなに悩んでいるのは自分だけだと思い込んでいたものが、実は他の人も同じように悩んでいることがわかったり、アドバイスを共有できたりもします。そうやって凝り固まった観念(「こうじゃなきゃ」)を機重にも解きほぐしていく自由とスリル、そこから開かれる視界の広がりが、社会理論の醍醐味だと思います。ぜひ、大学だからこそこの学びを通して、遅くとも「思考のよりどころ」を手にして欲しいと思います。



主な科目紹介

都市防災計画論

地球温暖化の影響もあり頻発する水害や国内外で発生する地震などの自然災害について、私達はどのように備えたらよいでしょうか。災害後に避難行動、避難生活、仮住まい、復興と時系列に地域社会の動きと課題を理解することが、備えへの第一歩です。高齡化社会において災害時に特別な配慮が必要な人々への対応についても考えます。都市計画やまちづくりの視点から、実際にまちあるき、グループワーク等のアクティブラーニングを通して学びます。

フランス文化論

フランスの家族政策は少子化克服のモデルケースとされることがあります。本科目では、フランス語圏の文化と社会を、「恋愛」という事象を切り口として、歴史的・社会的な表象にふれながら考察します。恋愛の到達点として考えられることの多い婚姻やPACS等の社会契約について、さらには出生率について、日本や他国の事例と比較しながら、その背後にある家族観や恋愛観を受講者と一緒に考えたいと思います。

海外調査実習

海外調査実習は世界の現場に赴き、現場から学ぶ実習です。同実習b(国際機関)では、平和、環境、開発など参加者の関心に応じて英語で論文を作成します。その上で、国連などの国際機関やNGOに赴いてインタビューを行い、彼らがどのような取り組みをしているのかを深く理解します。さらに現地の大学で研究発表も行い、これらの成果を踏まえて英語論文を完成させるという他に類を見ないやりがい溢れる実習です。

大学院紹介

都市社会文化研究科

Graduate School of Urban Social and Cultural Studies



都市社会文化専攻

私たちの暮らしに身近なテーマをはじめ、現代社会に迫るさまざまな課題を総合的にとらえ探究する力、課題の解決を実践する力を身に付けます。大学が立地する横浜を基盤とした「ローカルな視点」、そして対極にあるかのように見える「グローバルな視点」、さらに人文社会科学や自然科学等の多分野の領域を横断する「知」を獲得しながら、現今の世界や社会が当面する課題に向き合います。そして、環境問題やジェンダー等、多様な視点から、持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)を学ぶ事を強化し、そのためのプログラムも用意しています。また、本学卒業後プラス1年で大学院を修了する事が可能です。国際的な視野を持ち、都市を学ぶにふさわしい、みなとみらいのサテライトキャンパスでの講義や近辺地域のまちあるきや現地見学は都市を学び、考え、実践する問題意識を高める事につながります。



修了後の主な就職先 ●アルメック(旧:アルメックVPI)、電通西日本、読売広告社等

教員一覧

詳しくは
WEBで



阿内 春生 Haruo AUCHI 准教授 教育制度論	青 正澄 Masazumi AO 教授 地球環境政策論	有井 巴 Tomoe ARII 講師 言語学	新垣 二郎 Jiro ARAKAKI 准教授 地方自治論
有馬 貴之 Takayuki ARIMA 准教授 観光政策論	有馬 斉 Hitoshi ARIMA 教授 倫理学	石川 永子 Eiko ISHIKAWA 准教授 都市防災計画論	岩崎 徹 Toru IWASAKI 准教授 英文学
上村 雄彦 Takehiko UEMURA 教授 グローバル政治論	浮田 徹嗣 Tetsuji UKITA 准教授 臨床心理学	江上 園子 Sonoko EGAMI 准教授 発達心理学	大澤 遼可 Haruka OSAWA 講師 ドイツ文学
大島 誠 Makoto OSHIMA 教授 都市財政論	乙坂 智子 Tomoko OTOSAKA 教授 中国前近代史	小野寺 淳 Jun ONODERA 教授 アジア地域論	柿崎 一郎 Ichiro KAKIZAKI 教授 東南アジア研究
影山 摩子弥 Makoya KAGEYAMA 教授 比較社会システム論	金山 泰志 Yasuyuki KANAYAMA 准教授 日本近現代史	川瀬 和也 Kazuya KAWASE 准教授 西洋哲学	後藤 寛 Yutaka GOTO 准教授 都市解析
齊藤 広子 Hiroko SAITO 教授 不動産マネジメント論	佐藤 響子 Kyoko SATOH 教授 コミュニケーション論	塩尻 智之 Tomoyuki SHIOJIRI 准教授 身体運動科学	庄司 達也 Tatsuya SHOJI 教授 近代日本文学
鈴木 伸治 Nobuharu SUZUKI 教授 都市デザイン論	高橋 力也 Rikiya TAKAHASHI 准教授 国際機構論	滝田 祥子 Sachiko TAKITA 教授 多文化社会論	土屋 慶子 Keiko TSUCHIYA 教授 英文学
角田 隆一 Ryuichi TSUNODA 准教授 現代社会論	坪谷 美欧子 Mioko TSUBOYA 教授 エスニシティ論	中谷 崇 Takashi NAKATANI 准教授 アメリカ文学	中西 正彦 Masahiko NAKANISHI 教授 都市計画論
西海 洋志 Hiroshi NISHIKAI 准教授 国際関係論	平松 尚子 Naoko HIRAMATSU 准教授 フランス文化論	藤井 得弘 Tokuhiko FUJII 准教授 中国文学	松本 郁代 Ikuyo MATSUMOTO 教授 日本文化史
三輪 律江 Norie MIWA 教授 参加・協働論	山崎 和美 Kazumi YAMAZAKI 准教授 中東社会・文化論	山田 剛史 Tsuyoshi YAMADA 教授 教育心理学	山根 徹也 Tetsuya YAMANE 教授 西洋史
吉田 栄一 Eiichi YOSHIDA 教授 国際協力論	渡會 知子 Tomoko WATARAI 准教授 社会学	和仁 道郎 Michiro WANI 准教授 国際経済社会論	

(2024年4月時点)



学生の声

詳しくは
ココ知り!



英語から心理学まで 興味がある分野を広く学べる。

国際教養学部 国際教養学科 3年
神奈川県立横浜国際高等学校卒

山田 有里子 Yuriko Yamada

英語教師を志し、この学部に入學しました。PE (Practical English) センターのコミュニケーションアワーでインストラクターと英語で会話したり、留学生と交流するなどして英語力を高められる環境があります。ただ、私は教職課程の教育心理学を受講した事で心理学に興味を持ち、現在は教育心理学のゼミに所属し、人間科学系を専門にしたいと方向転換しました。心理学研究法という授業では心のはたらきを探求するための、統計解析などの研究方法も学びました。卒業後はこうしたスキルをもとに、「たくさんの人と関わる」をテーマに仕事ができればと思います。YCUには入學後も多くの魅力的な学びが用意されているので、学びの自由さを味わってほしいです。



フィールドワークも重ねながら まちづくりのゼミで真の地域貢献を学ぶ。

国際教養学部 国際教養学科 3年
神奈川県 横浜市立みなと総合高等学校卒

川口 典親 Norichika Kawaguchi

YCUの国際教養学部では、文化や人間学を学べる教養学系リベラルアーツとともに、まちづくりを学べる都市学系が大きな柱となっていて、講義もゼミも充実しているのが入學の決め手でした。所属するゼミでは、システムや理論を学ぶだけでなくフィールドワークに力を入れています。実際に足を運んでみないと得られない学びの多さに感激しながら、知識と経験を深めています。また、環境、市民社会、観光など都市に関する多角的な講義も充実しているのも魅力です。まちづくりを俯瞰して考察できる環境が整っているため、積極的に受講しています。将来はこれらの学びを活かして行政と住民、企業の調整役となるような地域経営ができればと考えています。

卒業後の主な進路

卒業生就職実績 (2023年3月卒業)

進路	就職希望者数	就職	進学	その他
人数	200	195	12	18
就職率		97.5%		

※就職率：就職者÷就職希望者数
※その他：留学、資格取得等

進路先

■製造業

エーザイ株式会社
太陽誘電株式会社
日産自動車株式会社
パナソニック株式会社
本田技研工業株式会社
マルマン株式会社

■金融・保険業

株式会社ジャックス
第一生命保険株式会社
日本生命保険相互会社
丸三証券株式会社
三井住友信託銀行株式会社

■建設・不動産業

株式会社オープンハウスグループ
JFEエンジニアリング株式会社
野村不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
三井ホーム株式会社

■広告・コンサルティング・専門サービス業

アデコ株式会社
エン・ジャパン株式会社
有限責任監査法人トーマツ
PwCコンサルティング合同会社
株式会社マイナビ

■公務員・教員・特殊法人

神奈川県教育委員会
神奈川県警察
神奈川県庁
川崎市役所
厚生労働省
茅ヶ崎市役所
出入国在留管理庁
総務省関東管区行政評価局

■主な進学先(大学院)

慶應義塾大学大学院
専修大学法科大学院
東京学芸大学大学院
東京大学大学院
横浜国立大学大学院

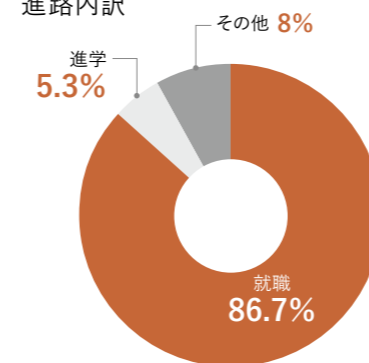
■商社・卸売・小売業

株式会社紀伊國屋書店
株式会社城石井
株式会社ファーストリテイリング
株式会社丸井グループ

■情報通信業・マスコミ

SCSK株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ (NTTデータ)
株式会社浜銀総合研究所
楽天グループ株式会社

進路内訳



SCHOOL OF ECONOMICS AND BUSINESS ADMINISTRATION

国際商学部

国際商学科

学位: 学士(経営学)・学士(経済学)

グローバル企業に必要な経営管理能力、新事業を創造する企画立案力、マネジメントの高度な実学能力を養います。ビジネスの国際的な共通言語である経営学・経済学を学び、ビジネスの現場で役立つ確かな英語力も身に付けます。海外・国内インターンシップやフィールドワーク、海外大学とのサマープログラムなどの多彩な学外実習で、学問的な理論・知識に加えて実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関で活躍できる職業人を育成します。

こんな学びを志向する人に

- 企画立案する方法や起業する方法を学びたい
- 金融機関の活動や金融等の政策について学びたい
- グローバル企業で活躍するための経営管理能力を身に付けたい
- 「経営学」と「経済学」を1年間学んでから深く追求する学問を決めたい
- さまざまな専門職(公認会計士、税理士)を目指したい
- 民間企業から公務員まで、幅広く自分の可能性を広げる学びをしたい



詳しくは
WEBで



国際商学部の特色

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性に基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶと共に、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的思考力を養い、数理解理解力やデータ分析力等を生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的な専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な「実学」力により、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。

特色 1 『英語で学ぶ専門科目でビジネスに強い英語力を強化』

皆さんが大学を卒業する頃には、会議での公用語が英語となっている企業は増えている事でしょう。そうでないとしても、仕事で英語を使用する機会は確実に増えています。つまり、グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、コミュニケーションのための英語力だけでなく、仕事に生かせる実践的な英語力だと考えます。そこで、国際商学部では、英語による専門科目(Global Business Strategy, Advanced Topics in Economics, Introductory Accounting等)を多数学ぶ事ができます。たとえば、Introductory Accounting Iを2年次前期に学修してもらうために、1年次に簿記入門を事前に日本語で学修できるように計画されているので、英語での専門科目の学修も無理なく進める事ができます。

特色 2 『海外で実践力を養う、海外インターンシップ』

グローバル企業は世界各国に支社や事業所を開設しています。日本企業もこれから世界中の都市に進出していく事でしょう。つまり、近い将来、「企業で働く」という事は国内だけでなく海外をフィールドとして活躍する事を意味するのです。そこで、国際商学部ではこれからのビジネスには欠かす事のできないグローバルな視点と経営管理能力を入学後の早い段階から意識し、確実に獲得してもらうため、また、在学中に海外で働く事を体験してもらいたいという思いから、海外企業等へのインターンシップに参加する機会を提供していきます。

特色 3 『データ分析、起業、医療経営等多様な専門性を育成』

ビジネスの世界、たとえば、新商品を開発し販売し収益を上げるまでには、どこに工場を建設するのか、原材料はどこから購入するのか、工場の作業員をどのように確保するのか、商品の広告費にいくらかけるのか、そして、商品の価格はいくらにするのか、その他、決断しなければならない課題がたくさんあります。こうした課題解決に経営学と経済学の知識は必須です。しかし、今ではこうした課題の解決に経営学や経済学以外の知識も必要となっています。そのひとつが膨大なデータを分析し見える化する能力です。また、経済成長が見込まれない社会で企業が発展していくためには、新事業を創り出す(起業する)ための企画立案力も必要となってきます。その他、人口が減少していく社会では医療に関係する課題も山積しており、こうした諸課題に経営的な視点からの解決が強く求められています。そこで、国際商学部では、本学のデータサイエンス学部や医学部と連携し、「計量経済学」、「アントレプレナーシップ論」、「医療イノベーション経営管理論」等特色ある科目を設け多様な専門性を育成します。



Message from the Dean

「人と進んで交わり共に資質を高める」という理念のもと、国際標準の経済学・経営学の知識と、豊富な卒業生ネットワークを生かして、国際社会で活躍する。

国際商学部長
和田 淳一郎 Junichiro Wada



1882年の横浜商法学校を創基とする国際商学部の歴史は、1889年の横浜市の誕生や、1928年の横浜商業専門学校設立を創立の年と定める本学の歴史より古いものとなります。2019年4月に国際商学部として新たなスタートを切りましたが、これからも、開国・開港の地である横浜にふさわしく、開放的で国際性・進取性に富むリーダーを輩出していきます。1年次には、国際標準の経済学や経営学の基礎だけでなく、自然言語(TOEIC600点あるいは相当するTOEFL等)、人工言語(数理・データサイエンス・AIの基礎的素養)、会計言語(各種資格要件に繋がる簿記・会計)を身につけることが求められます。新入生は少人数で経済学入門、経営学入門などを一緒に学び、仲間づくりがしやすい環境にして

います。2年次からは、ゼミを中心に、国際標準の学士(経済学)、学士(経営学)プログラムにつなげます。また海外サマーセミナーや海外企業インターンシップなど、海外に飛び出す機会を提供しています。2、3年次には、幅広い経済学、経営学が講じられ、一部専門科目は英語で学びます。インゼミや企業等が提供する各種コンペなど、グループ単位の活動が奨励され、質的分析にとどまらず、量的な分析力も身につきます。卒業論文は、幅広いテーマが許されており、ゼミの指導教員以外の教員による公開審査をします。街のリーダーを育てたEuropean bachelorの伝統にもかかわるものであり、社会の諸問題に対し、自分の立論をしっかりと科学的論拠に基づいて主張できる将来のリーダーを育てます。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する プレゼミ 英語による専門科目(基礎) 海外留学・学外実習 前期には、海外留学・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップ等 積極的に海外体験を推奨する期間があります。	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める 演習 英語による専門科目(応用)	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する 卒論演習 大学院科目の早期履修
共通	全学開放科目 共通教養科目 教養ゼミ/基礎ゼミ Practical English Advanced Practical English			
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

実践で学ぶための海外体験や実習

1年次は国際商学部の入門科目を学び、2年次には経営・経済の基礎理論をしっかりと学びます。さらに、2年次の6月中旬から9月にかけて、海外企業インターンシップや短期留学等、積極的に海外での体験を積める期間を設けています。そして2年次後期になると専門ゼミに配属され、専門を深めていく事になります。また、国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」を設け、アクティブラーニングによる学びで実践的なテーマに挑戦します。

国際商学部専門科目一覧

専門科目					
医療イノベーション経営管理論	Advanced Topics in Economics	金融論I	経営戦略論	中小企業論	景気循環論
サービス・ビジネス論I	Introduction to IFRSs	金融論II	マーケティングリサーチ	税務会計論	金融システム論
サービス・ビジネス論II	Business Economics	計量経済学I	組織行動論	消費者行動論	公共選択論
公会計論	民法・物権I	計量経済学II	人的資源管理論	流通ロジスティクス論	地方財政学
起業プランニング論	民法・物権II	経営財務論	企業論	情報の経済学I	会社法
医療経営論	民法・債権I	財政学I	経営情報論	情報の経済学II	租税法
Global Business Administration	民法・債権II	財政学II	財務諸表論	経済数学	ビジネス法務
Global Business Strategy	環境法	公共経済学	コーポレート・ガバナンス	国際経済学I	手形小切手法
Global Organization Theory	財務諸表分析I	地方自治論	コストマネジメント論	国際経済学II	金融商品取引法
Japanese Industry	財務諸表分析II	コーポレート・ファイナンス	イノベーション・マネジメント	ゲーム理論	倒産法
Japanese Economy	経済統計I	ビジネスエコノミクス	組織文化論	サマープログラム	インターンシップ実習
Global Leadership	経済統計II	商業簿記I	経営史	都市経済学	企画立案型実習A
Global Service Management	経済政策I	商業簿記II	証券市場論	ファイナンス理論	企画立案型実習B
Global Human Resource Development	経済政策II	会計学原論I	監査論	契約理論	文理融合型実習A
Introductory Accounting I	マイクロ経済学I	会計学原論II	ベンチャービジネス論	産業組織論	文理融合型実習B
Introductory Accounting II	マイクロ経済学II	工業簿記	多国籍企業論	労働経済学	医療経済学
Intermediate Accounting	マクロ経済学I	経営労務	管理会計論	社会保障論	医療政策学
International Business	マクロ経済学II	経営組織論	企業戦略論	地理情報システム論	
Basics of Corporate Analysis and Valuation	行政法I	マーケティング論	国際税務戦略	港湾都市論	
Global Innovation Management	行政法II	国際経営論	生産管理論	資源経済学	
Global Marketing	国際金融論I	原価計算論	リスクマネジメント論	環境経済学	
アントレプレナーシップ論	国際金融論II	国際会計論		経済成長論	
専門ゼミ					
プレゼミA	演習I	演習II	演習III	卒論演習I	卒論演習II
				卒業論文	

SDGsへの取り組み



マーケティング、消費者行動が専門の演習（柴田ゼミ）で社会的課題解決に貢献するブランド戦略立案と実践

コロナ禍でゼミ生達は、自身の食と健康、持続的な社会に強い関心を持ちました。これをきっかけに、同じ問題意識を持つ横浜南部市場の水産会社(株)横浜食品サービスや、横浜中華街の発展に寄与する活動を行う横浜中華街発展会協同組合と、それぞれ連携活動をスタート[17(パートナーシップ)]。水産エコラベルのMEL認証認知拡大策[14(海の豊かさを守る)]や、食品加工時に発生し食品ロスになってしまう「端材」の商品化とプロモーション[12(食品ロス)]、魚食文化継承に向け大手量販店で「おさかなお弁当」の販売[3(健康に貢献する食)、12(食品ロス)]、中華の伝統文化である「打包(ダバパオ)」という食べ残しの持ち帰りを推進するマーケティング活動[12(食品ロス)]、横浜中華街の未来につながるファンづくり[11(持続可能な街)]のほか、SDGsに対応しながらブランド力や企業価値向上に寄与するマーケティング的アプローチにチャレンジしています。



おからまろろコロッケ (学生によるイラスト)

レシビカード (学生によるイラスト)

Pick up 授業

医療経済学

加藤 弘陸

健康や医療には、医療費適正化、医療の質の向上、健康格差縮小といった重要な課題が多数存在しますが、これらの解決は容易なことではありません。医療経済学は、経済学の理論と手法を用いて、健康や医療に関する問題をとことん考え、その解決を考える学問です。授業では、経済学の理論に基づいて、患者、医療機関、製薬企業などさまざまな人や団体の意思決定を整理することから、データに基づく健康・医療の実態の分析方法やその結果まで、幅広いトピックを取り扱います。理論とデータに基づく分析をしっかりと学ぶことで、複雑な健康・医療問題の背景には何があるのか、その原因を深く考察できるようになり、効果的な解決策を設計・評価する上で指針となる判断基準や根拠を習得することができます。このような講義を通じて、経済学を実際の社会問題の解決に活用する面白さを体感してもらうことを目指しています。



サービス・ビジネス論I・II

根本 裕太郎

私たちの生活は、さまざまなサービスによって成り立っています。例えば、レストランやスーパー、アパレル。こうした業種はサービス業と呼ばれます。横浜市立大学も、サービス業とは呼ばれませんが、教育や医療といったサービスを提供しています。現代では、インターネットを通じて提供されるサービスも膨大に生まれています。では、私たちは何をもちもて斯くも幅広い事々を「サービス」と呼んでいるのでしょうか。あらためて問われると案外難しいと思いませんか。サービス・ビジネス論Iでは、サービスの本質に迫る概念やフレームワークを、さまざまな事例を参照しながら学びます。またIIでは、新たなサービスを生み出すことに焦点を当て、グループワークを通じてサービスデザインの考え方や手法を習得します。以上を通じて、サービスという視点から社会・経済活動を読み解き、目指すべき事業や社会の像を描くための知識を身に着けます。



主な科目紹介

ゲーム理論

ゲーム理論の授業では、自分にとって何が得かが相手の出方に依存して決まる「戦略的状況」を、将棋やチェスのようなゲームに見立てて理論的に分析します。「オークションを使ったモノの売り方」や「携帯会社の価格競争」などの具体的な事例に即して理論を学びつつ、考えながら行動している相手の意図を読み解き、自分にとって最適な戦略を導くための「戦略的な思考法」を身に付けることがこの授業の目的です。

アントレプレナーシップ論

アントレプレナーシップは、スタートアップ企業の経営者に限らず、あらゆる人びとに関連するテーマです。皆さんは、アントレプレナーシップをどのようなものと理解していますか?「いまの世の中にある常識をもっとやさしいものに変える営み」のことだと私は考えています。この講義では、アントレプレナーシップの理論を勉強することで、アントレプレナーシップを上手く発揮し、常識をよりよいものに変えるための基礎づくりに取り組みます。

金融論

金融問題について理論的理解と現状の把握を目的とします。ミクロの面からは、銀行などの金融機関の存在意義、証券市場における価格形成、金融取引に関する監督規制について学びます。マクロの面からは、資金循環のあり方、中央銀行の役割、貨幣需要と貨幣供給、金融政策の有効性とその限界について勉強します。さらにバブルの発生と崩壊、世界的金融危機によって発生した金融関連の問題及び政策上の課題を議論します。

Business Economics

企業の戦略や行動について、経済学の視点から分析する「ビジネスエコノミクス」。第1クォーターに日本語で学んだ内容を、第2クォーターでは英語で学び直してみよう、というのが講義の位置づけです。専門科目の英語講義や教材(テキストや練習問題)、グループ発表に慣れる機会になればと考えています。英語講義には交換留学生の参加もあるため、ミニ留学体験になるかもしれません。

大学院紹介

国際マネジメント研究科

Graduate School of International Management



国際マネジメント専攻

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、博士前期課程では履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」で構成し、段階的に専門知識を身に付けていける体制を整えると共に、特定の指導教員による2年間の研究を通し、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。経営管理手法を用いて社会課題解決をめざす学生を対象として、経営学・経済学の知識やスキルの習得を目指すソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム(SIMBA)も、本研究科の特色です。所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により、ソーシャル・イノベーション研究プログラム修了者として認定しています。



修了後の主な就職先 ●AGC(旧:旭硝子)、NTTドコモ、マイナビ、みずほフィナンシャルグループ 等

教員一覧

詳しくは
WEBで



伊藤 智明 Chiaki ITO 准教授 アントレプレナーシップ論	岩佐 朋子 Tomoko IWASA 准教授 ビジネスエコノミクス	大澤 正俊 Masatoshi OSAWA 教授 民法・物権	大塚 章弘 Akihiro OTSUKA 准教授 都市経済学
加藤 弘陸 Hirotaka KATO 准教授 医療経済学	鞠 重篤 Joongho KOOK 教授 財政学	黒木 淳 Makoto KUROKI 教授 管理会計論	小泉 大輔 Daisuke KOIZUMI 准教授 人的資源管理論
坂口 利裕 Toshihiro SAKAGUCHI 教授 社会工学	柴田 典子 Noriko SHIBATA 教授 マーケティング論	白石 小百合 Sayuri SHIRAIISHI 教授 計量経済学	随 清遠 Qingyuan SUI 教授 金融論
高木 俊雄 Toshio TAKAGI 教授 経営戦略論	高橋 隆幸 Takayuki TAKAHASHI 教授 税務会計論	張 櫻馨 Ying-Hsin CHANG 教授 国際会計論	杜 雪菲 Setsuhi TO 講師 経営財務論
中條 祐介 Yusuke NAKAJO 教授 財務諸表分析	中園 善行 Yoshiyuki NAKAZONO 教授 マクロ経済学	長畑 周史 Shushi NAGAHATA 准教授 会社法	中村 祐太 Yuta NAKAMURA 准教授 ゲーム理論
根本 裕太郎 Yutaro NEMOTO 准教授 サービス・ビジネス論	原 広司 Koji HARA 准教授 医療イノベーション経営管理論	藤崎 晴彦 Haruhiko FUJISAKI 准教授 原価計算論	三浦 敬 Takashi MIURA 教授 会計学原論
吉永 崇史 Takashi YOSHINAGA 教授 経営組織論	和田 淳一郎 Junichiro WADA 教授 公共経済学		

(2024年4月時点)



学生の声

詳しくは
ココ知り!



利益と社会的信用を両立させる 医療経営ビジネスをゼミで学ぶ。

国際学部 国際商学科 3年
北海道 私立札幌光星高等学校卒

今井 優希 Yuki Imai

医療経営のゼミで、医療機関のビジネスやマーケティングを深く学びました。医療機関は患者さんの治療という目的を果たしながら利益も実現するのが運営の基本です。社会的信用という価値とともにビジネスを追求するところが興味深く感じます。ゼミはグループワークが多く、多様な考え方に刺激をされます。また、実際に企業の方が訪れて、テーマを投げかけてくれることもあります。以前に学んだマーケティング論、財務諸表分析、経営戦略論などの講義の知識を活かし、多角的な提案を行いました。今後は、カナダへの短期留学やベトナムでの研修なども含め、社会で活かせるように日々新しいことを身に付けたいと思います。



多様性が求められる組織、社会に通用する 実践的な学びを積み重ねる。

国際学部 国際商学科 3年
神奈川県 横浜市立横浜商業高等学校卒

鈴木 翔 Kakeru Suzuki

経営や経済、会計系科目を中心に学んでいます。所属する経営組織論のゼミは、論理や実際の企業での事例を英語のテキストを用いて学ぶ点が大きな特徴です。YCUには実践的な英語力を身に付けることができるPE (Practical English) という授業があるので、そこで徹底的に英語力も磨きました。現在もゼミでの勉強に置いて行かれないように日々、英語の勉強を続けています。ゼミではグループでの積極的な意見交換が日常的に行われていて、使う言語はすべて英語。意見交換で結論を出すわけではないのですが、異なる視点からの議論が学びを深めてくれます。ここで柔軟な思考を身に付け、物事を多面的に分析できる社会人になりたいです。

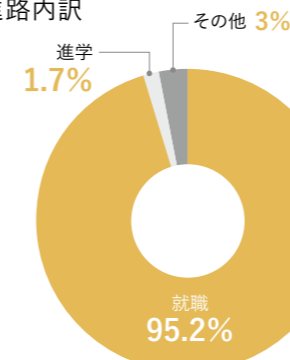
卒業後の主な進路

卒業生就職実績 (2023年3月卒業)

進路	就職希望者数	就職	進学	その他
人数	221	220	4	7
就職率		99.5%		

※就職率: 就職者÷就職希望者数
※その他: 留学、資格取得等

進路内訳



進路先

■製造業

いすゞ自動車株式会社
キヤノン株式会社
キュービー株式会社
株式会社崎陽軒
株式会社クボタ
グンゼ株式会社
サンスター株式会社
株式会社タカラトミー
株式会社バンダイ
株式会社日立製作所
富士通株式会社
三菱電機株式会社
ユニ・チャーム株式会社

■金融・保険業

株式会社ジェーシービー
大同生命保険株式会社
大和証券株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社三井住友銀行
三井住友信託銀行株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社横浜銀行

■建設・不動産業

株式会社オープンハウスグループ
株式会社関電工
清水建設株式会社
大成建設株式会社
大和ハウス工業株式会社

■広告・コンサルティング・専門サービス業
UUUM株式会社
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
有限責任監査法人トーマツ
株式会社ナガセ
株式会社野村総合研究所

■公務員・教員・特殊法人

会計検査院
国税庁
財務省東北財務局
総務省
東京国税局
東京都庁
東京都特別区
横浜市役所

■商社・卸売・小売業

キャノンマーケティングジャパン株式会社
全日空商事株式会社
株式会社マクニカ
三菱商事ケミカル株式会社

■情報通信業・マスコミ

アマゾンジャパン合同会社
株式会社インテージ
株式会社NTTドコモ
株式会社オービック
グリー株式会社
株式会社時事通信社
株式会社ジュビターテレコム
株式会社小学館集英社プロダクション
東日本電信電話株式会社
株式会社ビズリーチ
楽天グループ株式会社

■その他

株式会社JTB
全国農業協同組合連合会
株式会社ディー・エヌ・エー (DeNA)
TOPPAN株式会社
日本航空株式会社

■主な進学先(大学院)

University of Edinburgh Business School
横浜市立大学大学院

他

SCHOOL OF SCIENCE

理学部

理学科

学位:学士(理学) / 取得できる資格:教員免許(理科)

「生命現象」の理解と解明のためには従来の生物学だけではなく、物理学や化学などを含めた総合的な理学的知識が必要であり、さらにナノテクノロジーやデータサイエンスなどの最先端テクノロジーを駆使した多面的なアプローチが必要です。理学部では、物質科学や生命科学、そしてこれらの融合領域の専門知識を学修し、物質科学の概念を持ちながら、細胞・個体スケールの生命現象をとらえる事ができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物理・化学現象としてとらえる事ができる人材、医学・農学・工学等との連携研究にも積極的に挑戦できる人材を育てます。

こんな学びを志向する人に

- 物理学・化学・生物学・数学分野の基礎を体系的に学び、さらに高度専門分野を探究したい
- エネルギー・環境・食糧問題に関心がある
- 物理学・化学で生命の仕組みを理解し、社会に役立てたい
- 最先端科学技術・未来科学技術に興味がある
- 自然現象を理解し、イノベーションを起こしたい
- 生命科学や医療に関連した仕事、研究に興味がある

詳しくは
WEBで



理学部の特徴

理学部は、自然科学の基礎を全般的に学ぶ事で、物質科学の概念を踏まえて細胞・個体スケールの生命現象をとらえる事ができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物質科学としてとらえる事ができる人材の育成を目指しています。そして、理学的専門教養をもとに、医学・農学・工学等の連携研究にも積極的に挑戦できる人材を養成します。理学部では、生命とそれを取り巻く環境を対象として、それらを構成する物質の構造・機能・反応をシステムとしてとらえ、それぞれの生命における階層を接続する事で生命現象を理解する事を目指します。

1 特色 『物質科学や生命科学、およびこれらの融合領域の専門知識を学修する』

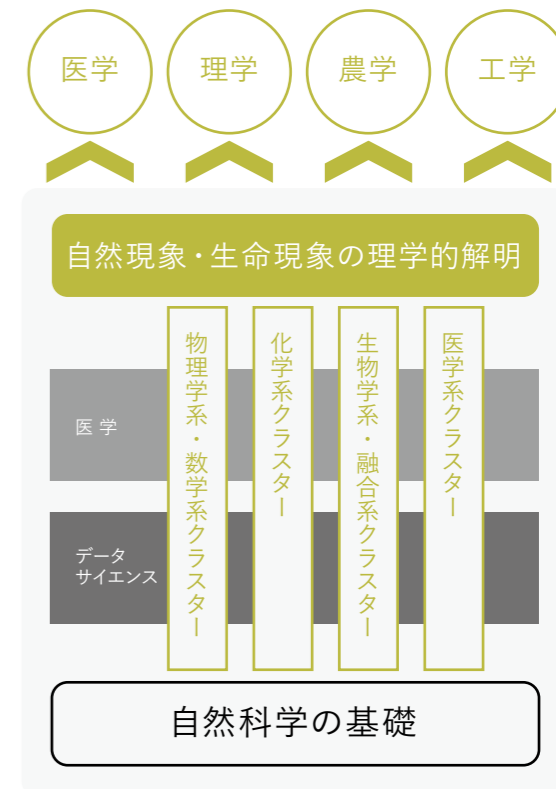
理学部では、すべての学生が物理学、化学、生物学、数学の基礎を一通り学んだ上で、物質科学、生命科学、あるいはこれらの融合領域分野へ進みます。高等学校で物理あるいは生物を履修していない学生に対して、1年次にリメディアル講座の授業を用意しています。6つの履修モデル（物理学で自然現象を解明できる人材育成、化学で自然現象を解明できる人材育成、生命を脅かすさまざまな環境要因に対する生命の防御機構や適応機構を深く探究できる人材育成、食糧問題や環境浄化に取り組める人材育成、生体分子の構造と機能を理解し、創薬に応用できる人材育成、細胞・生体の働きを理解し、医療関連に応用できる人材育成）に沿って、高度な専門知識・技術を身に付けます。

2 特色 『グローバルな研究マインドと実力を身に付ける「国際リトリートプログラム」』

自然を対象とする研究は、自然現象の観察とそれを理解するための検証実験や理論の構築により発展してきました。原子分子サイズから地球規模のものまでを対象とする自然科学は、国や地域にとらわれない世界中どこでも通用するグローバルな学問です。自然科学で世界に貢献するためには、グローバルな視点を持ち、英語を使って研究成果を発表する必要があります。「国際リトリートプログラム」は、卒業研究によって得られた成果を海外の大学等で英語を使って発表し、海外の研究者とディスカッションできるプログラムです。本プログラムは、グローバルな研究マインドと世界で通用する研究者としての実力を養うためのもので、大学院生命ナノシステム科学研究科を主体として実施されています。

3 特色 『1年次から研究活動を行える「理数マスター育成プログラム」』

自然科学研究では実験に基づく研究が不可欠であり、理学部の学生は卒業研究で配属された各研究室において研究を行い成果を卒業論文としてまとめます。しかし、学生にとっての研究スタートは3年次後期あるいは4年次であり、それまで待たなければなりません。本理学部の特別プログラムである「理数マスター育成プログラム」では、プログラム参加学生は1年次から自主的に研究活動を行う事ができます。そのための専用教室「理数マスター室」をいつでも使用できるよう整備しました。学生自らが決めたテーマに従って、教員の個別指導のもとで研究を進め、その成果を学内外の発表会で発表します。これまで物理学、化学、生物学、物質科学、生命科学、医科学、計算科学、植物科学等さまざまな分野の自主研究が行われています。



Message from the Dean

物質科学と生命科学の両面から
生命現象を細胞・個体スケールでとらえ
原子・分子レベルで解明する。

理学部長

佐藤 友美 Tomomi Sato

これまで科学は物理学・化学・生物学といった分野から構成されてきましたが、より高度・専門的に深化した結果、今ではいくつもの小さな分野・領域に細分化されています。一方で、エネルギー・環境・医療等の諸問題は、このような細分化した分野からのアプローチだけでは対応しきれないほど、高度化・複雑化が進んでいます。本理学部では、「ヒトの生命現象」の理解と解明をひとつのターゲットとして、生物学だけでなく、物理学や化学の概念や理論も含めた総合的な理学的知識を学



修します。そして、それらの知識をもとに、物質科学の概念を持ちながら細胞・個体スケールの生命現象をとらえる事ができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物理・化学現象としてとらえる事ができる人材、医学・農学・工学等との連携研究にも積極的に挑戦できる人材の育成を目指しています。さらに物質科学分野、生命科学分野、またはその融合分野において、多様な研究が活発に行われており、これらの学修成果をさまざまな領域で発揮することができます。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	物理学、化学、生物学、数学に関する基礎知識と技術を学ぶ	専門科目を4つの科目群に分類し、そのうち2つを選択し、専門性を深める	選択した科目群の知識・技能をもとに高度な専門科目を履修する	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業研究を行う
共通	実験の基礎科目	Global Science 実験技法の修得科目	Science English/Scientific Writing in English 専門実験科目	大学院科目の早期履修
	教養ゼミ/基礎ゼミ	Practical English	Advanced Practical English	
領域横断	全学開放科目 共通教養科目 領域横断型人材育成プログラム			

6つの履修モデルと4つのクラスター（科目群）

1年次には全員が物理学、化学、生物学の基礎実験を必修で学びます。それにより、理学全般の基礎的な知識や、必要とされる実験技術をしっかりと修得し、専門教育にスムーズに移行できる基礎力を養います。2年次以降はさまざまな専門領域から目的を持って学ぶため、6つの履修モデルを用意し、体系的に学修できるようになっています。さらに、各科目は学問領域ごとにグループ化された4つのクラスター（科目群）を置き、このうち2つを選択して学びます。理学部では3年次後期に研究室に配属され、専門領域を追求していきます。

6つの履修モデル	物理学で自然現象を解き明かせる人材	化学で自然現象を解き明かせる人材	分子・細胞・個体レベルで生命現象を解き明かせる人材
	ゲノム科学、生命科学の推進を通じて、食料・環境問題解決に貢献できる人材	生体分子の構造と機能を理解し、創薬に応用できる人材	細胞・生体の働きを理解し、医療関連に応用できる人材

理学部専門科目一覧

物理学系・数学系クラスター	化学系クラスター	生物学系・融合系クラスター	医学系クラスター			
振動と波動 電磁気学 熱力学 地学概説 基礎量子力学 統計力学	基礎生命物理学 地球科学入門 自然科学数学A(微分方程式) 自然科学数学B(フーリエ解析) 自然科学数学C(複素解析) 自然科学数学D(ベクトル解析)	基礎有機化学 基礎無機化学 化学熱力学 分析化学 先端機器分析化学	細胞生物学 動物生理学I 遺伝学 分子細胞生物学 放射線生物学 植物生理学I 植物生理学II 分子生物学 生化学I 生化学II 微生物学	人体の解剖生理学 分子細胞医学 臨床概論・疾病病態学 薬理学 生命医科学特別講義		
総合学修科目群						
Global Science	特講 (Science English)	課題提案型演習A	課題提案型演習B	理数自主研究I	理数自主研究II	理数自主研究III
専門発展科目群						
量子力学 固体物性 物理学演習 生命物理学 特講 (Scientific Writing in English)	地震学 電子物性 マテリアルデザイン 知覚情報科学 特講 (応用統計力学)	先端科学技術 創薬有機化学 錯体化学 化学反応速度論	量子化学 天然物有機化学 エネルギー変換 動物生理学II	細胞工学 資源生物利用学 ゲノム遺伝学 再生発生学	環境毒性学 極限環境生物学 先端植物科学 環境保全学	生命情報科学 創薬分析化学 遺伝子機能科学 先端タンパク質科学
実験実習科目群		卒業研究関連科目群				
自然科学実験I 自然科学実験II	地球科学実験 生命科学実験	生命機能計測実験 物質計測実験	先端科学演習 卒業研究I	先端科学実習 卒業研究II	卒業論文	

SDGsへの取り組み



理学から未来の世界を拓く木原生物学研究所

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所では、植物・食料科学を通じて環境と健康のつながりを考え、SDGs達成に貢献する植物科学・食料科学の研究と教育を進めています。特に、一粒の麦から種と食をつなぎ心に緑の種子をまくプロジェクト「みらい麦畑化計画」では、ワークショップや麦作りの農作業イベント等を通して、人と人、環境と人とのつながりを考え、私たちの学びが社会に生かす取り組みに挑戦しています。中でもユニークな取り組みとして、舞岡で種から育て収穫した大麦を使ったビール造りで、横浜市立大学発クラフトビール「KORNMUTTER」として販売もされる等、学生にとっても実社会で実践する場となっています。自然と物質の「二つの循環を調和」させた、グローバルな社会ネットワークの実現を考え、学びと研究成果を地域に役立てる事でSDGsへの貢献を目指します。



Pick up 授業

基礎生命物理学

谷本 博一

生命物理学は、生命現象を物理学の立場から理解することを目指す、生命科学と物質科学の境界領域にある学問分野です。「基礎生命物理学」では、理学部2年生を対象として、生命物理学に関する入門的な講義を行います。基礎的な物理を用いた生命現象の解析を通じて、生命現象に関する理解を深めるとともに、とすれば「物質を理解することが目的の学問」だと思いがちな物理学を新鮮な視点から見直す機会にして欲しいと思っています。



Global Science

Robert A. KANALY・Ruggero MICHELETTO

理学部2年生を対象とした「Global Science」では、科学に関連するさまざまなトピックについて、国際的な視点を重視しながら、理学部の各教員による講義を行います。海外での研究経験等、国際的な経験を積んだ教員による各専門分野（物理学・化学・生命科学）の紹介を通して、国際的な視野や、科学英語を用いたコミュニケーション能力を高める事を目的としています。



大学院進学を見据えた取り組み

学部・大学院の一貫教育

学部教育で修得した物理学、化学、生物学を基盤とした生命科学に関する基礎知識をもとに、大学院・生命ナノシステム科学研究科、生命医科学研究科に進学し、更に高度な研究技術の修得、生命現象を理学的に解明する力を養います。

大学院科目早期履修

3年次を修了した時点で、要件を満たした学生が博士前期課程の開講科目を履修できる制度です。履修を許可された学生は、学部4年次に早期履修する事ができます。本制度を活用する事で、大学院に進学した際に、研究活動に専念する事ができます。

理数マスター育成プログラム

将来の科学技術を担う人材育成を目指した理学部の特別プログラムで、高い研究意欲を持つ学生を対象に各自の能力向上のための研究環境を提供します。特徴は、1年次から学生自らが決めた研究テーマに従い、教員の個別指導のもとで研究活動に取り組みます。

大学院紹介

生命ナノシステム科学研究科

Graduate School of Nanobioscience



物質システム科学専攻

物質システム科学専攻では、電子・原子・分子の視点から、実験科学（合成・計測・評価）と計算科学（計算・情報・予測）に基づき、生命現象を含めた物質システムを解明するための教育と研究を行っています。これらの研究により得られた成果を、環境・エネルギー等の諸問題の解決に向けて応用し、社会に貢献する事を目指しています。

修了後の主な就職先 ● IHI、IHI検査計測、花王、JAL インフォテック、ダイキン工業、東京都庁 等



生命環境システム科学専攻

生命環境システム科学専攻では、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生命を維持するシステムについて、基本設計図であるゲノムをはじめとするさまざまな生体分子の構造と機能を解明し、生物個体の生命活動システムの基本原理、および生物集団としての遺伝子適応や遺伝子進化を理解するための教育と研究を行っています。

修了後の主な就職先 ● 味の素AGF、日揮ホールディングス、日本電気 (NEC)、日立製作所 等

生命医科学研究科

Graduate School of Medical Life Science



生命医科学専攻

生命医科学研究科では、既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学を統合する事で細胞生物学を含めた先端医学研究へ応用展開していく教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスにあり、理化学研究所との連携大学院を一層発展させると共に、生命医科学の出口を見据えた連携をより一層広げるために、本学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所 (AIST)、国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) へと連携を広げた教育体制を構築しています。さらに、生命医科学研究の基盤となるさまざまな新技術の開発も推進しています。

修了後の主な就職先 ● エーザイ、神奈川県庁、河合楽器製作所、産業技術総合研究所、武田薬品工業、日清食品、農業・食品産業技術総合研究機構 等



教員一覧

詳しくは
WEBで



明石 知子 Satoko AKASHI 教授 構造生物化学	足立 典隆 Noritaka ADACHI 教授 生物系薬学	有田 恭平 Kyohei ARITA 教授 構造生物化学	池上 貴久 Takahisa IKEGAMI 教授 構造生物化学
池口 満徳 Mitsunori IKEGUCHI 教授 生命情報科学	石川 裕一 Yuichi ISHIKAWA 准教授 天然物合成化学	一色 正之 Masayuki ISSHIKI 准教授 植物分子・生理科学	伊藤 健太郎 Kentaro ITO 助教 分子生物学
入江 樂 Raku IRIE 助教 天然物化学	内山 英穂 Hideho UCHIYAMA 教授 発生生物学	浴本 亨 Toru EKIMOTO 助教 生物物理学	及川 雅人 Masato OIKAWA 教授 生物有機化学
大江 弘晃 Hiroaki OOE 助教 表面界面物理学	大関 泰裕 Yasuhiro OZEKI 教授 糖鎖生物学	奥村 将樹 Masaki OKUMURA 助教 植物生理学	片岡 浩介 Kohsuke KATAOKA 准教授 遺伝子発現制御科学
Robert A. KANALY 教授 環境毒性・微生物学	川浦 香奈子 Kanakano KAWAURA 准教授 育種学	川崎 ナナ Nana KAWASAKI 教授 糖鎖生物学	北 幸海 Yukiomi KITA 准教授 理論分子科学
木下 郁雄 Ikuo KINOSHITA 准教授 電子物性科学	木下 哲 Tetsu KINOSHITA 教授 植物エビゲノム科学	金 亜伊 Ahyi KIM 准教授 固体地球惑星物理学	脊名 伸介 Shinsuke KUTSUNA 准教授 基礎ゲノム科学
古久保 哲朗 Tetsuro KOKUBO 教授 分子生物学	小島 伸彦 Nobuhiko KOJIMA 教授 生物工学	小沼 剛 Tsuayoshi KONUMA 助教 構造生物化学	斎藤 慎太 Shinta SAITO 助教 分子生物学
坂倉 正義 Masayoshi SAKAKURA 准教授 構造生物学	佐々木 幸生 Yukio SASAKI 准教授 神経科学	佐藤 友美 Tomomi SATO 教授 内分泌学	佐藤 拓輝 Hiroki SATO 講師 腫瘍分子病態学
塩田 肇 Hajime SHIOTA 准教授 植物発生生理学	篠崎 一英 Kazuteru SHINOZAKI 教授 無機光化学	島崎 智実 Tomomi SHIMAZAKI 准教授 計算科学	嶋田 幸久 Yukihisa SHIMADA 教授 植物ホルモン・環境応答生理学
菅原 亨 Tohru SUGAWARA 准教授 創薬再生科学	鈴木 厚 Atsushi SUZUKI 教授 分子細胞生物学	鈴木 凌 Ryo SUZUKI 助教 結晶工学	関本 奏子 Kanakano SEKIMOTO 准教授 質量分析学
高橋 栄夫 Hideo TAKAHASHI 教授 構造生物化学	高見澤 聡 Satoshi TAKAMIZAWA 教授 構造生物化学	橘 勝 Masaru TACHIBANA 教授 ナノ材料科学	立川 正志 Masashi TACHIKAWA 准教授 生物物理学
立川 仁典 Masanori TACHIKAWA 教授 量子科学・材料設計	立石 健祐 Kensuke TATEISHI 准教授 腫瘍学・脳神経外科学	谷本 博一 Hirokazu TANIMOTO 准教授 生物物理学	辻 寛之 Hiroyuki TSUJI 教授 育種学
J.R.H. TAME 教授 生物物理学	寺山 慧 Kei TERAYAMA 准教授 生命情報科学	殿崎 薫 Kaoru TONOSAKI 助教 植物育種学	中島 忠章 Tadaaki NAKAJIMA 助教 動物生理学
西澤 知宏 Tomohiro NISHIZAWA 教授 構造生物化学	禾 晃和 Terukazu NOGI 准教授 構造生物化学	野々瀬 真司 Shinji NONOSE 准教授 物理化学	朴 三用 Sam-yong PARK 教授 基礎生物学
服部 伸吾 Shingo HATTORI 助教 無機化学	林 郁子 Ikuko HAYASHI 准教授 構造生物化学	坂 智広 Tomohiro BAN 教授 植物遺伝育種学	東 昌市 Shoichi HIGASHI 教授 構造生物化学
藤井 道彦 Michihiko FUJII 教授 機能生物化学	本多 尚 Hisashi HONDA 教授 物性物理学	丸山 大輔 Daisuke MARUYAMA 准教授 細胞生物学	Ruggero MICHELETTO 教授 知覚情報科学
水谷 健二 Kenji MIZUTANI 助教 構造生物化学	守 次朗 Jiro MORI 助教 環境微生物学	山田 重樹 Shigeki YAMADA 准教授 物性物理学	山本 浩太郎 Kotaro YAMAMOTO 助教 物質計測科学
横山 崇 Takashi YOKOYAMA 教授 表面・ナノ構造物性科学	吉本 和生 Kazuo YOSHIMOTO 教授 固体地球惑星物理学	李 勇燦 Yongchan LEE 助教 構造生物化学	

(2024年4月時点)

学生の声

詳しくは
ココ知り!



手厚い指導や支援を受けながら
自分の研究を追究できる。

理学部 理学科 3年
神奈川県 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校卒
亀ヶ谷 悠斗 Yuto Kamegaya

昔から両生類や爬虫類が好きで、将来は研究者になりたいと考えていました。ある時、飼育しているカエルが跳躍時に「眼球が沈みこむ」ことを確認し、なぜそのような動きになるのか、研究で解明したいと考えました。その点、YCUは、1年次から学生の研究に対して手厚く支援をしてくれる「理数マスター育成プログラム」がある点も大きな魅力でした。実際、大学でこの研究を続けています。自分のやりたい研究をフォローしてくれる環境があるのは、とてもありがたいです。発表やレポート作成などの機会も多く、自分の調べたことを伝えるようにまとめていくという作業は、研究以外の場面においても、非常に役立つことだと感じています。将来、学士を取得してからも、面白い研究を続けていきたいです。



教員との距離が近く
気軽に質問できる環境が魅力。

理学部 理学科 2年
山形県立東桜学館高等学校卒
加藤 珠輝 Juki Kato

実家が果樹農家だということもあり、植物への興味を学術的に深めたいと考えてYCUに入学しました。YCUにはコムギなど植物の遺伝子情報のリソースをゲノム情報に置き換え、社会に役立てる研究などを行っている生物学研究所があり、植物の研究には定評があります。植物の遺伝子や植物ホルモンについて研究したい自分には最適な大学です。ほどよい規模の大学なので研究職の方や教授との距離も近く、気軽に質問できるのもありがたいです。課題提案型の演習では、担当教授の助言を受けながら、自分で選んだテーマの英語論文を読み、パワーポイントにまとめて発表するスキルを学びました。論文を書く際にも役立つ、実り多い学習を続けています。

卒業後の主な進路

卒業生就職実績 (2023年3月卒業)

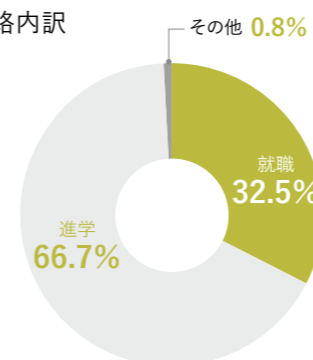
進路	就職希望者数	就職	進学	その他
人数	40	40	82	1
就職率	100%			

※就職率：就職者÷就職希望者数
※その他：留学、資格取得等

進路先

- 製造業
京セラ株式会社
日本電気株式会社(NEC)
富士通株式会社
ライオン株式会社
- 公務員・教員・特殊法人
神奈川県教育委員会
国土交通省関東地方整備局
東京都特別区
農林水産省
藤沢市役所
- その他
日本貨物航空株式会社
- 主な進学先(大学院)
大阪大学大学院
京都大学大学院
慶應義塾大学大学院
総合研究大学院大学
東京工業大学大学院
東京大学大学院
横浜市立大学大学院
- 金融・保険業
三井住友銀行グループ
- 建設・不動産業
株式会社長谷工コーポレーション
- 広告・コンサルティング・専門サービス業
株式会社大和総研
- 商社・卸売・小売業
株式会社東急ストア
三菱商事パッケージング株式会社
- 情報通信業・マスコミ
株式会社NTTドコモ
Sky株式会社
JFEシステムズ株式会社
株式会社トヨタシステムズ
株式会社プリマジェスト

進路内訳



全体の約7割の学生が進学

SCHOOL OF
DATA SCIENCE

データサイエンス学部

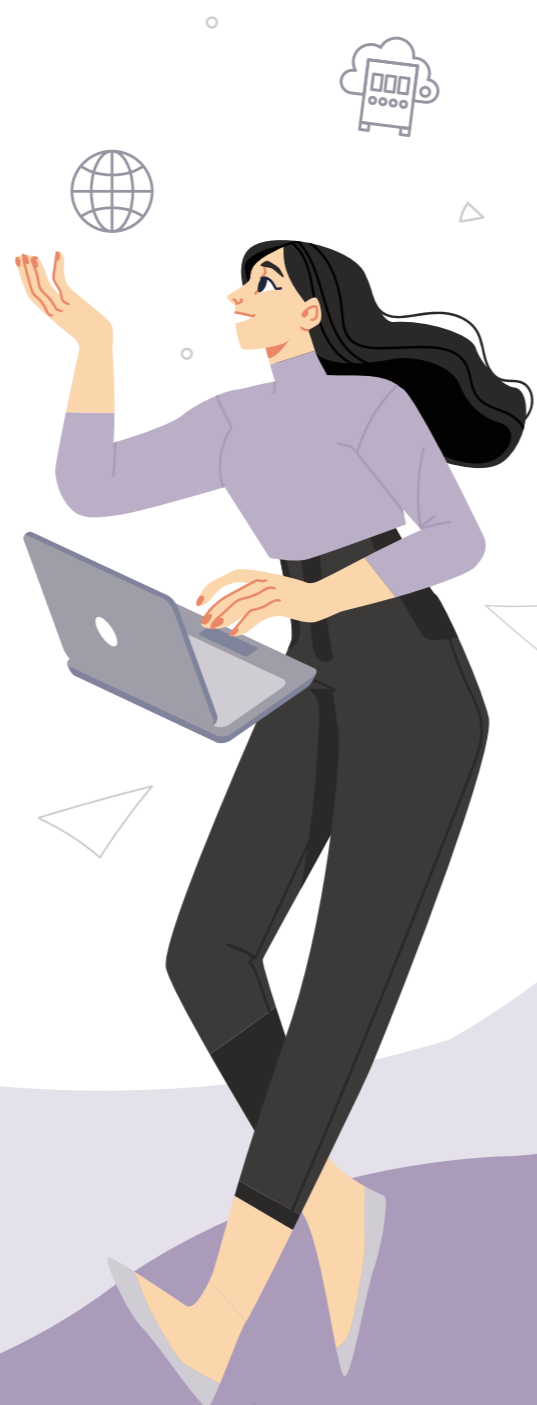
データサイエンス学科

学位: 学士(データサイエンス)

今社会はIoT (Internet of Things) の活用によりすべてのモノがつながり、「第4次産業革命」を迎えつつあり、医療関連のデータからSNSの何気ないつぶやきまで、日々膨大なデータが生まれ蓄積されています。データサイエンス学部が育成するのは、そんな膨大なデータの中から新たな社会的な価値を創造できる人材。データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション能力や、イノベーションを起こす発想力、そして次世代に通用するビジネス力を学んでいきます。

こんな学びを志向する人に

- 統計学とコンピュータを武器に問題解決に立ち向かいたい
- コミュニケーションを大切にしながら人や社会に貢献したい
- ビッグデータを駆使して社会の課題を発掘し、解決したい
- データの力をベースに、発想力で勝負する経営者になりたい
- 自らの興味のある分野をデータの立場からじっくり見つけたい
- さまざまなバックグラウンドを持つ人たちと積極的に交流したい

詳しくは
WEBで

データサイエンス学部の特色

社会はIoT (Internet of Things) の活用によりすべてのモノがネットにつながる、「第4次産業革命」を迎えつつあります。医療関連のデータからSNSの何気ないつぶやきまで、日々膨大なデータが生まれ蓄積される社会において、データサイエンス学部が育成するのは、そんな膨大なデータの中から新たな社会的な価値を創造できる人材です。データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション能力や、イノベーションを起こす発想力、そして次世代に通用するビジネス力を養い、データサイエンティストに必要な素養を身に付けた人材を輩出する事が、本学部の目的です。そのために、文系・理系という枠にとらわれない柔軟な思考と発想を大切に、データが生まれる企業や官公庁といった「現場」での実践的な学びの機会を多く提供します。また、世界をフィールドに活躍するデータサイエンティストに必要な国際水準の英語力の修得にも力を入れます。

特色
1

『文理融合』

数値や数式を扱うのが理系、文字や文章を扱うのが文系、と思いませんか?現代の社会におけるデータは数値だけとは限りません。ネットやSNS上での文字情報、音声や画像、動画等のすべてがデジタル化されたデータなのです。まさに文理融合の世界と言えるでしょう。とはいえ、データサイエンスの基礎をなす学問分野は統計学や情報科学で、理系的な要素が多い事は確かです。しかし、それらを応用する社会は、自然現象の解明や工業製品の生産あるいは医学をはじめとした健康科学という理系分野だけでなく、経済・経営やマーケティングさらには文学といった文系分野と多岐に渡ります。文理を分離するのではなく融合する。これがデータサイエンスの魅力です。

特色
2

『現場重視』

現場重視といっても、決して基礎理論を軽視するという意味ではありません。しっかりした基礎・土台を作らないとその上には何物をも構築できないのは理の当然でしょう。データサイエンスは変化のスピードがものすごく速い分野です。目の前の流行のみを追っていたのでは、いつまでたっても追いつき追いつく事はできません。まずは基礎を固め、その基礎力がどんな現場であれ、必ず生きるのです。基礎的な力を養った上で、いくつかの企業や横浜市の各部署と連携し、データが実際に生まれる現場でPBL (Project-Based Learning、課題解決型学習) を行い、実践的に学びます。共にデータと格闘し、教員には思いもよらない解決法を見出してくれる若さに期待しています。

特色
3

『国際水準の英語力』

自分の考えやアイデアを他の人に伝える手段は、言葉で伝えるか文章を書くかです。どんなに素晴らしいアイデアであっても内に秘めて外に出さないのでは、アイデアがないのと区別が付きません。外に出す以前に、人の意見を聞いたり文章を読んだりする事で自分自身のアイデアを醸成するという段階があり、これらに必要なのは言語です。データサイエンスのフィールドは「世界」です。フィールドが世界であるならば、その言語は英語が中心で、学会や国際会議あるいはビジネスの場では英語が共通言語です。専門的な討論はもちろん、会議後の懇親会やプライベートな場でも英語が飛び交います。データサイエンティストの活躍の場となる世界で通用する英語力をしっかり鍛えていきます。

Message from the Dean

首都圏初のデータサイエンス学部。
データを武器に未来を切り拓く
データサイエンティストを育成。

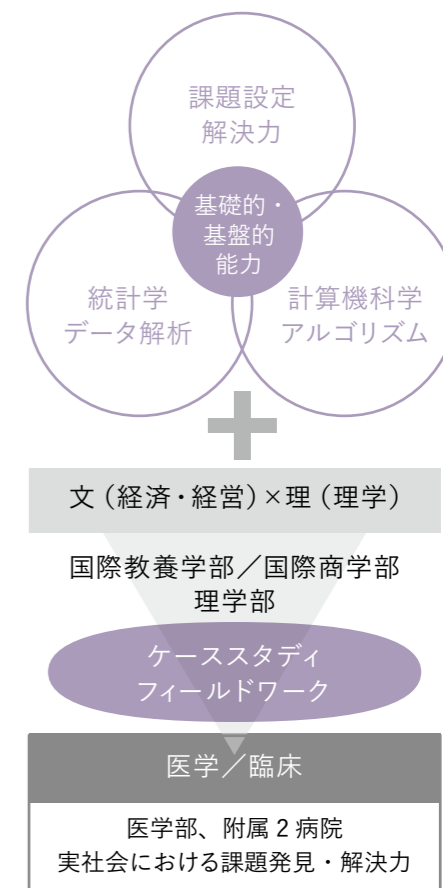
データサイエンス学部長

山崎 真見 Masami Yamasaki

2018年4月に首都圏初のデータサイエンス学部が始動しました。2022年3月には無事に第1期生が卒業し、約6割が就職し社会へ羽ばたいていき、約4割がさらに研鑽を積むべく大学院へ進学しました。データサイエンスに対する社会の期待は大きく、マスメディアで目にする事も多くなりました。文部科学省は、全ての大学においてデータサイエンスのリテラシーレベルの向上をはかるために「数理・データサイエンス・AI」教育プログラム認定制度を創設するなど、社会の期待へ応える大学教育改革を進めています。日本が目指すべき未来社会の姿としてSociety 5.0が提唱されています。これはサイバー空間とフィジカル



ル(現実)空間を高度に融合させたシステムを構築し、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会です。さらに、デジタル技術とデータの活用によって社会・産業・生活のあり方を根本から転換するデジタルトランスフォーメーション(DX)も求められています。Society 5.0もDXも、その成功の鍵がデータサイエンス分野における人材育成です。本学部はこのような社会の動きに先鞭をつけた学部として、データサイエンスの教育と研究及び社会実装に精力的に取り組んでいます。データサイエンスは新しい学問分野です。若い皆さんと共に学び実践し、共にこの分野を作っていく事を楽しみにしています。



4年間の学びのイメージ

学部の特長	1年次	2年次		3年次		4年次	
		前	後	前	後	前	後
DSの基盤	文理融合の マインドを学ぶ 国際通用力・ 英語を学ぶ	国際社会で 活躍するための 実践的な 英語や教養 を学ぶ	社会で広く用 いられるDS を網羅的に 知る	文系+理系のさまざまな科目を履修し、 DS人材となる基礎知識を身に付ける			
DSの専門	現場対応力を 身に付ける	数学とコンピュータの基礎を学ぶ	統計・計算機科学の基礎を学ぶ		DSをどのように社会に応用するか学ぶ		卒業研究
共通	教養ゼミ		全学開放科目		共通教養科目		卒業研究
	Practical English		Advanced Practical English				

基礎から応用、実践的PBLへ

1年次前期から「線形代数学」や「微積分学」等を学び基礎を固めながら、「PBL入門」の中で実施しているデータサイエンスセミナーを通してデータサイエンスが社会において果たす役割を学びます。後期からは「プログラミング演習I」でPython言語を学びデータを計算機で処理する基本技術を修得します。また、「統計学I」を学び、データサイエンスの基礎をなす統計学の基礎知識を身に付けます。2年次以降は、「プログラミング演習II」や「データ可視化法」、「統計モデリングI」、「サンプリング法」、「多変量データ解析」等のデータサイエンスの基礎科目を学びつつ、「マーケティングデータ分析」や「医療統計学」といった、修得したデータサイエンスに係る知識や技能を社会展開に応用していく事にシフトしていきます。3年次以降の演習では、企業や官公庁と連携したPBLを通じて実践的に学ぶと共に、それらの成果を卒業研究としてまとめていきます。

データサイエンス学部専門科目一覧

データ数理基礎	データアナリティクス力	データエンジニアリング力	社会展開力
代数学 微積分学I 微積分学II 数学の基礎 数学実習I 数学実習II 最適化理論 確率入門 組合せ論 統計学I 統計学II 線形代数学I 線形代数学II	データ可視化法 多変量データ解析 応用統計学I 応用統計学II 機械学習 統計モデリングI 統計モデリングII 計算機統計学 音声言語処理	アルゴリズム論 データ解析演習 プログラミング演習I プログラミング演習II 並列分散処理 実験計画入門 情報理論 計算機数論 計算機概論 非構造化データ	PBL 入門 PBL 演習 (ビジネス・サイエンス) PBL 演習 (非構造化データ) サンプリング法 データサイエンス倫理 ビッグデータ解析 マーケティングデータ分析I マーケティングデータ分析II 医療統計学 時空間データ解析入門 環境データ解析論 臨床研究・疫学入門 調査設計論

SDGsへの取り組み



気候変動や都市化の進行に伴う環境問題とSDGsをテーマとする国際環境・まちづくりワークショップ

2022年3月18日に気候変動や都市化に伴う環境問題とSDGsをテーマとした国際環境・まちづくりワークショップをオンラインで開催しました。本ワークショップでは、アジアの研究者や自治体の有識者が集まり、横浜、フィリピン、マレーシア、台湾における気候変動や環境問題の現状とその対策について主に議論しました。何より新型コロナウイルス感染拡大に伴い変容した我々の価値観や生活様式、そして都市自体のあり方が問われる時代になっており、新たな都市像を考える絶好の機会となりました。さらに、気候変動や環境問題、そして都市計画や都市デザインにおけるデータの活用性の重要性を考えると意義がありました。この活動を通じて、気候変動のような世界的な課題を議論すると共に、新しい時代に向けた私たちの都市と環境、そして生活のあり方を考えることで、今後の研究情報交換の促進と共同研究につながる良い機会となりました。



Pick up 授業

PBL演習 (非構造化データ)

佐藤 彰洋

データ解析演習IIは統計処理ソフトRを用い、テーマに沿って課題中心型の学修スタイルでより実践に近いデータ解析の方法(データの収集、データの分析と可視化、解釈)を学修します。自ら収集したデータによるデータ解析レポートを作成する過程を通じ、以下3つを学修到達目標と設定して、実践的なデータ解析の理解を深めていきます。①統計解析環境Rを用いて、基本的なデータ解析ができるようになる。②Rにおいて簡単なプログラミングができるようになる。③データの収集とRによる分析を通じたレポート作成ができるようになる。本講義では、マクロ社会経済指標を用いた回帰問題、データに基づくリスク推計、多群の比較、生存分析の4つのテーマを取り扱っています。



調査設計論

土屋 隆裕

世の中ではさまざまな統計調査が行われています。例えば内閣支持率などを調べるマスコミの世論調査、施策の根拠とするために国や自治体が行う統計調査、さらには学力を調べるための学力調査も統計調査と言えるでしょう。物の長さや重さの測定とは違って、人を対象に行う統計調査では、得られるデータの質は調査の実施方法によって大きく異なります。Garbage In, Garbage Outと言われるように、大きな誤差を含んだ質の低いデータでは、いくら高度な統計分析手法を駆使しても有益な結果は得られません。本講義では、調査票の作成における注意点から調査実施の具体的な手順、さらにデータ整理のための手法や調査倫理に至るまで、統計調査の設計・実施の各段階における方法を具体的な事例に基づきながら学ぶ事で、信頼性・妥当性の高いデータ取得のための調査設計の考え方を身に付けていきます。



データサイエンス学部の社会連携

データサイエンス学部では、企業や官公庁と連携した教育・研究を展開しています。2018年度より、「データサイエンスセミナー」と題して、企業や官公庁等の現場の第一線で活躍するゲスト講師を迎え、実社会でのさまざまなデータ活用事例に触れるセミナーを開催しています。企業におけるマーケティングやビジネス戦略、ものづくりの品質管理等に、どのようにデータが分析され、活用されているのか、また、官公庁においてはデータの利活用による政策立案やオープンデータ活用推進の取り組み等を生の声から学ぶ事で、データサイエンス学部の学生が、自分の学びが将来どのような分野で活用できるかを考える機会となっています。また、企業との産学連携協定を締結し、データが分析・活用される現場でのインターンシップ (PBL) や共同研究等を推進し、社会との連携を今後ますます進めていきます。



主な科目紹介

統計学I

「記述統計学」、「確率」、「確率分布」について学修します。具体的には、統計データやグラフの意味を理解に加え、独自にデータを要約できるようにデータの取得法、および数値的・グラフ的要約法を学びます。また、母集団、標本、確率、確率変数、確率分布の性質を熟知し、積率母関数等の方法による確率分布の性質に関する考察ができるよう学修し、理解を深めます。

アルゴリズム論

コンピュータでデータを扱う上で基本となるアルゴリズムとデータ構造について学びます。具体的には、計算量の考え方等の基本概念を学んだ上で、ソートや探索等データを扱う上で必要となるアルゴリズムとそれを支えるデータ構造について、演習を交えながら体得します。これらを通じて、処理効率を意識した「良い」プログラムを作成するための基本的な素養を身に付けることを目指します。

サンプリング法

世の中にあふれるさまざまな統計調査は、対象すべてを調べる事なく、その一部だけを統計的な方法を用いて選び出す事で、効率的に実施されています。本講義では、サンプリングと推定の理論と方法について、応用例を交えながら具体的・体系的に学ぶ事で、データサイエンスの基盤となる適切なデータ取得の方法、データの取り扱い方法について学びます。

ビッグデータ解析

現代社会ではインターネットにより個人が大量の情報を発信でき、IoT技術でさまざまなモノから大量のデータ取得が可能となりました。これらデータと企業・行政機関の保有データを総称してビッグデータと呼びます。従来の経験に基づく意思決定は、ビッグデータに基づく方法への転換が期待されている事から、本講義では大量・多様・高頻度というビッグデータの特性に対応した解析技術を学びます。

教員一覧

詳しくは
WEBで



上田 雅夫 Masao UEDA 教授 行動計量	大西 暁生 Akio ONISHI 教授 環境影響評価・環境政策	岡村 寛 Hiroshi OKAMURA 教授 統計科学	北園 淳 Jun KITAZONO 准教授 情報科学
越仲 孝文 Takafumi KOSHINAKA 教授 知覚情報処理・知能情報学	小屋 良祐 Yoshihiro KOYA 教授 線形代数学	佐藤 彰洋 Aki-Hiro SATO 教授 計算科学	鈴木 雅智 Masatomo SUZUKI 准教授 統計科学
竹内 由則 Yoshinori TAKEUCHI 准教授 統計科学	土屋 隆裕 Takahiro TSUCHIYA 教授 統計科学	戸田 浩之 Hiroyuki TODA 教授 知能情報学	富田 誠 Makoto TOMITA 教授 環境リスク制御・評価
藤田 慎也 Shinya FUJITA 准教授 情報学基礎理論	森山 卓 Taku MORIYAMA 准教授 統計科学	山崎 真見 Masami YAMASAKI 教授 知能情報学	

(2024年4月時点)



大学院紹介

データサイエンス研究科 Graduate School of Data Science

データサイエンス専攻

学問領域としてのデータサイエンスは、統計科学や情報科学、計算科学に基盤を置き、自然科学、人文・社会科学のさまざまな関連学問領域を対象とする文理融合の性質を持っています。データサイエンス専攻では、現実社会との対話から課題を発見し、データを収集・解析し、その結果を社会に還元・実装する一連のプロセスを学ぶ「実践的データサイエンス演習」等を必修科目として配置する事で、新たな価値を創造する能力の涵養を目指します。

そして、データ解析の理論や手法に関わる「データアナリティクス力」や、データを意味ある形に変換し、活用できるようにする「データエンジニア力」とともに、課題背景を理解し、分析から社会実装までの一連の流れを可能にする「社会展開力」までも含めた三つの力、すなわち「データサイエンス力」を身に付けた人材を育成します。



ヘルスデータサイエンス専攻

わが国においては、超高齢社会における社会保障制度のあり方、がん・循環器疾患などの非感染性疾患の予防と管理、健康格差の是正、健康を支える社会環境の整備などの課題が山積しており、これらの課題に取り組むヘルスデータサイエンスの専門人材を養成する事が求められています。

ヘルスデータサイエンス専攻では、急速にデータが集積されつつあるヘルス領域（疾病予防、医療、介護、保健）において、データサイエンスの知見をいち早く社会応用し、新たな価値を実社会に還元する人材を育成します。

修了後の主な就職先●アフラック生命保険、イオンマーケティング、インサイトテクノロジー、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、富士通、読売巨人軍 等

詳しくは
WEBで



学生の声

詳しくは
ヨコ知り!



社会でニーズが高まる分野を学び、仲間と切磋琢磨できる環境。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 3年
神奈川県立小田原高等学校卒

濱口 巧磨 Takuma Hamaguchi

YCUは熱心な先生方のもと、少人数でデータサイエンスについて深く学べる環境が整っています。好きな講義は「統計の数理」で、統計学全体やデータの有効性を知る事ができました。3年次からはより実践的な内容に移行します。また、YCUではデータサイエンスの専門教育以外に、経済学や経営学など他分野の知識も学べるため、そこで得た知識を活かして多角的にデータをとらえる力が養えます。実はサークルもデータサイエンス研究に関する団体に入っていて、学びを深掘り中です。現在、データサイエンスは社会的なニーズが高まっている分野だと思います。そのニーズに応えられる人材になるため、これからも幅広く学びに取り組んでいきたいです。



社会をもっと良い方向へ導く世の中の事象を可視化する学問。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 2年
埼玉県 私立昌平高等学校卒

會田 光 Hikari Aida

YCUのデータサイエンス学部に進学した理由は、経済や社会に関心があり、統計学やプログラミングを通じてその分野の理解を深めたかったからです。自分の興味のある講義を中心に受講できる事や、先輩から直接プログラミング言語を学べる点が魅力です。講義で特に好きなのは「応用統計学I」と「計量経済学モデリングB」。これらは難しい事象を端的に図式化して理解する学問で、この図式化のノウハウは他の機会でも大変役に立ちます。YCUで身に付けたプログラミングやデータ可視化のスキルを生かし、将来は、顧客のニーズを理解することで、人々のQOL（生活の質）を向上させるサービスを提供する仕事がしたいです。

卒業後の主な進路

卒業生就職実績 (2023年3月卒業)

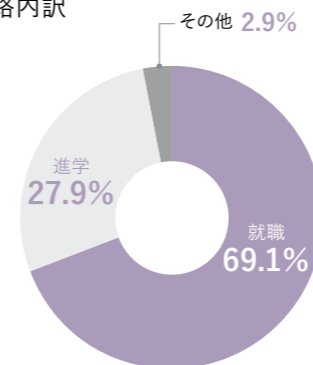
進路	就職希望者数	就職	進学	その他
人数	47	47	19	2
就職率	100%			

※就職率：就職者÷就職希望者数
※その他：留学、資格取得等

進路先

- 製造業
ライオン株式会社
- 金融・保険業
株式会社千葉銀行
株式会社横浜銀行
- 広告・コンサルティング・専門サービス業
アデコ株式会社
株式会社インテジヘルスケア
シミック株式会社
株式会社マイナビ
- 公務員・教員・特殊法人
愛知県庁
- 商社・卸売・小売業
キャノンマーケティングジャパン株式会社
- 情報通信業・マスコミ
ANAシステムズ株式会社
株式会社エクサ
SCSK株式会社
株式会社JALインフォテック
TIS株式会社
東京海上日動システムズ株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
株式会社日立システムズ
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
三菱UFJトラストシステム株式会社
- その他
株式会社カブコン
全日本空輸株式会社
福岡ソフトバンクホークス株式会社
株式会社リクルート
- 主な進学先(大学院)
順天堂大学大学院
東京医科大学大学院
University of Texas at Dallas
横浜国立大学大学院
早稲田大学大学院

進路内訳



SCHOOL OF MEDICINE

使命

横浜市立大学医学部は、地域社会や国内外で活躍できる、医学・看護を担う人材育成と、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する事を使命とする。

医学部が求める学生像

- ・高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- ・思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- ・柔軟性と協調性、高いコミュニケーション能力を有する人
- ・向学心を有する人
- ・自ら問題を発見し、解決するための学修意欲を有する人
- ・医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- ・医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人
- ・医療実践者として社会に貢献する意欲のある人

医学部 医学科

MEDICAL COURSE

学位:学士(医学)

私たちが目標とするのは、豊かな人間性と深い知性を有し、確固たる倫理観に基づく総合的判断力を持ち、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して人類の福祉に貢献する人材の育成です。

医学科の特長

- ・シミュレーターの活用等による医療体験教育の充実
- ・地域における福祉、保健、医療施設での実習の充実
- ・基礎、臨床教室での体験型学修としての教室体験演習や研究実習(リサーチ・クラークシップ)の実施
- ・学生参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)の推進
- ・学生、教職員の積極的な学修意欲に応える講演会、FD等の実施
- ・グローバルスタンダードに準拠した医学教育カリキュラムの制定
- ・グローバルな医師・研究者の育成を目的とした海外派遣プログラムの拡充

詳しくは
WEBで



医学部 看護学科

NURSING COURSE

学位:学士(看護学)

高い教養と専門性だけでなく、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持ち、未来の看護をけん引できるリーダーの育成に取り組んでいます。

看護学科の特長

- ・アクティブラーニングによるリーダー人材の育成
- ・附属2病院を有する充実した実習環境
- ・グローバルなフィールドで展開される看護実践教育
- ・エビデンスに裏打ちされた実践力を養うカリキュラム
- ・多様なキャリアを実現する豊富な教育リソース
- ・クラス担任制をはじめとするきめ細やかな指導体制

詳しくは
WEBで





■ 医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に主に金沢八景キャンパスで受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の福浦キャンパスでの「医学科専門教育科目」から成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省が提言する学修ガイドライン）および世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づいたカリキュラムを踏まえて学修します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習等を履修し、全国共通の標準評価試験である「共用試験」を受験

します。この試験は医学知識の学修レベルを評価するCBTと診療技能や態度を評価するOSCEから成ります。両方に合格しないと臨床実習に進む事ができません。附属病院か附属市民総合医療センターでの臨床実習を修了し、臨床研修開始時に必要とされる臨床能力を現場に即して実施できるかを評価する共用試験Post-CC OSCEおよび、卒業試験に合格すると卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、各学生に担任が配置され、全人的にサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を収めています。

医学科カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	卒業後1~2年目	卒業後3年目以降
共通教養	共通教養							
医学基礎教育	医学基礎教育							
基礎医学		基礎医学			基礎医学			
基礎医学実習		基礎医学実習						
医学概論		医学概論	医学概論					
社会医学			社会医学	社会医学		社会医学		
臨床医学			臨床医学	臨床医学	臨床医学	臨床医学		
研究実習 (リサーチ・クラークシップ)				研究実習				
診療入門				診療入門				
臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)					臨床実習			
				共用試験 (CBT・OSCE)		共用試験 (Post-CC OSCE) マッチング 卒業試験 国家試験	初期臨床研修	後期臨床研修 (専門医養成) 大学院 (博士課程) 行政技官 留学 等

Pick up Curriculum

医学基礎教育

1年次

教養ゼミ、Practical English、化学・生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、医師や医学研究者としてのキャリア形成の第一歩として、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。



基礎医学

2年次~5年次

正常な人体の構造と機能、さまざまな疾患の原因とその病態、また薬物の作用等について、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで幅広い視点から学修します。講義・演習・実習を通して、知識や論理的な考え方や研究手法を学びます。



医学概論

2年次~3年次

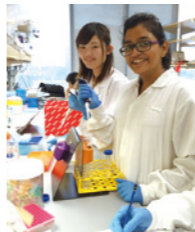
医師にはさまざまなスタッフと連携し、患者さんと信頼関係を築く事が求められます。医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズム、患者さんと医師の関係のためのコミュニケーション技法について医療倫理学や医療コミュニケーション論等の科目を通して学びます。



研究実習 (リサーチ・クラークシップ)

4年次

基礎又は臨床医学教室に15週間配属され、医学研究を行います。医療人として知識と技術を駆使するには科学的な視点が必要で、この科目では研究手法修得のみならず、それらをもとに未解明の医学的課題に取り組むリサーチマインドを身に付ける事を目的とします。



診療入門

4年次

診療に関する基本知識、技能、態度について学びます。また医療面接法や身体診察法等の診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの実践的な学修内容(技能や態度)は、共用試験(OSCE)により評価されます。



臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)

4年次~6年次

4年次までの全科目に合格するとスチューデントドクターとして診療参加型の病院実習を行う事ができます。医療チームの一員として診療に参加し、指導医のもとさまざまな職種とのスタッフと連携して on the job trainingを行います。



■ 卒業時に修得している能力

横浜市立大学医学部医学科生は、卒業時まで以下の能力を獲得し、地域社会や国内外で活躍し、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する人材として羽ばたきます。

- 1 プロフェッショナルリズム
- 2 医学知識 (修得した医学関連知識を実践に応用できる)
- 3 医療の実践 (診断・治療の基本技能および科学的根拠に基づく治療計画が立てられる)
- 4 対人関係とコミュニケーション技能
- 5 医療と社会 (医療等に関する制度・規則を理解し、業務を通じて社会に貢献できる)
- 6 生涯学習 (知識を探究し、情報を科学的に評価できる。新しい情報を生み出すための研究計画立案ができる)
- 7 医学の進歩への貢献に向けた準備 (医学の分野での課題解決に向けた貢献)

Message from the Dean



プロフェッショナルへの第一歩

医学部長 中島 淳 Atsushi Nakajima ■肝臓腸消化器病学

医療を取り巻く環境は、これまで言われていた加速する少子高齢化への対応に加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延への対応など、大きく変化しています。横浜市立大学医学部は附属2病院を有し、医学科・看護学科共に実践的な教育を受けられる非常に恵まれた環境にあります。本学は横浜市・神奈川県地域医療を支える優秀な人材を育成する責任がある一方、社会のグローバル化に対応し、世界に向けて情報発信できる人材を育成する方針を掲げ

ています。特に本学が重要としているのは「研究」です。「研究の横浜市立大学」として今後世の中を大きく変える成果が医学研究で期待されています。皆さんは、このような時代の要請に応えられる医療・医学のプロフェッショナルを目指し、大学生活を始めることになります。プロフェッショナルとは卓越した専門知識と技量を有し、使命感と倫理観に裏打ちされた仕事を行う人を意味しますが、医療者としては、それに加えて、“人を思いやる心”を持ちあわせること、つまり人間性を磨くことが非常に重要です。プロフェッショナルへの道は険しく厳しい道ですが、皆さんなら本学の基本方針である“地域貢献”と“国際化”さらには医学研究を通して世の中を変えることができるプロフェッショナルになれることを確信しています。横浜市立大学医学部は、皆さんを大切に、人と人のつながり・温かみのある教育を実践します。

探求心(リサーチマインド)を持った医療人へ

医学部および二つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図る事により、リサーチマインド(探求心)を持った優れた臨床医・医学研究者を育成する事を目的としています。その中心となる「医学教育センター」では、「教育」「研究」「医療」をリードする人材を育成する事を使命とし、国際都市横浜ならではの国際標準を踏まえた質の高い医学・臨床教育に取り組んでいます。

医学科の特長 リサーチ・クラークシップ

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ(研究実習)が始まり、15週間の医学研究に参加します。リサーチ・クラークシップの目的は、各教室の研究活動に一定期間主体的に関わる事で、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組む事」「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らない事」といった物事の本質に迫ろうという姿勢「リサーチマインド」を養成する事です。科学的根拠、発想に基づいた新しい診断、新しい生命現象や病態解明、疾患の診断・治療を開発していく医師・医学研究者のリーダーを養成するためには学生のうちから、リサーチマインドを養成する事が重要であると考えています。

リサーチ・クラークシップ配属先	海外	配属先		配属先		
		人数	人数	人数	人数	
リサーチ・クラークシップ配属先	海外	ウェイン州立大学(アメリカ)	3	国内	横浜市立大学基礎医学系教室	24
		スタンフォード大学(アメリカ)	1		横浜市立大学臨床医学系教室	47
		テンブル大学(アメリカ)	1		横浜市立大学理学部研究室	3
		シンシナティ小児病院(アメリカ)	1		東京大学	3
		コーネル大学(アメリカ)	1		東京工業大学	2
シンガポール国立大学	1	理化学研究所	4			
					神奈川県立こども医療センター	1

2023年度実績

リサーチ・クラークシップ 参加学生の声

ビジネスにも直結する最先端のラボで実験というものの本質を学んだ。

医学部 医学科 5年
松本 舜平 Shunpei Matsumoto
神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒

■ 研究実習先:スタンフォード大学
期間:2023年4月~6月(2カ月)

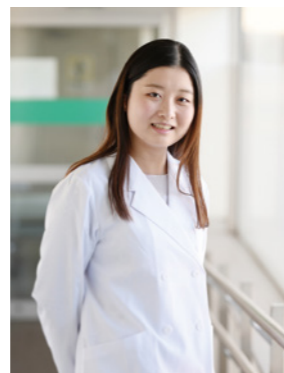


造血幹細胞とは、血液を作る細胞で、高い再生能力があることから再生医療に用いられています。この分野を学びたくてYCUに入学したので、この機会にスタンフォード大学の最先端のラボで研究に取り組めたのは貴重な経験でした。実験の成功率は非常に低いものですが、その失敗を細かく分析し、原因を探ることの大切さを実感しました。また、多くの研究者の方と交流を持ち、研究とビジネスの関係性なども学びました。将来はここでの経験を活かし、内科医として臨床を行いながら、研究も行っていきたいと考えています。

国際色豊かなメンバーと研究し仮説、実験、考察のプロセスを実践。

医学部 医学科 5年
尾澤 華 Hana Ozawa
千葉県 私立渋谷教育学園幕張高等学校卒

■ 研究実習先:シンガポール国立大学
期間:2023年4月~7月(4カ月)



赤血球の分化に関する研究を行ってきました。当初は細胞の扱いに苦労しましたが、ラボの先生や指導担当者の手厚いサポートにより、仮説を立て、実験を行い、考察をするという研究のひと通りのプロセスを実践。発表の機会もいただきました。ラボには世界中から研究者が集まっています。多国籍のメンバーと交流できたのも貴重な体験でした。現地では一人暮らしも体験しました。トラブルが発生したときはすべて自分で対処する必要があり、この経験は自信につながりました。近い将来、また海外に留学したいと思っています。

医学科領域

基礎医学系 [基礎系教室名]						
組織学	生理学	薬理学	免疫学	臓器再生医学	臨床統計学	医療情報学
神経解剖学	生化学	RI研究センター	病態病理学	実験動物医学	法医学	臨床疫学・臨床薬理学
循環制御医学	分子生物学	微生物学	分子病理学	遺伝学	医学教育学	公衆衛生学
臨床医学系 [臨床系教室名]						
血液・免疫・感染症内科学	肝胆膵消化器病学	消化器・腫瘍外科学	小児科学	放射線診断学	皮膚科学	
呼吸器病学	内分泌・糖尿病内科学	麻酔科学	泌尿器科学	精神医学	口腔外科学	
循環器内科学	神経内科学・脳卒中医学	救急医学	運動器病態学	眼科学	総合診療医学	
循環器・腎臓・高血圧内科学	がん総合医科学	脳神経外科学	形成外科学	視覚再生外科学	リハビリテーション科学	
消化器内科学	外科治療学	産婦人科学	放射線治療学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学		

医学生の日

医師になるための学びは深く広範に渡るため、大学にいる時間が長い医学生。座学のほか附属病院での臨床実習や併設するシミュレーションセンターでのトレーニングも充実しています。少人数制なので学生同士は和気あいあい、教員とも距離が近く、相談しやすい雰囲気です。そんな環境で部活やオフタイムも楽しみ、学生らしい生活を送る医学生の日を紹介します。



医学部 医学科 3年 吉良 明海里 Akari Kira 群馬県 私立ぐんま国際アカデミー-高等部卒

医学生の日1日のスケジュール

(※学年、学期によって時間割は異なります)



8:00 トレーニングコーナー

授業前にトレーニングする事も。医学部体育館2階にはマシンがあります。「部活は競技コートで、筋力が必要なので日々鍛えています」。金沢八景キャンパスにも同様の設備があります。



12:00 昼食・休憩

医学部のある福浦キャンパスの食堂はカフェテリア方式。定食を頼んだり、お弁当持参で味噌汁のみ頼む場合も。ゆったり座れるソファ風の椅子もあり、食後もくつろげます。



9:00 講義(ヘボンホール)

医学科講義棟1階にあるヘボンホールは、横浜近代医療の歴史を作ったヘボン博士の名を掲げた多目的ホール。医学部の対面授業を行うほか、講演会や演奏会も開催されます。



15:00 解剖実習

2年次必修の解剖学は実習室を使い前期いっぱい学びます。ご遺体を前に人間の体の構造をつぶさに観察、構造や働きについて学びます。この実習によって医師としての技術の基礎とマインドを築きます。



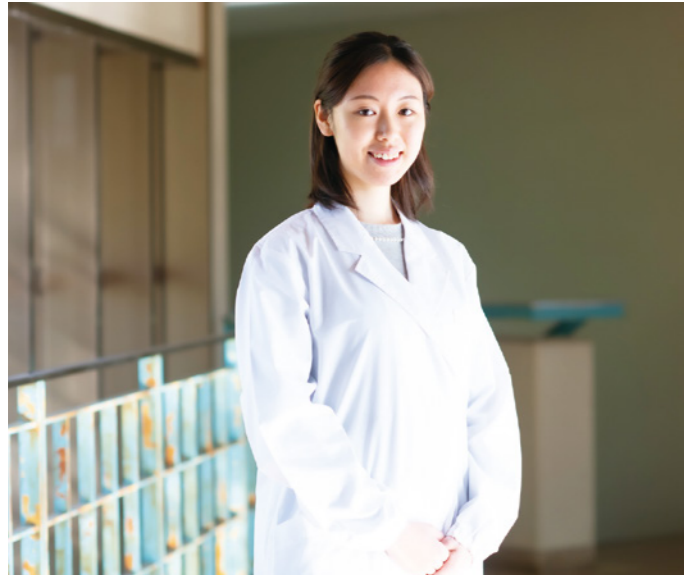
新入生研修

新入生のモチベーション向上、ならびにモラル・マナー教育の一環として実施しています。主な内容は、教員、卒業生等の講話の他、グループワーク等で構成されています。グループワークでは、与えられたテーマに沿って議論を進め、最後に各グループで発表を行います。



白衣授与式

白衣授与式は、臨床実習を前に、医師を目指す者としての自覚を促すため、学生の氏名と市大のエンブレムが入った白衣を一人ひとりに手渡すものです。学生全員によるジュネーブ宣言がなされる式典は、座学教育から臨床実習へ移行する大きな節目となっています。



英語力に磨きをかけ、
国際的視野に立った医学を身に付ける。

医学部 医学科 4年
東京都 私立豊島岡女子学園高等学校卒
門脇 聖那 Seina Kadowaki

YCUに進学した理由は、附属病院に付き添いなどで通院してなじみがあつた事と、高校時代に訪れた医学部のオープンキャンパスで、学生がのびのびと大学生活を満喫しながらも、熱意をもって学んでいる事に感銘を受けたからです。入学後、1年次では英語力向上を目指し、APE (Advanced Practical English) を履修し、英語論文を執筆。英語での講義も積極的に受けました。実際、実習で英語論文も読むのですが、それまで学んだことが非常に役に立ちました。YCUは医学だけでなく教養科目や国際的な講義など、視野を広げるための扉が常に開かれています。将来は、国際的な視野を持ち続けながらも、患者さん一人ひとりに寄り添える医師になる事が目標です。



充実した臨床の学びを求めて入学、
研究にもめり込み二刀流を目指す。

医学部 医学科 5年
神奈川県 私立栄光学園高等学校卒
五十嵐 凱文 Kaimon Igarashi

地域の診療所で行われた高校生向けの医師体験プログラムに参加したことがきっかけで、地域医療について興味を持ちました。患者さんとしてコミュニケーションをとりながら良い関係を築き、医療につなげていけるような臨床医になりたいと、YCUの医学部に入学しました。2年次で基礎医学、3・4年次ですべての臨床科による臨床医学の講義を受けるのですが、2年次で受けた「分子生物学」の講義に夢中になり、3年次後期からは分子生物学教室で研究に参加しました。臨床と研究を同時に進めるのは忙しなのですが、それだけに充実した毎日を過ごしています。探究心と、仲間や先生方といった人たちの繋がりを大切にしながら、何事も全力で取り組んでいきたいです。



医師に必要な人間性を磨けて
英語学習や海外留学の機会も豊富。

医学部 医学科 2023年度卒業
東京都 国立東京学芸大学附属高等学校卒
保坂 樹季 Itsuki Hosaka

医学部ながら、英語学習や留学などグローバルな学びが充実しているのがYCUの魅力です。4年次で研究に携わりリサーチ・クラークシップ、5年次で臨床実習をするクリニカル・クラークシップの海外プログラムが用意されており、ほかにも短期海外研修のプログラムに参加できます。3年次には医学英語を学ぶので、英語論文を読む際や、海外研修などにも大いに役立ちます。また、学生たちの仲が良いのも少人数のYCUならではの、同期とは試験や実習で力を合わせ協力し合い、先輩からは卒業後のキャリアに関するアドバイスもいただけます。先生方も常に学生たちをきめ細かくサポートしてくれて、医師として必要な人間性までも磨くことができる環境です。

医学科国家試験対策 (2023年度実績)



- 6年次5月、9月、12月に実力試験を実施。
- 年に2回(7月、11月)の民間模試を全員受験。さらに2回(12月、1月)民間模試受験を奨励。一受験結果のフィードバック(模試結果を踏まえて面談と個別指導を実施)。

国家試験対策スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
医学		実力試験		模擬試験		実力試験		模擬試験	実力試験・模擬試験	模擬試験	国家試験
	6年次										
	個人面談(随時)										

卒業後の主な進路

医学科卒業生は、医師国家試験の合格後、2年間の初期臨床研修が必修化されています。医師が将来専門とする分野にかかわらず、基本的な診療能力を身に付ける事ができるよう、2004年度から臨床研修が必修化されました。初期臨床研修の後には、各診療科の専門研修(後期研修)に臨む他、大学院進学・医療分野への就職といった進路が一般的となります。

医学科 初期研修先 2024年3月卒業生

	研修先	人数	
		1年目	2年目(予定)
本学	横浜市立大学附属病院	7	12
	横浜市立大学附属市民総合医療センター	4	6
	横浜医療センター	2	2
横浜市内	横浜栄共済病院	2	1
	済生会横浜市南部病院	4	3
	横浜市立市民病院	8	8
	横浜市立みなと赤十字病院	2	1
	横浜南共済病院	3	2
	横浜労災病院	1	0
	けいゆう病院	1	1
	済生会横浜市東部病院	1	1
	横浜中央病院	1	1
	国際親善総合病院	2	2
	汐田総合病院	1	1
	横須賀共済病院	5	6
神奈川県内	藤沢市民病院	5	4
	関東労災病院	2	2
	茅ヶ崎市立病院	5	4
	平塚市民病院	1	1
	川崎協同病院	2	2
	川崎市立井田病院	1	1
	山近記念総合病院	1	1
	小田原市立病院	2	3
	大和市立病院	1	1
	横須賀市立うまち病院	2	2
	神奈川県立足柄上病院	3	2

	研修先	人数	
		1年目	2年目(予定)
東京都	河北総合病院	1	1
	東京蒲田医療センター	1	1
	東京山手メディカルセンター	1	1
	東京警察病院	2	2
	東京臨海病院	1	1
	東京都済生会中央病院	1	1
	慶應義塾大学病院	1	1
	大森赤十字病院	2	1
	東京労災病院	2	2
	三井記念病院	1	1
千葉県	国立国際医療研究センター 公立学校共済組合 関東中央病院	1	1
	亀田総合病院	1	1
愛知県	総合病院国保旭中央病院	1	1
	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	1	1
新潟県	名古屋徳洲会総合病院	1	1
	上越総合病院	1	1
静岡県	信楽園病院	1	1
	沼津市立病院	1	1
山形県	米沢市立病院	1	1
	奈良県立医科大学附属病院	1	1
愛媛県	済生会松山病院	1	1
	大分県立病院	1	1
合計		95	

大学院紹介

医学研究科
Graduate School of Medicine

医科学専攻

医科学は現在、基礎研究とその臨床応用、開発研究が最も盛んな科学分野のひとつです。YCUの医科学専攻が目指すところは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を併せ持ち、理論と実践の双方から学問を探究できる姿勢を持つ医療人材の育成です。さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続け、独創性と人間性の豊かな人材の輩出を目指しています。

修士課程

修士課程は、医学部医学科以外の学士課程修了者で、医学研究を希望する学生のための2年間のコースです。修了後は、博士課程に進学、あるいは企業や研究所における研究職としてのキャリアを歩みます。多様な生命現象の本質を解明する生命医科学研究から、難治性疾患の病態形成機構の解明まで、幅広く研究が行われています。

博士課程

博士課程は、医学、歯学、薬学あるいは獣医学等の学士課程を修了した学生、大学院修士課程または博士前期課程を修了した学生を対象とした課程です。修士、あるいは博士前期課程での研究のさらなる発展や、臨床現場で生じた疑問や発想をさらに深化させる研究を展開し、先端医科学をリードする研究者、教育者を育成します。



グローバルプログラムの紹介

ー 海外経験を通して、新しい時代に活躍できるグローバルな医療人へー

海外リサーチ・クラークシップ

4年次のカリキュラムの一環として、基礎・臨床研究に一定期間携わるプログラムです。学生は学内教室（基礎・臨床）、学外教室（理研・東大等）以外に海外の研究機関で研究実習を行う事ができます。海外に派遣される学生は、世界トップレベルの研究機関で行われる一流の研究に触れる事で、研究力や英語力の向上と共に、豊かな国際感覚を身に付ける事が期待されます。また、休学等を要さず約3か月間というまとまった期間を海外で過ごせる唯一の機会です。さまざまな国籍の研究者が、英語を介し共通の研究目的に向かって奮起するグローバルな環境で自身の力を試してみませんか。



派遣時期・期間	4月～7月中旬 / 3か月～3か月半
単位	研究実習（リサーチ・クラークシップ）
費用目安	約100万円(アジア)～170万円(アメリカ) (渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等) ※派遣先地域により異なります ※為替・物価の変動により異なります
対象年次	医学科4年生

海外クリニカル・クラークシップ

5年次のカリキュラムの一環として、海外の医療機関で診療の見学を行ったり、病棟チームの一員として実際に診療に参加するプログラムです。欧米やアジア等、個々の希望に応じたさまざまな環境において、医療システムや医学教育の違いを肌で感じる事ができます。派遣先によっては、日本では稀な症例や術式を経験する事ができます。在学中に海外でクリニカル・クラークシップを行い、さまざまな良い刺激を受ける事が、継続的な学修動機の維持に役立つ他、医師になってからの臨床留学を目指す等、将来の進路選択のきっかけになる事も少なくありません。



派遣時期・期間	3月～4月中旬、8月（プログラムによって異なる） / 2～4週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安	約30万円(アジア)～70万円(欧米) (渡航費、宿泊費、保険料等 ※地域による) ※為替・物価の変動により異なります
対象年次	医学科5年生

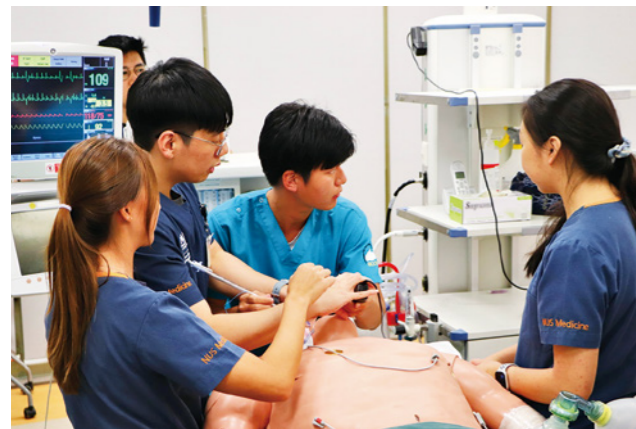
短期海外研修プログラム

それぞれ目的やレベルの異なる3種類の短期研修プログラムを準備しています。

シンガポール国立大学シミュレーションセンター Experiential Simulation Program

最先端の施設とシミュレーターを備えた環境で、スキルのみではなく、コミュニケーション能力、危機管理対応、プロフェッショナリズムについて学ぶ。

派遣時期・期間	7月、8月、10月 / 2週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安	約30～40万円程度（渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等）+参加費
対象年次	医学科4～6年生



各プログラムの募集内容や参加報告は、WEBで確認いただけます

派遣実績（年度）

～コロナ禍を超えて派遣再開！～

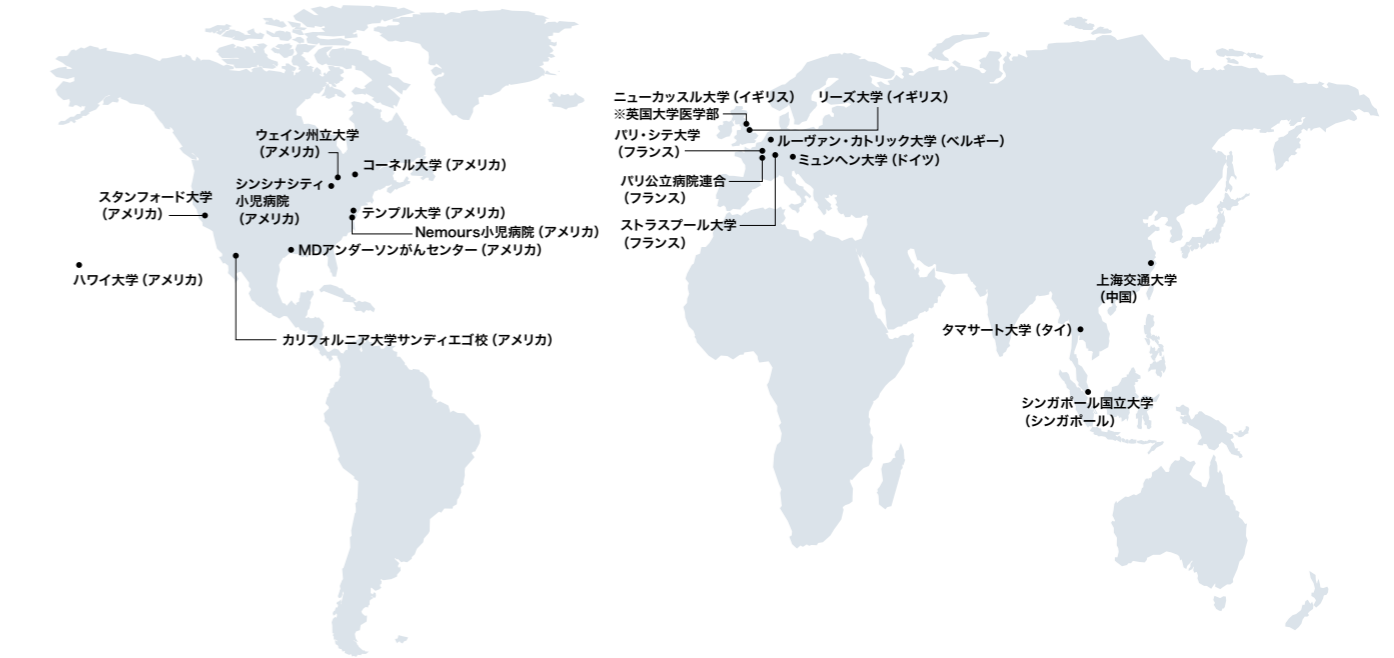
プログラム	派遣先	2022	2023
クリニカル・クラークシップ	ハワイ大学	※	—
	シンガポール国立大学シミュレーションセンター	2	4
	タマサート大学	—	3
	スタンフォード大学	2	2
	Nemours小児病院	2	1
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2	2
	パリ・シテ大学	2	—
	英国大学医学部	—	—
	MDアンダーソンがんセンター	※	※
	上海交通大学	—	2
	ストラスブール大学	2	2
	ルーヴァン・カトリック大学	※	1
	ミュンヘン大学	1	2
リサーチ・クラークシップ	シンガポール国立大学	※	1
	コーネル大学	※	1
	シンシナティ小児病院	1	1
	ウェイン州立大学	2	3
	スタンフォード大学	※	1
	テンブル大学	2	1

・上記※印は、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止。



医学科では海外派遣プログラムの拡充を図り、多くの学生が海外経験を積めるよう、さまざまな取り組みに力を入れています。世界でもトップクラスの研究所や医療機関において、研究や診療等、実践的な内容を含むプログラムに参加します。大学公式のプログラムでは、リサーチ・クラークシップ（研究実習）やクリニカル・クラークシップ（臨床実習）等カリキュラムの一環として参加できる事も大きな特長です。

海外派遣先



クリニカル・クラークシップ 参加学生の声

海外での先進的な医療実習と、現地医学生に刺激を受けた日々。

医学部 医学科 2023年度卒
島谷 知樹 Tomoki Shimatani
広島県 私立広島学院高等学校卒

■ ストラスブール大学 (フランス)
2023年2月～3月 (4週間)

クリニカル・クラークシップでは、前半の2週間をICANSという、がん治療専門の施設で過ごし、後半を別の病院の神経科で過ごしました。「英語で医学を学ぶ」という目的を果たすうえで、放射線を用いたがん治療装置を見学したり、背中から針を刺して脳脊髄液を採取する腰椎穿刺のVRシミュレーターを体験するなど、充実した実習の毎

日でした。また、フランスでは医学生がカルテの記載など病棟業務の一部をこなすのを見て、同じ医学生として、もっと真剣に勉強に取り組みなければと、モチベーションが高まりました。将来海外で働く可能性も考えつつ、今後は機会があれば違う国の医療機関も体験したりしながら、世界へ情報を発信できるような医師を目指したいです。



スケジュール

リサーチ・クラークシップ

募集期間 7月～9月
選考 10月

クリニカル・クラークシップ

募集期間 7月～9月/4月～5月
選考 10月

短期プログラム

募集期間 1月～2月/3月
選考 2月～4月

プログラム	2022						2023												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
リサーチ・クラークシップ																			
クリニカル・クラークシップ																			
短期海外研修プログラム	ハワイ大学 / Summer Medical Education Institute																		
	シンガポール国立大学 シミュレーションセンター / Experiential Simulation Program																		

■ 募集期間 ■ 選考 ■ プログラム期間

※プログラムのスケジュール変更・中止の可能性あります



看護学科は、1898年に創設された横浜市立十全看護婦養成所が源流となり、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持った人材の育成に取り組んでいます。看護学の専門教育機関として関係職種や地域住民とも連携し、人々の健康や生活の質の向上に貢献し、高度先端医療を担い、新しい時代の実践の場を改革できる、誇り高い人材の育成を目指しています。

 **看護実践と研究の融合**

 **地域・グローバルと豊富な実践の場**

 **地域と共に看護教育を展開**

 **実践を後押しする学内の多様なリソース**

■ 看護学科カリキュラム全体像

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根拠を理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るまでのすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格（選択制）が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を収めています。



取得できる資格 ●看護師国家試験受験資格
●保健師国家試験受験資格（選択制）

Message from the Dean

横浜から世界へ ワクワクする看護学の未来を一緒に創りましょう。

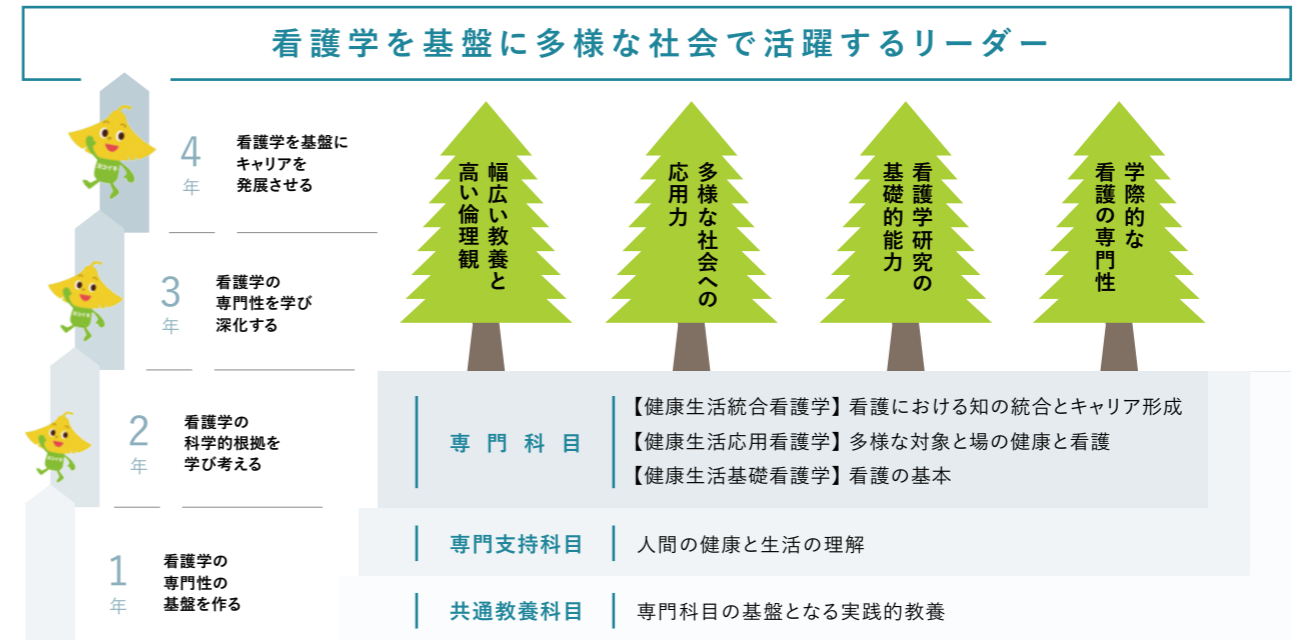
医学部看護学科 看護学科長 赤瀬 智子 Tomoko Akase ■看護生命科学

看護学は生活のある人々の健康を支援する学問です。そのため、本学看護学科での教育内容は、幅広い教養と共に、ヒトを細胞レベル、検査などは測定原理から理解することで、人々の健康の科学的根拠から“人を見る”実践力、“人を守る”質の高いアセスメント力につなげていきます。つまり、豊かな人間力と共に Scientific な思考を持つ看護職の育成を目指しています。カリキュラムとしては、社会的に重要なテーマを課題に全学部や医学科生と議論していく教養科目、海外フィールドワークや国際学会で発表をするなど各学年で

の継続的なグローバル教育、人々の多様性や複雑性に対応するための看護学の横断型学習、学生自身のキャリア志向に応じ、教養・実習・留学・研究が自由に選択できるキャリア形成教育などが本学の看護学教育の特徴です。また、本学看護学科では在学中に学生さんたちの科学的思考と豊かな発想から自由に研究に取り組んでいただきたいと思います。そして人に役立つ新たな看護ケアの開発など、一緒に看護学の未来を創っていきたくと思っています。人の役に立ちたい！また、探求心のある皆さんの受験をお待ちしています。



■ カリキュラム構成



■ 豊富な教育リソース・実習サポート体制

YCUの看護学科では、学生の興味関心に応じて、自由に学べる環境やリソースがあります。看護学科の目指す、「明日の看護のリーダー」を育成するため、アクティブラーニングによる能動的学修、基礎研究等の多様な学びを深めます。



横浜市内で最高水準の医療・看護を提供する2つの附属病院が、看護学科の実習生を受け入れ、高度で実践的な指導が行われています。2つの附属病院には、本学科の卒業生が多数就職しており、技術面の指導だけでなく、学生の将来の姿（ロールモデル）となり、精神面のサポートも充実しています。さらに、実習の学修目標に合わせて、横浜市内のさまざまな施設でも実習を行っています。

Pick up Curriculum

専門支持科目：看護生命科学 1年次～2年次

看護生命科学では、健康に関わる諸問題・課題を理解する基盤ともなる身体形態・機能等に加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態機能学I・II、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床形態看護学I・II等を配置しています。さらに身体各部の構造や位置関係および生理機能について演習を通して理解を深めるために看護形態機能学演習を配置しています。



健康生活応用看護学I 1年次～3年次

健康生活応用看護学Iは、成人看護学・母性看護学・小児看護学・老年看護学・精神看護学・在宅看護学の6領域から構成されています。ここでは人間の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防等、患者・家族の看護について学修します。各看護学は方法論、演習、実習で構成され、Task-Based Learning (TBL) によるアクティブラーニングの手法等も用いて、体系的に学べるよう配置しています。



専門支持科目：看護社会科学 1年次～4年次

看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支えるしくみを広く理解する科目である人間発達学、対人関係論、保健医療福祉行政論I・II、公衆衛生学等を配置しています。さらに選択科目として医療安全学、看護経済学、看護情報学、看護教育学を配置しています。



健康生活統合看護学 1年次～4年次

健康生活統合看護学は、専門共通看護学・国際看護学・統合実践看護学・キャリア形成看護学により構成されています。国際看護学では、講義やフィールドワークを通して地域社会や国際社会の変化や人々の多様な価値観に対応できる基礎的能力を身に付けます。キャリア形成看護学では、看護専門職の実践の基盤となる基本的な知識や技術・倫理観等を各学年で積み上げながら学び、学生個々人の目指すキャリアに応じた関心や課題を明確化し発展させていきます。



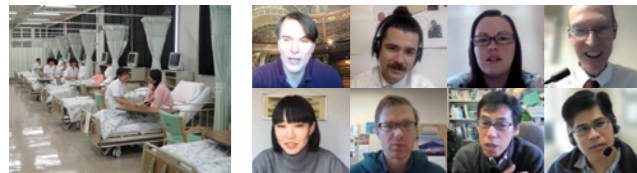
グローバル教育の取り組み

看護学科では、国際化社会における看護の実践と、看護、医療、保健における国際多様性を理解する事によって視野の広い看護職を育成するため、カリキュラムの中に体系的にグローバルな教育プログラムを用意しています。1年次から全学で取り組むPractical Englishで培った英語力を基盤に、さまざまな国際体験を積む事ができる他、意欲のある学生は自主的に海外に飛び出し、実践的な研究活動等に参加し、積極的にグローバルで多様な看護の現場を体験しています。

多様な国際交流プログラム

英語で看護の実践を積み 国際看護学Ⅰ

1年次の必須科目である「国際看護学Ⅰ」は、コミュニケーションの理論や基本的なスキルを学び、医療において増加する外国人患者に対する異文化コミュニケーションを学びます。この科目はPractical English Center（以下PEセンター）や外国人模擬患者の協力を得て、看護実践を結び付けたアクティブラーニングです。2023年からはPEセンターと共同して作成した医療コミュニケーションの教材で学びます。その他、学生自身のキャリアを視野に入れ、海外で学位を取得して国際協力で活躍された研究者、カナダの大学の異文化コミュニケーションの研究者の講義や、アメリカ・カナダでの実務経験を持つ看護師の講義、グローバルヘルスの問題や課題について学び合う機会となっています。



海外の看護を学び体感する 国際看護学演習Ⅱ（ハワイFW）

3・4年次「国際看護学演習Ⅱ」では、看護における国際的な視座を養う事を目的に「実践的語学トレーニング」と「ハワイ看護フィールドワーク（オンライン含）」を行います。3年次「実践的語学トレーニング」では、本学PEセンターの看護師資格を持つネイティブ英語教師が行うクラスを受講し、語学スキルアップを目指します。4年次フィールドワークでは、米国ハワイ州の医療現場で活躍する上級看護師や看護管理者からの講義、実践の見学・交流、ハワイ大学マノア校看護学部シミュレーションセンターとの演習交流を計画しています。また、ハワイ大学の講師からハワイの文化について学ぶとともに、プレゼンテーションを通じた文化交流も行い、多様な視点から看護を学び考察することを目指します。



海外の学生と看護課題を通じた交流 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンス）

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」は、日本と海外の若者の交流を通じ、日本及び世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的としています。看護学科ではこの助成を受け、アジア圏の大学生を横浜に招聘し、交流を実施しています。2022年度は「ロコモティブ・シンドローム」、2023年度は「緩和ケア」をテーマにインドネシア・ハサヌディン大学の看護学部生との交流を実施しました。グループワークなどを通して、医療体制、高齢化率、家族構成、運動・食習慣などが異なる両国に必要な支援を考えました。



途上国における国際看護の現場に飛び込む 国際看護学演習Ⅰ

2年次の「国際看護学演習Ⅰ」は、母子保健を中心とした国際看護の視点を養うことを目的に、海外フィールドワークを実施しています。2023年度はフィリピン・渡航型フィールドワークとインドネシア・オンライン型フィールドワークを実施しました。フィリピンでは地域のヘルスセンター、母子センター、私立病院、公立病院を訪問し、実際に行われている健診の様子を見学させてもらったり、関係者の話を伺ったりすることができました。現地の看護学生とは、お互いの国の看護や母子保健システムのプレゼンテーションとディスカッションを行い、学びを深めました。両国の文化の紹介も行い、国際看護の視野を養うと同時に、文化交流にもなる有意義な時間となりました。



これまで培った国際的視野で課題を追求 海外での卒業研究

海外での卒業研究は、看護の統合と実践Ⅲ（統合実習）に位置付けられます。看護実践の向上に関わる個々の関心やテーマ（課題）を追求するためのフィールドとして海外における調査が可能です。実際に現地の医療従事者や住民にインタビュー調査を行います。4年次は、学生自身の看護に対する考え方や卒業後の進路が明確となります。それに伴い学生個々の興味関心事が多様化し、近年では、卒業後に海外で活動することを希望する学生が増加しています。そのためYCUでは4年間の学修における集大成である卒業研究を、国内だけではなく海外でも行えるよう、学生のニーズを尊重しサポートする体制を整えています。



多様な学生の活動

正規のプログラムだけでなく、YCUの看護学生はその多様な興味関心や課題意識により、国内外のさまざまなフィールドに飛び出し、多角的な視点による国際交流で看護を深めています。

持続可能な都市づくり共通教育 プログラム（SUDP）の取り組み



全学部対象のグローバル都市協力研究センター主催のフィールドワークプログラム「SUDP」に参加しています。SUDPでは世界の都市問題（環境汚染や感染対策など）について、複数学部・研究科の学生が、公衆衛生、環境、まちづくりの観点から解決策を検討します。2023年度はタイでのフィールドワークを実施しました。

国際会議への参加



看護学科学生がさまざまな教育プログラムへの参加経験を International Council of Nurses (ICN) や International Academic Consortium for Sustainable Cities (IACSC) などの国際会議で発表しています。看護学科での国際的な経験を学術的に報告する機会となっています。

Practical English センター 福浦キャンパス分室

Practical Englishの授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリング等さまざまな学生サポートを行う Practical English センターの分室です。看護師として勤務経験のあるネイティブ講師と自由に英会話ができるコミュニケーション・アワーを設け、医学部学生の英語学習をバックアップしています。

国際交流掲示板

看護教育研究棟内には、学内・学外のさまざまな国際交流に関する情報を集めている掲示板があります。また、不定期に開催されるセミナー等への参加を積極的に促しています。

海外フィールドワーク 参加学生の声

現地の病院などを見学し、現地の人と交流して 国際看護に大切な看護の基本姿勢を再認識した。

渡航先：フィリピン

医学部 看護学科 3年
池田 愛美 Almi Ikeda 神奈川県立秦野高等学校卒

このフィールドワークではフィリピンにおける母子保健の現状について、実際の現場を見学します。国際協力での看護師の役割、看護実践に必要な視点が学べる機会だと思い、参加しました。現地のヘルスセンターでは、妊婦健診や乳幼児予防接種、分娩室の様子などを、公立・私立病院では新生児の集中治療室や、周産期混合病棟などを見学しました。設備を見るだけでなく、フィリピンの人々の生活も肌で感じられる貴重な機会でした。さらに大学を訪問し、看護学を専攻する学生たちと交流し、互いに医療制度や母子保健に関するプレゼンテーションも行いました。この経験を通じて、国際看護はこちら側の価値観で看護介入するだけではだめだと痛感しました。そこで暮らす人々の生活や習慣を理解し、尊重するという、看護の基本姿勢がいかに大切かを改めて認識できました。





充実度の高い学びの環境で培われる
理論と実践、そして協働力。

医学部 看護学科 3年
神奈川県 横浜市立桜丘高等学校卒
平田 歩 Ayumu Hirata

「患者さんと向き合い、笑顔にしたい」という思いから看護師を目指しました。YCUは、附属病院があることに加え、幅広い学生と交流できる点も魅力です。実際に入学してみると、学生数が少なく教員に質問がしやすい環境があり、グループワークではいつも多様な視点に触れられて刺激を受けています。1年次の後期に受講した「基礎看護学方法論Ⅰ」はとても印象的でした。看護に関する「コミュニケーション」「ベッド」など多様なテーマが与えられ、事前学習とグループディスカッションを通じて、看護とは何かを考えるという授業です。このような講義や実習で培った知識や技能、協働する力を、将来看護師として働く際に、活かしていきたいと思っています。



海外の学生と医療について語り合う
貴重なフィールドワークを体験。

医学部 看護学科 4年
栃木県立栃木女子高等学校卒
金谷 くるみ Kurumi Kanaya

YCUの看護学科にはさまざまな国際交流プログラムがあります。看護師として海外で活躍したい夢を持つ私にとって、こうしたプログラムはとても魅力的です。2年次はフィリピン・インドネシアの学生と交流し、文化や医療体制について情報交換することで、国ごとの文化の違いを知ることができました。また、実習では附属病院の病棟や、地域看護の機会が持てます。母性看護学実習では子育て支援の場に参加させてもらい、地域のお子さんやその保護者たちと交流しました。横浜は国際都市なので、国際結婚の家族など多種多様な環境の方と触れ合い、それぞれの悩みや不安に接することができます。そのようにグローバルな視野での看護を学べることも、YCUの大きな魅力だと感じています。



グループワークや発表を通じて
自分の考えを言語化する力が付いた。

医学部 看護学科 2023年度卒業
秋田県立秋田南高等学校卒
松橋 亜美 Ami Matsuhashi

地域看護を将来の仕事にしたい自分にとって、YCUは地域でも有名な附属病院での実習や、地域看護を支える保健師課程があることが魅力でした。また、総合大学なので、1年次の共通教養科目で他学部・学科の学生と同じ講義を受けて交流できるのも選んだ理由です。大学では講義や実習においてグループでの話し合いや発表を通して、自分の考えを言語化する力が身に付きました。また、4年次には地域看護学ゼミの卒業研究で、横浜市の福祉保健センターで勤務する保健師へ取材し、今後の子育て支援のあり方などを考察しました。春からはYCUの附属病院で看護師として勤務します。YCUの学びを現場で活かし、さらにスキルを高めていきたいです。

看護学科国家試験対策 (2023年度実績)



- 4月に4年生全員との個別面談を実施して指導・サポート。
- 看護師模試、保健師模試を年間5回実施し、ほぼ全員が受験。(4年次4、8、10、11、1月)
- 4年生全員を対象とした看護学科教員による弱点科目の補習講義の実施。(12月)
- 学外のパソコン・スマートフォン等からアクセス可能な学修ツール(e-learning教材)が使用可能。
- 伸び悩んでいる学生には補習講義や随時フォローアップ面接を実施。

国家試験対策スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	3年次			4年次									
看護			個別面談										
			模擬試験				模擬試験		模擬試験	模擬試験		模擬試験	
											卒業論文提出		
											補習講義	補習講義	
	フォローアップ面談												
													国家試験

看護学科 就職先・進学先 2024年3月卒業生

区分	就職先	人数	
就職	本学	横浜市立大学附属病院	26
		横浜市立大学附属市民総合医療センター	27
	横浜市内	神奈川県立こども医療センター	1
		横浜鶴ヶ峰病院	1
	神奈川県内	日本医科大学武蔵小杉病院	1
		川崎幸病院	1
	東京都	国立がん研究センター中央病院	2
		東京大学医学部附属病院	1
		東京都立神経病院	1
		日本医科大学附属4病院	1
日本医科大学附属病院		1	
日本赤十字医療センター		1	
	慶應義塾大学病院	1	

区分	就職先	人数	
就職	看護師	浜松医科大学医学部附属病院	1
		総合病院国保旭中央病院	1
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	1
		帯広厚生病院	1
	その他	2	
保健師	横浜市	1	
	鎌倉市	1	
	川崎市	1	
	町田市	1	
	平塚市	1	
その他	1		
その他		4	
進学	横浜市立大学 医学研究科 看護学専攻	2	
	専攻科(助産)2、専門学校(助産)4、大学院(助産)2、その他(2)	10	
合計		92	

看護学科卒業生は、看護師・保健師として就職・進学等の進路を選択し、YCUでは多くが横浜市内・首都圏の医療機関へ就職しています。

看護学科 修学資金貸与制度

看護学科3・4年次で、YCU卒業後直ちに附属2病院（附属病院・附属市民総合医療センター）に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。貸与を受けた期間に相当する期間、附属2病院で業務に従事した場合は返還が免除となります。また、優秀な人材確保とキャリア支援の一環として、助産課程やYCU大学院への進学期間における修学資金の返還猶予が認められています。

大学院紹介

医学研究科

Graduate School of Medicine



看護学専攻

YCUの看護学専攻は、地域に貢献する事をミッションに、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関としての歴史があります。少子高齢化社会の進展等により医療、保健、福祉のあり方が大きく変容する中において、看護学における高度な専門性と研究能力に裏打ちされた実践を通じて、看護の現場を改革できる人材を育成します。本専攻では、専門看護師受験資格取得、助産師国家試験受験資格取得に加え、特定行為研修（術中麻酔管理領域）を受講できます。また、2018年度より開設された博士後期課程では、複雑化する医療ニーズに対応できる看護理論を創造できる研究者や、CNS（専門看護師）等の高度実践看護専門職を育成できる教育者を養成する、市内唯一の看護学における高度な教育・研究拠点を目指します。

● 博士前期課程

広い視野に立脚して看護学の専門性を追求すると共に、エビデンスに基づいた看護実践ができる専門看護師や助産師・周産期看護師をはじめとした高度実践看護師を育成すると共に、看護学の研究能力を持って現場を変革できる看護管理者、また、高い識見を持つ教育者や研究者といった、次世代の看護をけん引するリーダーを育成します。

● 博士後期課程

2018年度から開設された博士後期課程では、今後ますます複雑・多様化する看護ニーズに対応できる看護スキルやシステム構築、看護理論等を開発できる看護学研究者の育成を目指しています。またそのような看護ニーズに対応できる高度実践看護専門職やそれらを育成できる看護学教育者、さらに臨床や行政において指導的な立場で専門業務を担う人材を輩出します。

看護学生の1日

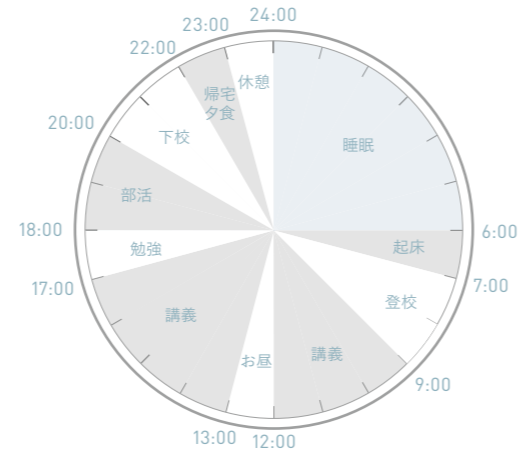
YCUの医学部看護学科の学生は、専門課程を福浦キャンパスにある看護教育研究棟で学びます。ここでは看護学生の1日のスケジュールを追いながら、看護教育研究棟を紹介します。



医学部 看護学科 2年 橋本 董 Sumire Hashimoto 神奈川県立多摩高等学校卒

一般的な看護学生のスケジュール

(※学年、学期によって時間割は異なります)



9:00 情報処理教室

ITリテラシーの育成を目的とする情報処理教室。設置されている100台のコンピュータには、レポート作成や課題発表に使用されるOffice系ソフトだけでなく、看護研究のための統計処理を行う解析ソフトも搭載しています。



11:00 講義室

棟内にはさまざまな大きさの講義室があり、音響設備も充実した140席の大講義室も完備。電動式黒板が大型スクリーンに切り替わり、映像を用いた授業も行なっている。



12:00 昼食・休憩

昼食は外のテーブルでお弁当を食べたり、キャンパス内の食堂を利用したりとさまざま。「食堂は亀田井が人気らしいです。メニューが時々変わるのも楽しみです。」



13:00 母性看護学実習室

女性の妊娠から出産における母性看護の技術を学ぶ実習室です。新生児(赤ちゃん)のモデル人形で沐浴や授乳・おむつ交換等を実習したり、妊婦のシミュレーションで診察から分娩までを演習します。

15:00 基礎看護学実習室

看護の技術や、検査・診察に関する基礎的な看護技術(血圧測定や採血等)を学ぶ実習室。授業の復習のために自主的に利用することも可能で、仲間と練習して意見を述べ合って学びを深めます。



看護教育研究棟

大・中・小の多くの講義室の他に、領域ごとの看護学実習室があり、これらには130インチの大画面ビデオプロジェクターをはじめとしたAV設備が設置され、講義やさまざまな催し物に利用されています。



部活動

部活動は、茶道部と東洋医学研究会に所属しています。茶道部は比較的少人数の部活ですが、棟内にある和室を使い、活動しています。活動ペースは月一回くらいで、メンバーが集まり、好きな和菓子をもち寄り食べたりしながら、楽しく茶道を学んでいます。一方の東洋医学研究会では、漢方を煎じて試飲してみたり、「ツボ押し」のような柔軟体操を勉強したりしています。普段触れる機会の少ない東洋医学の世界は、とても興味深いです。

YCUのここがスゴイ!

大きな講義室もたくさんあって、看護学科の約100人の学生が、ほとんどの授業を同じ教室で学ぶ事ができます。看護師、保健師、助産師などそれぞれ目指す職業は違っても、仲間が近くで頑張っている姿が見られるため、常に刺激を受けられます。もちろん、2つの大きな附属病院で実習を受けられるのも魅力です。

身近な実習機関として貴重な場を提供する、2つの附属病院

横浜市立大学附属病院 (病床数：671床)

福浦キャンパス

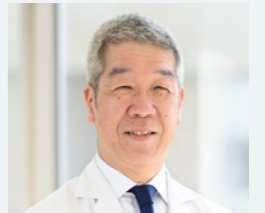


福浦キャンパスに医学部と共に立地する附属病院は、377万人の横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。高度先進医療の開発と発展を推進する、横浜市内唯一の「特定機能病院」であり、「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」「神奈川県エイズ治療中核拠点病院」「災害拠点病院」の役割を担う等、各領域で最高水準の医療・看護を提供しています。また、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協働して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。さらに、地域医療連携の中枢として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。

病院長メッセージ

日本と横浜のインフラ高度医療を通じて社会貢献、研究開発を世界に発信。

横浜市立大学附属病院は、高度専門医療や総合診療等、幅広い医療を通じて医学と地域社会に多大な貢献をしつつ、研究や開発により世界に発信する、まさに日本と横浜のインフラです。YCUは福浦、浦舟町という地に、歴史と特徴の異なる2つの附属病院を有し、高度先進医療から地域密着型医療まで幅広い医療を、多くの症例に接しながら実習・研修できる環境を整えています。医療職は、身に付けた専門知識を目の前の患者さんに直接役立て、目の前で患者さんの喜びを直接感じる、やりがいのある職業です。YCUで社会に貢献する医療人としての資質を大いに高めてください。



附属病院長 遠藤 格 Itaru Endo

横浜市立大学附属市民総合医療センター (病床数：696床)

横浜市南区浦舟町



附属市民総合医療センターは、1871年に全国で2番目の洋式病院として設けられた市民病院を出発点とし、市民の皆さまのご支援を受けて、2021年には創立150周年を迎えました。横浜市の医療の最後の砦として、市、県や地域の医療機関と連携し、高度で先進的な医療や集学的な治療を提供しています。市内唯一の高度救命救急センターを有する三次救急医療の拠点であり、「神奈川県総合周産期母子医療センター」「神奈川県精神科救急医療基幹施設」「災害拠点病院」「地域がん診療連携拠点病院」等の政策的医療も提供しています。さらに、「地域医療支援病院」として、地域の医療機関との連携や役割分担を進めながら、横浜市の地域医療に貢献しています。

病院長メッセージ

地元密着型医療から最先端の高度医療までカバーする「地域医療 最後の砦」。

横浜市立大学附属市民総合医療センターは、横浜市中核病院として、優れた医療人の育成に注力すると共に、時代を先取りした理念・基本方針を全職員が共有し、働きやすい職場環境を整備しています。当院では、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、心臓血管センター、精神医療センター、小児総合医療センター等の疾患別センターを中心に救急医療、高度専門医療を実践しています。さらに、「地域医療最後の砦」として新型コロナウイルス感染症の対応も重症患者さんを中心に行っています。当院での経験を通して、皆さんに知識、技術の修得のみならず、医療人としての高い倫理観や責任感を身に付けていただく事を期待しています。



附属市民総合医療センター病院長 神原 秀也 Hideya Sakakibara

研究施設・連携研究機関

■ 先端医科学研究センター（福浦キャンパス）



がん、生活習慣病等の克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進しています。

横浜市立大学先端医科学研究センターは、2006年に設置された大学直属の研究センターです。臨床への橋渡し研究を推進すると共に、各解析センター等の研究活動を基盤に、これまで文部科学省の「イノベーションシステム整備事業」や、日本医療研究開発機構（AMED）の「難治性疾患克服実用化研究事業」、「再生医療実現拠点ネットワークプログラム」「ウイルス等感染症対策技術開発事業」等、数々の大規模プロジェクトに参画する等、国内有数のライフサイエンス研究拠点として着実な成果を重ねてきました。2023年には今後想定される新興・再興感染症に備えて、新興感染症研究センターを設置しました。今後も優れた研究成果をより早く社会に還元できるように取り組みを進めていきます。

<p>基礎研究</p> <p>鶴見キャンパス（生命医科学研究科）</p> <p>福浦キャンパス（医学研究科）</p>	<p>橋渡し研究</p> <p>先端医科学研究センター</p>	<p>臨床研究</p> <p>次世代臨床研究センター</p>	<p>日常診療 病院における臨床応用</p> <p>横浜市立大学附属病院</p> <p>附属市民総合医療センター</p>
------------------------------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	------------------------------------------------------------------

■ 次世代臨床研究センター（附属病院）



臨床研究を円滑かつ安全に実施するための支援を行っています。

大学病院の使命には、「診療」、「教育」と並んで「研究」があります。研究には実験室で行う細胞や動物を用いた「基礎研究」と、実際に健康な人や患者さんを対象として新しい薬や医療機器、手術等の効果を調べる「臨床研究」があります。臨床研究には、大学病院や地域の医療機関で働く医師等、多くの医療者が携わっています。

Y-NEXT (YCU Center for Novel and Exploratory Clinical Trials) は、横浜市立大学を中心として行っている臨床研究を幅広く支援し、新しい治療法がより早く届けられるように病院の研究者をサポートする目的で2015年に設置されました。新しい治療法が開発される過程には、臨床研究が欠かせませんが、その臨床研究は計画、倫理審査申請、研究の遂行、データ管理、統計解析、信頼性確保、論文発表、医薬品・医療機器承認申請等のさまざまな工程があり、研究者だけではできないものではありません。

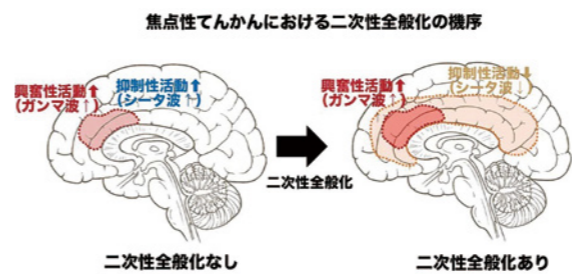
そのため、Y-NEXTでは研究者が臨床研究をスムーズに遂行できるように、医師、薬剤師、看護師等多職種がその専門性を発揮して多角的なサポートを行っている、いわば臨床研究・研究者を支える緑の下の力持ちです。

最近の主な研究 TOPICS

先端医科学研究センター

脳機能の中核を担うAMPA受容体を「見る」ことで解明～てんかん患者の脳機能の調節におけるシナプス可塑性の重要な役割が明らかに～
—「Cell Reports Medicine」に掲載—

医学部生理学 高橋琢哉教授らの研究グループは、脳の機能を担うAMPA受容体を可視化するPET用のトレーサー（化合物）を用いて、AMPA受容体のダイナミクスが、てんかん患者の脳機能を調節することを解明しました。本研究グループが開発したPET用トレーサーを用いた臨床研究により、てんかん発生の生物学的なメカニズムの解明に近づくことができました。



■この研究についての詳細はこちら



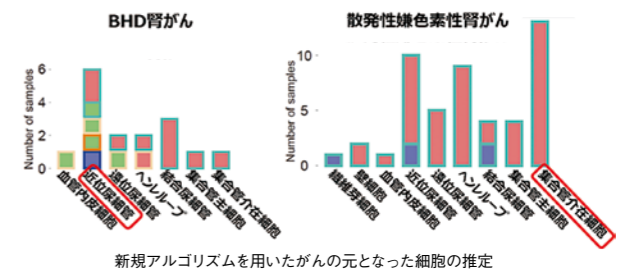
■生理学教室



腎臓がんの自然史を国際共同研究により解明～それぞれの腎臓がんの生い立ちを知り、最適なアプローチを行う～

— The Lancet Discovery Science [eBioMedicine] に掲載—

医学部泌尿器科学 蓮見 壽史准教授、免疫学 田村 智彦教授、分子病理学 藤井 誠志教授らのグループは国際共同研究により、腎臓がんが、元はどの腎臓細胞であり、その腎臓細胞がいつから腎臓がんとなったか、さらに、がんとなった後に本来、正常の腎臓が使う分化メカニズムを利用しながら成長すること、などを明らかにしました。



本研究は、文部科学省「特色ある共同利用・共同研究拠点事業」として認定されている本学の「マルチオミクスによる遺伝子発現制御の先端的医学共同研究拠点」の支援を受けています。

■この研究についての詳細はこちら



■泌尿器科学教室



■免疫学教室



■分子病理学教室



新興感染症研究センターを設立

先端医科学研究センターは、新型コロナの流行が始まった2019年に、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する高精度な抗原検出が可能な抗体の開発にいち早く成功し、さらには、中和抗体を測定する新しい手法の開発や市民の抗体価に関する調査報告などを実施して、免疫能の獲得について集団で評価することで社会活動の回復を後押ししました。本学ではこのような新興感染症のパンデミックにおける、公衆衛生の重要性を再確認し、平常時とは異なる速さで研究を実施する必要があるという教訓も得て、今後想定される新たな新興・再興感染症に備えるため、先端医科学研究センター内に「新興感染症研究センター」を設立しました。



■このニュースについての詳細はこちら



■新興感染症研究センター



肝臓の守り方を遊んで学べる「肝炎すごろく」を開発

先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センターは、国立国際医療研究センターと共同で「肝炎すごろく」を開発しました。ボードゲーム型の教材としてデザインすることで、健康への関心が低い若年層にアプローチすることが狙いです。人生ゲームを遊ぶ感覚で、ウイルス性肝炎や脂肪肝などのリスクとその対策を日常生活と関連づけて学習することができます。

肝炎すごろくは全国の肝疾患の拠点病院を中心に肝炎啓発の教材として使用されており、更なる普及のための改良を進めています。



人生ゲームのように、コインやカードを集めながら肝臓に起こりうる生活習慣の問題や肝炎ウイルス感染のリスクを体感できる「肝炎すごろく」

■この研究についての詳細はこちら



■YCU コミュニケーションデザインセンター



鶴見キャンパス

世界トップレベルの研究設備で学ぶ



鶴見キャンパスでは、生命医科学研究科および理学部の学生が学修、研究を行っています。本キャンパスに所属する教員は、学生の指導はもちろん、生命医科学分野における世界的な研究拠点となる事を目指して、研究活動に取り組んでいます。また、生命医科学研究科では、同敷地内にある理化学研究所や、教育研究の

出口を見据えて産業技術総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所と連携大学院協定を締結しています。それらに所属する世界トップレベルの研究を背景に持つ研究者が客員教員として教育に参画しています。

NMR装置



世界最高レベル高感度NMR装置を用いた生体高分子の研究を行っています。

NMR（核磁気共鳴）装置は、医薬品等の有機化合物のみならず、細胞や組織を構成するタンパク質、核酸、脂質等の生体分子を、非破壊的に原子レベルで観測できる卓越した研究機器です。鶴見キャンパスには500、600、700、800、950MHzとさまざまな静磁場強度の超電導磁石を持つNMR装置があります。中でも950MHz-NMRは世界トップレベルの感度を誇り、高速液体クロマトグラフィーで分離した化学物質をリアルタイムで検出できるように設計されています。これにより、超微量の代謝物質等を分解される前に同定でき、より大きな生体内タンパク質の立体構造や触媒作用に関するダイナミクスも解析できるようになりました。NMR解析から得られる情報は、新たな生命現象の解明の他、タンパク質が関与する疾病の原因究明、薬剤設計等の創薬研究、機能性食品の開発等、多岐に活用する事ができ、最先端の研究を推し進める事が可能となります。さらに950MHz-NMRは溶液の試料だけでなく、神経変性疾患の原因であるアミロイド等固体の試料でも測定できるようになっており、外部の大学や企業からの研究者にも広く利用されています。

スーパーコンピュータ



バイオ研究分野の分析を促進させるスーパーコンピュータ

HPE Apollo n2600 Gen10 Plus HPC Clusterは、2024年1月に導入されたスーパーコンピュータで、3584個の計算コアからなり、160.5 TFLOPSの性能を持ちます。このシステムの導入により、タンパク質立体構造の情報解析等さまざまな生命科学や創薬の研究分野がより推進されるものと期待されています。「バイオインフォマティクス」という研究分野は、その名前の通り、バイオ(生物学)とインフォマティクス(情報科学)が融合した研究分野です。「生体分子シミュレーション」は、DNAやタンパク質といった生体分子の機能や構造のあり方を、コンピュータの中で明らかにしようとする技術で、コンピュータの中で創薬を行う「インシリコ創薬」にも応用されています。さらに、最近進歩著しい人工知能(AI)も、バイオ研究や創薬研究に活用されています。このように、鶴見キャンパスでは、スーパーコンピュータをバイオ・創薬研究に最大限に活かすような最先端の研究を行っています。



木原生物学研究所 (舞岡キャンパス)

最先端の植物科学研究を舞岡から発信する



舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、コムギ等の高等植物に関する遺伝学や進化学の偉大な業績でゲノムの概念を世界に先駆けて提唱した木原均博士が設立した研究所を源流としています。現在は大学の附置研究所として、理化学研究所や農業・食品産業技術総合研究機構、名古屋大学ITbM等の他機関と連携し、最先端の植物研究を展開しています。数千系統のコムギや数百系統のトウガラシを

保有し、そこから集めた遺伝子情報をもとに遺伝資源を有効に活用する研究、それらのリソースをゲノム情報に置き換える研究、ゲノム情報をもとに現象を解明し実社会で役立てる研究等を行っています。また、研究所の教員は横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科の専任教員として、学部生と大学院生の教育に携わっています。

研究部門・各部門が目指すもの

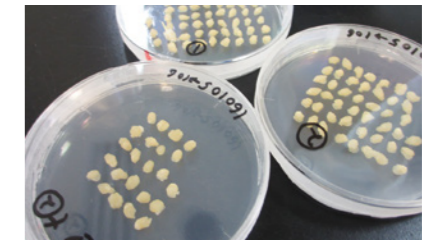
■ 植物遺伝資源科学部門

コムギ・トウガラシの系統保存をはじめ、その有効利用の研究や気候・病気に対する食料生産のための研究をしています。



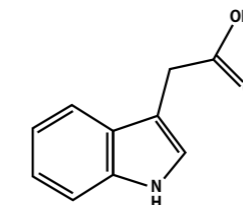
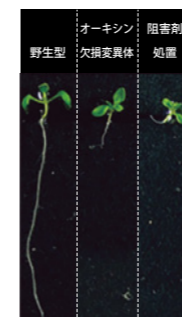
■ 植物ゲノム科学部門

コムギのゲノム情報を解読し、遺伝子レベルでパンコムギの品種改良や小麦粉の品質向上、アレルゲンフリー小麦粉の開発を目指しています。



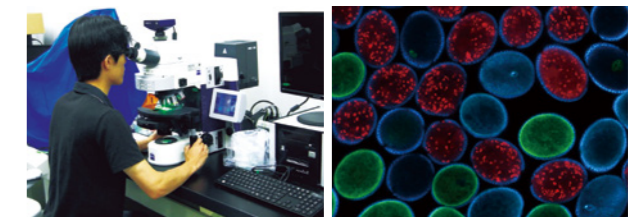
■ 植物応用ゲノム科学部門

植物ホルモンオーキシンによる生合成の研究やさまざまな植物での作用研究、植物の成長制御を分子レベルで研究しています。



■ 植物エピゲノム科学部門

ゲノム編集、エピゲノム情報解析、イメージング技術を駆使し、植物の生殖過程から種子形成でみられるオス・メスのせめぎ合いを明らかにすべく研究しています。



連携大学院・海外連携機関等

連携大学院とは、協定締結により外部の研究機関の研究者を大学の教員として迎え、その機関の研究環境を活用しながら研究指導等が受けられるシステムです。YCUではさまざまな機関と連携協定を締結しています。

連携大学院

生命ナノシステム 科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス 物質・材料研究機構 (NIMS)	海洋研究開発機構 (JAMSTEC) NTT 物性科学基礎研究所	農業・食品産業技術総合研究機構
生命医科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス	産業技術総合研究所(AIST)	国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)
医学研究科	量子医学研究所 国立感染症研究所 国立国際医療研究センター 理化学研究所 神奈川県立循環器呼吸器病センター 横浜市立市民病院	神奈川県立こども医療センター 公益財団法人がん研究会 がん研究所 神奈川県立がんセンター臨床研究所 あいち小児保健医療総合センター 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 国立成育医療研究センター	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 国立精神・神経医療研究センター 国立がん研究センター 国立病院機構横浜医療センター

主な海外連携機関

生命ナノシステム 科学研究科	台湾師範大学 チェンマイ大学 UCSDスクリプス海洋研究所 チューリヒ大学 ウボンラチャタニ大学 国立成功大学 サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所 名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所
生命医科学研究科	光州科学技術院 延世大学校
医学研究科	サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所 カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)

みなとみらいサテライトキャンパス



みなとみらいサテライトキャンパスは、横浜ランドマークタワー 7階「産学連携イノベーション拠点NANA Lv. (ナナレベル)」内に設置されています。企業のR&D施設やスタートアップ企業が集積するみなとみらい21地区で、横浜市が掲げる「イノベーション都市・横浜」の実現に貢献することを目指し、イノベーション人材の輩出や企業との新たなコラボレーションによる教育・研究に取り組んでいます。また、社会人教育拠点としてリカレント教育も展開しています。

主な事業

- データサイエンス研究科をはじめとする大学院教育
- 社会人向け教育プログラム等の運営
- 各種イベント
- 大学の研究者とプロジェクトスペース利用者等との交流
- 市民向けセミナー・公開講座



教室



企業のプロジェクトスペース



共用会議室

学生支援 学生サポート

YCUは規模が小さいがゆえに学生と教職員との距離が近く、少人数による教育やお互いの顔の見える関係が学生一人ひとりの学びを高めます。学修面のみならず、専門スタッフによる学生相談や情報交換の場、保護者への説明会等、サポート体制も充実しています。

キャンパス相談

各キャンパスで公認心理師等の資格を持つカウンセラーが、心身の健康、人間関係、学修、将来の進路等、学生生活におけるさまざまな事柄に関する相談に応じます。必要に応じて、教員や学務部門、社会資源につなぐ等、学生生活を円滑に送れるよう、サポートしています。



バリアフリー支援室

専任のコーディネーターが、病気や障害のある学生の相談や学修支援を行います。キャンパス相談や、学務部門と連携しながら、教員との調整や、個々の状況に即した対応を行う他、学内研修やサポートスタッフ（学生による有償サポート）の育成・調整等を行っています。



保護者説明会

YCUでは在学生の保護者の皆様を対象とした説明会を金沢八景キャンパス、福浦キャンパスで実施しています。本学の教育理念や学生生活・留学・就職に関する支援等について、保護者の方にも理解を深めていただくことで、学生へのサポートがより充実したものになるよう、毎年開催しています。



情報交換会

学生の自治団体（中央委員会、運動部連合会、文化部連合会、浜大祭実行委員会）の代表者と学生支援部門のスタッフがミーティングを行い、学生の声をダイレクトに吸い上げるとともに、主に大学行事や部活動、大学施設の利用等に関して、意見交換を行う場を設けています。



図書館

学術情報センター（金沢八景キャンパス）



約71万冊の
豊富な蔵書と
充実した学修施設

大学における学修・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵しています。さまざまな場面で活用できる学修環境や、学修支援サービスも用意しています。

医学情報センター（福浦キャンパス）



豊富な医学情報で
学修・研究と医療の
現場をサポート

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。YCUの学生・教職員に限らず一般の方にも広く開放され、地域医療の情報拠点となっています。

詳しくは
WEBで



キャリアサポート

詳しくは
WEBで



■ 合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討している企業に出展いただき、学内で企業説明会を実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者より密接なコミュニケーションを図ることができます。2022年度（2023年3月）は新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、オンライン形式で8日間実施し、約200社の企業が出展し、延べ約1,300名の学生が参加しました。また、2023年度（2024年2月）は、初めてオンラインと対面を組み合わせた形で計5日間で実施しました。低学年次生も参加可能とし、延べ1,200名を超える学生が参加しました。



■ 合同企業セミナーの主な出展企業（法人格省略）

IHI、アクセントチュア、イオン、イシダ、伊藤園、内田洋行、EIZO、エーザイ、エクサ、NTN、オービック、オカムラ、鹿島建設、かながわ信用金庫、神奈川中央交通、川崎汽船、キャンマーケティングジャパン、京セラ、グンゼ、サカタのタネ、佐藤製菓、サンスター、清水建設、Sky、住友倉庫、セイコーホールディングス、セブン銀行、全国農業協同組合連合会、ソニーグループ、大成建設、大鵬薬品工業、大和証券グループ本社、蝶理、東京ガス横浜中央エネルギー、トクヤマ、都市再生機構（UR都市機構）、TOPPAN、トヨタシステムズ、日産自動車、ニッポン、日本政策金融公庫、長谷工コーポレーション、パソナグループ、東日本旅客鉄道（JR東日本）、ファンケル、富士フイルムビジネスソリューション、古河電工、三菱商事RIMジャパン、明治ホールディングス、明治安田生命保険、横須賀市役所、横浜ゴム、りそな銀行、ルミネ 他

■ キャリア相談

専門のキャリアコンサルタントを配置し、マンツーマンで相談に応じています。1年次より利用可能で、希望する進路や将来のキャリア像にあわせて学生の自立をサポートしていきます。また、エントリーシート添削・模擬面接等、就職活動の具体的なアドバイスも行います。

■ Uターン・Iターン支援

首都圏以外の各地方で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、Uターン・Iターン就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を全国13大学と連携して行っています。学生は、就職を希望する地域のパートナー13大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談等の就職支援を受けられます。関東圏以外の出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

■ 就職支援パートナーシップ制度参加大学



■ キャリアメンター制度

就職活動を終えた4年生、博士前期課程（修士課程）2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程（修士課程）1年生の相談相手となって就職活動の支援をする制度です。これから就職活動をする学生は先輩から就職活動の情報やノウハウを得る事ができ、支援をする側の学生は先輩を指導する事で、社会人として役に立つ指導力やリーダーシップ、コミュニケーション力を磨く事ができる等、両者にとってメリットがあります。キャリア支援センターでは学生同士のWIN-WINの関係を構築する事で学生の成長を支援しています。



■ キャリアサポーター制度

YCUの卒業生が在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。学生がサポーターとして登録している3,500名以上の卒業生を就職先企業名で検索し、直接コンタクトを取ることができ、職場の雰囲気や仕事内容および就職活動でのエピソード等、会社説明会や人事の方からは得られないお話を聞くことができます。また、年に1回学内で「キャリアサポーターと学生の集い」と題した交流会を行っています。毎年在学学生を応援したい多くのサポーターと学生が参加し、仕事のやりがいや就職活動のアドバイスを聞くことができ、活気のあるイベントとなっています。2023年10月には、みなとみらいサテライトキャンパスで初開催しました。多様な業種、職種、年代のキャリアサポーターから、社会人のリアルな声を聴くことで、学生は今後のキャリアや働くことを想起する貴重なきっかけを得ることができました。



内定者の声

キャリア支援センターのガイダンスと 専門家の模擬面接が内定の決め手に。

データサイエンス研究科博士前期課程 データサイエンス専攻 2024年3月修了
矢崎 友貴乃 Yukino Yazaki 神奈川県 私立向上高等学校卒

1期生としてデータサイエンス学部を卒業し、博士前期課程に進学した後もゼミに先輩はいなかったため、就活について何をしたらいいのか分からない状態でした。そこで博士前期課程1年春からキャリア支援センター主催の理系大学院生向け就活ガイダンスに、全6回を欠かさず参加しました。就活はどうスタートすべきかを丁寧に教えていただき、さらに参考書の貸し出しからエントリーシートの添削、模擬面接のすべてを利用していただきました。模擬面接は5月の早い段階で体験。指導官は外部委託の専門家で、非常に実践的でした。その後も何度も模擬面接をしていた事が自信につながり、内定をいただきました。振り返れば、キャリア支援センターには、細かい事まで相談に乗っていただき、客観的意見を得られました。自分自身が納得できる進路を選択できて良かったです。



内定先 日本アイ・ピー・エム株式会社 ■ 就職活動期間：11 カ月 ■ 内定社数：2社 ■ 総応募社数：4社

焦る気持ちで助けを求めて かけられた言葉に勇気をもらった。

国際教養学部 国際教養学科 2024年3月卒業
山中 亮 Toru Yamanaka 茨城県 私立清真学園高等学校卒

もともと将来は公務員を目指していましたが、3年次の12月に民間企業へと志望を変更しました。周囲に比べて遅すぎる就活に不安を抱えながら、キャリア支援センターに駆け込みました。実際、専門職の方に模擬面接をしていただくポロポロの状態。それでもアドバイスとともに「山中さんには光るものがある」と励ましていただきました。また、改善点を記したフィードバックのメールにも「就職活動に正解はありませんが、あなたが選んだ道を正解にすればいいと思います」というメッセージがあり、勇気をもらいました。その後も就職活動に関する事を幅広く相談させてもらい、改善したポイントを本番の選考場面で活かす事ができて、無事就職が決まりました。今はキャリア支援センターの「メンター制度」に志願し、相談役として次年度卒の就活生を応援しています。



内定先 三井化学株式会社 ■ 就職活動期間：9 カ月 ■ 内定社数：3社 ■ 総応募社数：15社

■ インターンシップ

夏季や春季などの長期休暇を利用し、企業や官公庁など幅広い分野で一定期間、就業体験を行う制度です。学生は、自らの専攻や将来のキャリアと関連したインターンシップに参加することで、将来の方向性を見極めるヒントを得ることができます。海外インターンシッププログラムも例年実施しています（29ページ参照）。

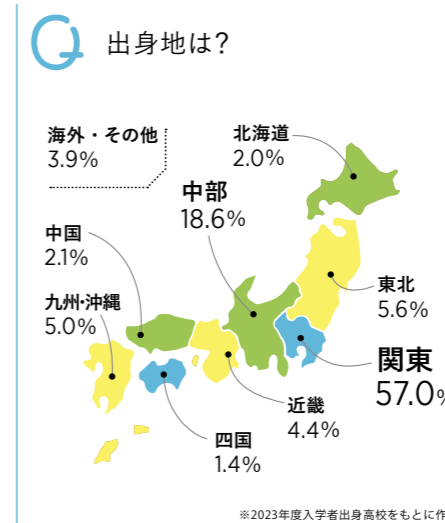
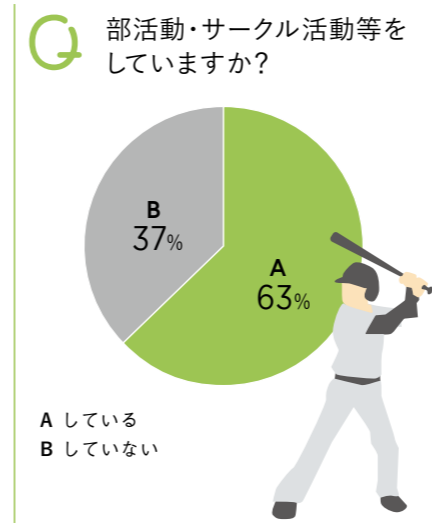
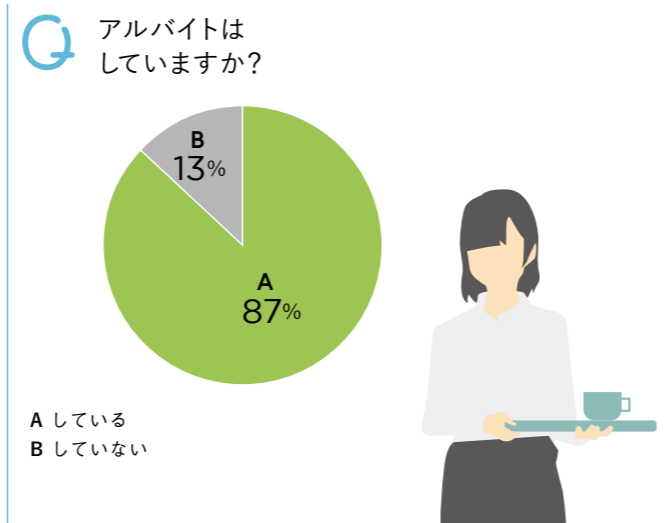
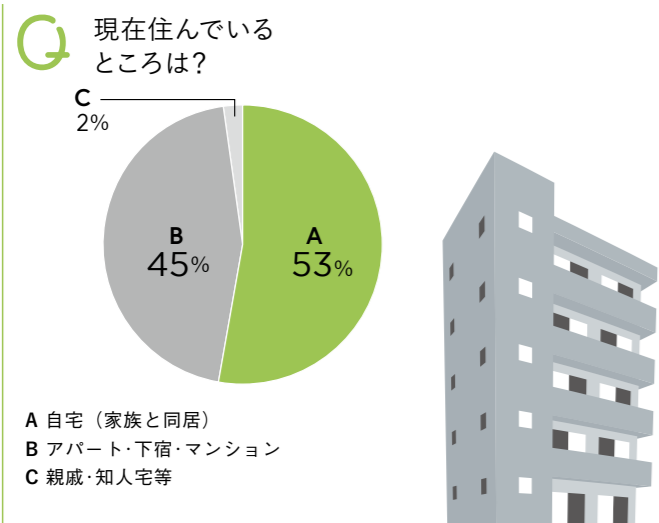
新たなインターンシップルールについて

文部科学省・経済産業省・厚生労働省の三省により、一定要件を満たしたプログラムのみ「インターンシップ」と位置付けるよう見直され、インターンシップのルールが変更されました。本学では、新たなルールが適用されたインターンシップを実施しています。

一定要件 5日間以上、学部3・4年ないしは修士1・2年の長期休暇に実施すること、就業体験や、受入れ先の社員によるフィードバックを必ず行う など



数値で見る学生生活 2022年度学生生活アンケート(学部生の回答結果)、2023年度入試結果より



ヨッチー YOCHY

横浜市大のイチヨウ並木から生まれたイチヨウの精。お調子者で元気いっぱいなところが取り柄で、海外旅行のために、苦手の英語も頑張る努力家です。仕事はイチヨウの葉の色付けて、特技はマジック。モットーは「時代に流されない」。

MASCOT

学生お気に入りスポット YCUのメインキャンパスである金沢八景キャンパスと医学部のある福浦キャンパス。キャンパス内にあるYCU生たちのお気に入りスポットを紹介します！

金沢八景キャンパス

いちょうの館

学生のためのスペース。ガラス張りで見やすく開放的な空間は、仲間とのミーティングやグループ学修にも活用されています。

Library Students Plaza

図書館内で会話やディスカッションもOKのオープンスペース。机や椅子を自由に動かす事ができ、YCU生たちはグループ発表の準備やセミナー等に活用しています。

福浦キャンパス

食堂

医学部生のお腹を満たしてくれる医学部食堂はカフェテリア方式。隣に併設されている購買部では、医学書や看護の専門書、白衣や聴診器等も取り扱っています。

看護教育研究棟1階

看護教育研究棟の1階は、福浦キャンパスの中では知る人ぞ知る癒しスポット。隣の光が温かく降り注ぐ窓際のソファで思わずほっこり。お昼休み等には、学生が奏でるグランドピアノの音色に癒されます。

YCUトリビア YCUの「実は...」な情報をお届けします！

01

時計台の間を通ると単位を落とすという噂が...!

02

セブン-イレブンが24時間営業のようで実はそうじゃない...

03

時々、ドラマ*の撮影に使われている!

04

アーティスト H・Kさんが卒業生!

05

いちょうの館のトイレがやたらオシャレ! わざわざ通うファンがいるとか...

*金沢八景キャンパス「ブラッシュアップライフ」、「初めて恋をした日に読む話」、福浦キャンパス「ザ・トラベルナース」、附属病院「九十歳。何がめでたい」等

YCUの1年

(参考:2024年度予定)
● 共通年間スケジュール 国際教養学部/国際商学部/理学部/データサイエンス学部/医学部

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ●入学式 ●新入生オリエンテーション ●前期授業開始 ●履修登録申請 ●1学期授業開始(医学科) ●前期授業開始(看護学科) 	<ul style="list-style-type: none"> ●新入生研修(医学科) ●履修登録確認期間 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都立大学との定期戦 	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本医科学生総合体育大会 	<ul style="list-style-type: none"> ●前期終了/夏季休暇 ●ゼミ合宿 ●海外派遣プログラム(夏期) ●関東甲信越大学体育大会 	<ul style="list-style-type: none"> ●後期授業開始 ●後期履修申請 ●2学期授業開始(医学科) ●後期授業開始(看護学科) ●実験動物慰霊祭(医3年) ●ご遺骨返還式(医2・6年)

● 金沢八景キャンパス 国際教養学部/国際商学部/理学部/データサイエンス学部/医学部(1年)/大学院
● 福浦キャンパス 医学部 医学科(2~6年)/看護学科(2~4年)/大学院

10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練 ●履修登録確認期間 ●共用試験 ●臨床実習後OSCE(医6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●浜大祭 ●Medical Festival ●共用試験CBT(医4年) ●医学のために献体された方々への感謝の集い 	<ul style="list-style-type: none"> ●冬季休暇 ●卒業論文提出 ●共用試験OSCE(医4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業論文発表会(文系) ●3学期授業開始(医学科) ●白衣授与式(医4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●後期終了 ●海外派遣プログラム(春期) ●卒業論文発表会(理系) ●医師国家試験 ●看護師/保健師国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業式 ●医学部・医学研究科学位授与式

*変更になる可能性があります。

通学時間も
楽しんでいます！



実家暮らし

梶谷 真千 Machi Koujitani
国際商学部 国際商学科 4年
神奈川県 横浜市立横浜商業高等学校卒
部活 ▶ Volunch

家族にサポートしてもらいながら 夢を持って楽しく学ぶ毎日

ずっと神奈川県に住んでいるので、なじみのある横浜の大学に通えて良かったなと思っています。我が家は両親と妹の4人家族。毎日母がおいしい夕食とお弁当を作ってくれ、健康面でもサポートしてもらっています。通学時間は1時間強かかりますが、その間も音楽を聴いたり勉強をしたりと有意義に

使っています。高校時代から経理関係の仕事に就きたいとあって、大学でも会計の学びを深められた事が有意義でした。卒業後は税理士法人に勤務する事が決まっていますので、残りの1年も専門性を高められるよう、しっかりと勉強していきたいです。

1ヵ月の生活費	
収入	
アルバイト代:	4万円
支出	
食費:	0円
交際費:	1万5千円
通信費:	0円
娯楽費(洋服等):	1万円

Schedule (3年次)



キャンパスの
イチョウ並木が
好き



家が遠いので
1限の時間が
大変!



試験勉強は
図書館で



学術情報
センターの
テーブルで
お弁当



実家暮らし キャンパスライフ Q&A

- Q 実家暮らしのいいところは?
A おいしいご飯、人と一緒に住む温かさ。
- Q アルバイトはしていますか?
A 企業の人事部のアシスタント。
- Q 大学生の醍醐味は?
A 時間を自由に使えるところ。
- Q 座右の銘は?
A 「地道な努力は未来の自分を助ける」。

Student's Voice

YCUを選んだ理由は?

高校で学んだ商業に関することを大学でより深く学びたかった

留学プログラムや海外研修が充実していたから

キャンパスはどんな雰囲気?

アットホームで落ち着いた雰囲気

和気あいあい!

YCU生になって良かったと感じることは?

アットホームな雰囲気です。居心地が良いところ

IB(国際バカロレア)生や他大学との交流も含めて、人間関係を広げられたこと

YCUのいいところは?

少人数制の授業が多く教授に質問しやすいところ

都会過ぎず地方過ぎないちょうど良い立地

キャンパスライフのスタートで大事な事は?

大学の講義時間に慣れる事。高校までの50分授業よりも40分長いので忍耐力と集中力が必要!

いろんな新歓に参加したり、周りの学生に話しかけたりしてみる。多くの人とつながりを持つと楽しさが広がる!

YCUに入って一番嬉しかったことは?

第一志望のゼミに入ることが出来た事

同期との助け合いの関係を築けた事

YCUのトリビアは?

学術情報センターのX(旧Twitter)でのつぶやきが面白い

全国で最も定員が少ない医学部医学科



音楽活動も
充実中!



一人暮らし

加藤 咲磨 Sakuma Kato
医学部 医学科 2年
群馬県 私立ぐんま国際アカデミー高等部卒
部活 ▶ ピアノ会(全学・医学部)、軽音部(医学部)、医学部卓球部、横浜市IFMSA

学業も趣味も部活も全力で 自由に楽しめるのが一人暮らしの良さ

群馬県で小学校から同じ学校に12年間通い、それで横浜に来たので、最初は「どうやって友達を作ろうか」と少し不安でした。しかし、入学してすぐにくさんの友人ができて、日々刺激的に過ごしています。幼い頃から続けてきたピアノも継続し、学内のピアノを借りて授業の合間によく弾いています。

このほか軽音学、卓球、そして国際医学生連盟(IFMSA)の横浜市支部の横浜市IFMSAにも所属し、勉学と両立させながら日々を充実させています。最近では医学教育や化学の勉強にも興味を抱き、1日が24時間では足りないくらい。好奇心のまま、自由に学び、遊べるのが一人暮らしの良さですね。

1ヵ月の生活費	
収入	
仕送り:	9万円
アルバイト代:	2万円
支出	
食費:	4万円
娯楽費:	3万円
公共料金:	4千円
家賃:	7万円
通信費:	3千円
生活備品費:	2千円

Schedule (1年次)



通学は自転車



YCUスクエアで
勉強



シーガル食堂の
豚汁が好き



キャンパスで
ピアノ演奏



一人暮らし キャンパスライフ Q&A

- Q 一人暮らしの楽しいところは?
A 生活の自由度が広がる。
- Q アルバイトはしていますか?
A オンラインの個別指導教師。
- Q 一人暮らしで苦労することは?
A 日常的な家事・規則的な生活の維持。
- Q 横浜の街ってどんなところ?
A 利便性、観光、自然などのバランスがとれた街。

Club/Circle

詳しくは
WEBで



YCUの部活、サークルの団体数は、運動系・文化系を合わせて約120。
アルバイトやボランティア活動、インターンシップ等の活動と両立しながら、それぞれの目標に向かって励んでいます。
もうひとつの大学生活の選択肢はさまざまです。



金沢八景キャンパス

運動部連合会所属団体
アーチェリー部/アメリカンフットボール部/ウインドサーフィン部/
応援団チアリーダー・リーダー部/チアリーディング部 YCU Elite/
オリエンテーリング部/空手道部/弓道部/男子グランドホッケー部/
女子グランドホッケー部/剣道部/男子硬式庭球部/女子硬式庭球部/
硬式野球部/サッカー部/柔道部/準硬式野球部/水泳部/スキー部/
卓球部/テコンドー部/軟式野球部/男子バスケットボール部/
女子バスケットボール部/バドミントン部/男子バレーボール部/
女子バレーボール部/男子ハンドボール部/女子ハンドボール部/
男子フットサル部/女子フットサル部/ヨット部/ラグビー部/陸上競技部/
YCU SUP team

文化部連合会所属団体
アカペラシンガーズvoxbox/囲碁将棋部/映画研究部/
演劇研究部/科学倶楽部/かるた会/管弦楽団/ギター部/
軽音楽部SESSION/混声合唱団/茶道部/
ジャグリングサークルしゃかりきパンダ/吹奏楽団奏/
Second Wind Jazz Orchestra/探検部/ダンス部ALMA/
鉄道研究部/天文部137Mel/陶芸部/パソコン部 CLIP/
学生会HAKKEY+/美術部/ピアノ会/文芸部/
漫画研究会/三浦半島研究会/TEHS

福浦キャンパス

医学部運動部連合会所属団体
剣道部/硬式庭球部(男子)/硬式庭球部(女子)/硬式野球部/ゴルフ部/サッカー部/
柔道部/医学部少林寺拳法部/水泳部/ソフトテニス部/卓球部/ダンス部zer0/
バスケットボール部男子/バスケットボール部女子/バドミントン部/男子バレーボール部/
女子バレーボール部/フットサル部/ヨット部/ラグビー部/山岳部

医学部文化部連合会所属団体
機械情報医学研究会(旧We×Medicine)/ACLS研究会/茶道部/
手話サークル・あしながおじさん/学生赤十字奉仕団/ちんぷいぷい/東洋医学研究会/
美術愛好会/福浦倶楽部(軽音)/福浦絃楽舎/分子医学研究会/Hepburn's/
Yokohama Medical Klavier(ピアノ会)/外科手技研究会/解剖道場/医学部YDC/
いのちの授業グループ/福浦ボーカーサークルWorld/YCU救急サークル/横浜市IFMSA/
Hair for Children

2024.2月現在

CAMPUS MAP

金沢八景キャンパス



■ 国際教養学部 ■ 国際商学部 ■ 理学部 ■ データサイエンス学部 ■ 医学部 (1年次)

「金沢八景駅」から徒歩5分という好立地に、
緑に囲まれたキャンパスがあります。
コンパクトにまとまったキャンパスでは、アットホームな雰囲気の中、
学生たちが勉学やサークル活動に励んでいます。
正門から続く銀杏並木は、春夏秋冬でさまざまな表情を見せ、
訪れた人たちの心を和ませてくれます。
落ち着いた雰囲気が漂うキャンパスは、
映画やドラマの撮影にも使われます。



横浜駅から約18分。コンパクトで緑豊かなキャンパス。



理学系研究棟

理学部の実験室、演習室や研究室があります。



YCUスクエア

2016年春に完成した「YCUスクエア」は、YCUの新たなシンボル。白を基調とした明るく開放的なデザインで、地域の人と学生、教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。



銀杏並木

1948年に横浜医科大学予科(医学部医学科の前身)の学生たちが植えたものです。



時計台

YCUのシンボルとなるオブジェです。敷地内の中央に位置し、学生たちが待ち合わせの場所としても利用しています。



市大交流プラザ (いちようの館)

YCU創立75周年記念事業のひとつとして、卒業生からの寄付金等をもとに建設。広く市民の方々と企業の皆様と学生、卒業生、教職員が相互に交流を深め、さまざまな情報を発信していく場として活用されています。



第2グラウンド

全面に人工芝が敷かれた多目的グラウンドとテニスのオムニコート3面からなる第2グラウンドでは、主に運動部が活動しています。週末には地域開放も行っており、市民の方々に広く利用されています。



保健管理センター

すべての学生、教職員の健康増進、疾病の予防や心身の不調等に、医師・保健師・看護師・臨床心理士が各キャンパスで対応しています。急なケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談だけでなく、人間関係や学業等さまざまな悩み・心配ごとの相談にも応じています。



シーガルセンター

約700席の食堂をはじめ、売店やホール、スタジオ、談話室等、学生生活を充実させるさまざまな施設が揃っています。



総合体育館

アリーナに加えて、空手・剣道場、柔道場、トレーニングルーム、温水プールを備えた体育館です。学生の課外活動や、各種イベントに活用されています。



トレーニングルーム



温水プール



アクセス 横浜駅から約18分 / 品川駅から約40分 / 羽田空港から約40分 (京浜急行線利用)

CAMPUS MAP

福浦キャンパス

■ 医学部 (2年次以上)

シーサイドラインの「市大医学部駅」とキャンパスが直結されたアクセスの良さ。
 キャンパスは大学附属病院と隣接しており、
 早くから医療現場を体験する事ができます。
 また、サッカー、野球等が可能なグラウンドの他
 テニスコートが3面、体育館、サークル棟を完備し、
 充実した運動設備に恵まれています。

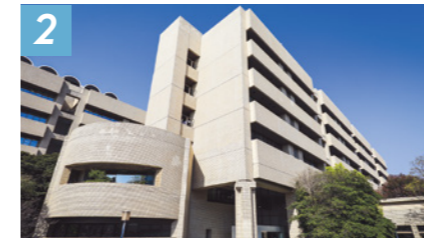


大学附属病院と隣接。医療現場に近いキャンパス。



1 先端医科学研究センター

がんや生活習慣病等の克服に向けた最先端の医科学研究を行う共同実験施設等が整備され、その成果を市民に還元できるよう研究開発が行われます。



2 基礎研究棟

臨床医学・基礎医学を担当する教員の研究室があります。附属病院での診察と並行して、臨床・基礎分野での研究が行われています。

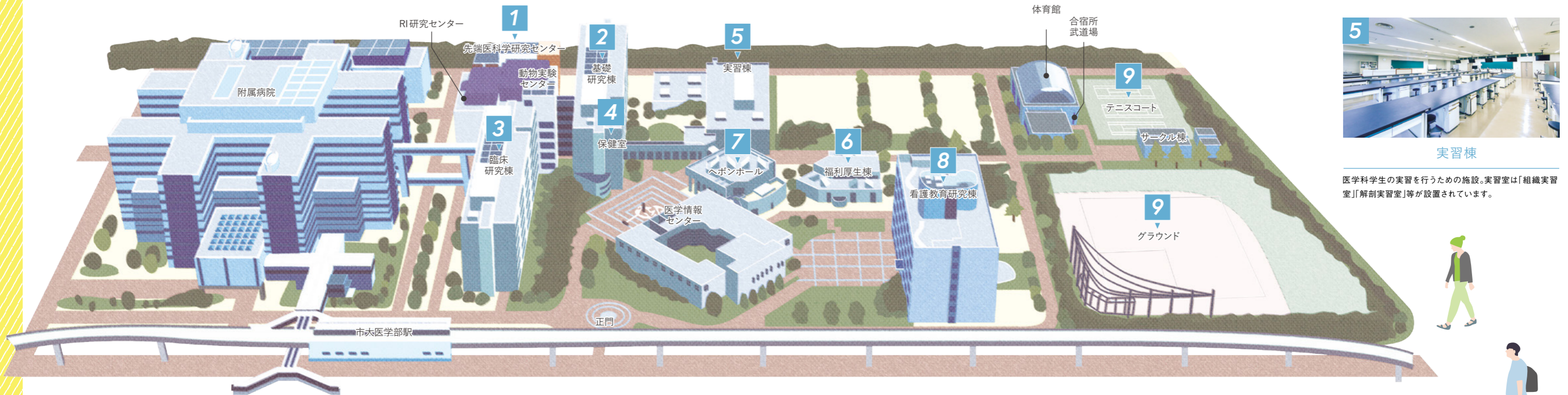


3 臨床研究棟



4 保健室

看護師が常駐しており、ケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談に応じています。



5 実習棟

医学科学生の実習を行うための施設。実習室は「組織実習室」「解剖実習室」等が設置されています。



6 福利厚生棟

カフェテリア方式の食堂をはじめ、購買では医学書・看護専門書や、日用雑貨、旅行取扱まで幅広く取り揃えています。



7 ヘボンホール (講義棟1F)

横浜近代医療の歴史は、アメリカ人のヘボン博士の横浜における開業医活動から始まりました。その功績を称える趣旨で医学科講義棟1Fの多目的ホールを「ヘボンホール」と名付けました。



8 看護教育研究棟

多くの講義室の他に、領域毎の看護学実習室があり、講義や演習をはじめさまざまな催しに利用されています。また、棟内にはラウンジがあり、ランチタイムや講義の合間にほっと息ついたり、おしゃべりしたりと楽しく過ごすスペースが用意されています。



9 テニスコート・グラウンド

キャンパス内には、テニスコートの他、グラウンド、体育館、武道場のスポーツ設備に加えて合宿所も整っています。

アクセス

シーサイドライン「市大医学部駅」直結。「金沢八景駅」より約10分

学費・奨学金

学費等

◆は毎年納入となります。(2024年度実績/単位:円)

学部・学科	入学区分	国際教養学部 国際商学部		理学部 データサイエンス学部		医学部			
		市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	医学部医学科		医学部看護学科	
項目						市内 ※1	市外	市内 ※1	市外
学費	入学金	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000
	施設設備費(初年度のみ)	25,000	50,000	25,000	50,000	150,000	200,000	25,000	50,000
	授業料 ※2 ◆	557,400		557,400		573,000		557,400	
	実験実習費(2年次以降) ※2 ◆	—		16,700		35,000		16,700	
諸会費	学術研究会会費	2,000		2,000		2,000		2,000	
	後援会会費	50,000		50,000		50,000		50,000	
	進交会(同窓会)入会費	5,000		5,000		5,000		5,000	
	自治会入会費	3,000		3,000		3,000		3,000	
	自治会会費	12,000		12,000		18,000		12,000	
	俱進会会費	—		—		30,000(6年分)		—	
保険料 ※5	学生教育研究災害傷害保険 保険料 ※3	3,300(4年間)		3,300(4年間)		4,800(6年間)		—	
	学生教育研究災害傷害保険 付帯学生生活総合保険 保険料 ※4	補償内容により 36,790~80,310(4年間)		補償内容により 36,790~80,310(4年間)		59,310~(6年間) [一人暮らし学生用] 51,050~(6年間) [自宅学生用]		—	
	日本看護学校協議会共済会 保険料	—		—		—		7,000(1年間)	
生活協同組合出資金 ※6	30,000		30,000		30,000		30,000		
初年度納付金合計 ※7	795,400	961,400	795,400	961,400	972,000	1,163,000	795,400	961,400	
入学時納付金合計 ※8	238,000	404,000	238,000	404,000	399,000	590,000	238,000	404,000	

※1.入学区分の「市内」とは、入学の日の1年以上前(2024年4月1日)から引き続き本人またはその扶養義務者が横浜市内に住居を有する場合に該当します。
 ※2.本学入学後に授業料・実験実習費が改定された場合は、改定後の授業料・実験実習費が適用されます。なお、授業料は分納(5月・10月)です。
 ※3.被保険者が正課、学校行事、学内での課外活動、届出した学外での課外活動中に傷害を受けた場合に対象となります。任意加入ですが、授業等で実習を行う場合、受入先から加入を求められる場合があります。(理学部のみ加入必須)
 ※4.学校の内外を問わず、学生自身のケガや病気の他、他人に対する賠償事故や臨床実習中における事故等を補償します。
 ※5.保険料は入学後のお支払いとなります。
 ※6.生活協同組合に加入する際は、出資金が必要です。(出資金は、卒業または退学時に返還されます)
 ※7.「初年度納付金合計」は、保険料、生活協同組合出資金、実験実習費を除いた合計額です。
 ※8.「入学時納付金合計」は、入学金・施設設備費・諸会費の合計金額です。

諸会費とは

YCUでは、入学者の皆さんに学生生活の充実、福利厚生の上昇、教育・研究活動の援助を目的とした活動を行う各団体(学術研究会、後援会、進交会、自治会)への加入をお願いしています。加入すると、各団体が行っているさまざまな支援(課外活動、就職関係、資格取得関係、留学関係、研究関係等)を受けることができます。また、キャンパス内へのベンチの設置や学内のICT環境の整備等も後援会の助成により行われています。



奨学金

● 高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金と授業料減免)

学ぶ意欲のある学生が経済的な理由で進学・進級をあきらめることのないよう、日本学生支援機構の給付型奨学金と大学の授業料減免をセットにして支援する国の制度です。本学は対象校に認定されています(2024年3月現在)。申請要件(家計基準等)や支援内容(給付額・減免額・区分)の詳細は、文部科学省のWebサイト及び日本学生支援機構のWebサイトで確認してください。

※高校等で在学中に申請して、日本学生支援機構(給付型)の予約採用候補者となっている方は、入学金等の納付期限猶予の手続きが可能です。
 ※前期中に給付奨学金に採用された場合は「YCU入学サポート給付金(支援区分により施設整備費相当額を給付する本学独自の支援制度)」の利用も可能です。

● 日本学生支援機構奨学金(貸与型)

貸与終了後に返還義務が生じる奨学金制度です。第一種奨学金(無利子)と、第二種奨学金(有利子)があり、申請要件(成績、家計基準)が異なります。詳細は日本学生支援機構のWebサイトで確認してください。

〔日本学生支援機構Webサイト〕



● 団体奨学金

自治体や財団、企業等の外部団体が募集を行う奨学金です。募集する奨学金ごとに支援内容(給付型・貸与型)・申請要件・募集時期が異なりますので、本学Webサイト及び自治体・財団、企業等のWebサイトを確認ください。

[過去に採用実績のある主な奨学金]
 (学部生) 小原白梅育英基金、櫻山奨学財団 等
 (大学院生) 吉田育英会マスター21、萬谷記念かながわ奨学基金 等

〔本学Webサイト(各種団体奨学金)〕



在学中に家計が急変した際の救済制度

生計維持者の死亡や事故、病気等、予期できない事由や災害等で家計が急変した場合には、年間を通じて申請することができます。各制度の詳細は本学Webサイトより確認してください。

- 高等教育の修学支援新制度 家計急変採用
- 日本学生支援機構奨学金(貸与型) 緊急・応急採用
- 緊急応急対応型授業料減免(本学独自の経済支援制度)
- 災害見舞金(本学独自の経済支援制度)

〔本学Webサイト(家計が急変した学生へ)〕




YCUの最新情報


2つの大学祭で《YCU》の雰囲気を楽しんでください。
またYCUでは、受験生はもちろん、高校1・2年生、保護者の皆様に向けたさまざまな情報発信を行っています。
※オープンキャンパス・進学相談会の日程については、大学Webサイト等で随時、情報発信しますのでご確認ください。

■ 大学祭

浜大祭 **11/3日 4月・祝**
▶ 金沢八景キャンパス



Yokohama Medical Festival **11/16± 17日**
▶ 福浦キャンパス



■ WEBサイト

受験生ポータルサイト



入試やイベント情報など、受験生の気になる情報を1つのサイトにまとめました。



受験生のためのWEBマガジン ヨコ知り!



現役の学生や卒業生、先生たちの生き生きとした姿を、記事や動画をご覧ください。



■ 進学説明会・ガイダンス

全国各地で行われる進学相談会等（入試相談会）に参加します。本学 WEB サイトで最新情報を確認してください。



■ アドミッションズセンター Instagramアカウント



ID: ycu_admi2055
アカウント名: 横浜国立大学 アドミッションズセンター
URL: https://www.instagram.com/ycu_admi2055/

■ SNSで最新情報を発信

X, Instagram, Facebook, LINE, YouTubeでさまざまなYCU情報を発信中。アカウントをフォローして、YCUをもっと知ろう!

X公式アカウント	Instagram公式アカウント	Facebook公式アカウント	LINE公式アカウント	YouTube公式アカウント
ID: @YCU_koho アカウント名: 横浜国立大学 https://twitter.com/YCU_koho	ID: yokohama_city_university アカウント名: 横浜国立大学 (YCU) https://www.instagram.com/yokohama_city_university/	ID: YokohamaCityUniv アカウント名: YCU横浜国立大学 https://www.facebook.com/YokohamaCityUniv	ID: @yokoichi アカウント名: 横浜国立大学 https://page.line.me/yokoichi	ID: YokohamaCityUniv https://www.youtube.com/YokohamaCityUniv

スマホ・ケータイで YCUの各種情報をチェック!

「がんばれ国公立大学受験生!!」サイトから、入試をはじめとする本学の情報を見ることが出来ます。メールマガジンの登録をすれば、本学からのお知らせが自動的に配信されます。情報サイトの利用料もメールマガジンの登録料も無料（通信料は除く）です。ぜひご利用ください!

<http://ycu.jp/>

各種資料の請求方法

テレメールで請求する

願書・資料の請求方法 インターネットでご請求ください。



1 テレメールにアクセスしてください
パソコン・スマホ・ケータイなら <https://telemail.jp/>

2 ご希望の資料を選択してください

資料名	資料請求番号	発送開始予定
入学者選抜要項	582620	7月上旬
総合型選抜募集要項	582610	7月下旬
海外帰国生/国際バカロレア【医学部以外】/科学オリンピック特別選抜募集要項	542630	7月下旬
外国人留学生特別選抜募集要項	582590	7月下旬

資料名	資料請求番号	発送開始予定
社会人特別選抜募集要項	586270	7月下旬
国際バカロレア【医学部】/特別公募制学校推薦型選抜【医学部】募集要項	953400	9月下旬
国際バカロレア【看護学部】/特別公募制学校推薦型選抜【看護学部】募集要項	762740	9月下旬
一般選抜第2次試験問題・解説集	562580	9月下旬

※料金はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後1週間以内に表示料金をお支払いください。
支払い方法は「スマホアプリの請求書支払い (LINE Pay, PayPay, au PAY)」「コンビニ支払い」「ケータイ払い (携帯電話通話料金と一緒のお支払い)」「クレジットカード払い」がご利用になれます。
なお、支払いに際して手数料が別途必要になります(ケータイ払い、クレジットカード払いは30円。コンビニ支払い、スマホアプリの請求書支払いは118円。
料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
※一般選抜・公募制学校推薦型選抜の募集要項については大学Webサイトでご確認ください(インターネット出願に伴い、冊子体の発行は行っていません)。

3 ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください

※テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。
※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

4 資料が届きます

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
※予約受付の資料を除き、通常、発送日からおおむね3~5日で資料が届きます。
ただし土曜・日曜・祝日の配達はありません。地域、郵便事情によっては1週間程かかる場合もあります。また発送開始日が変更になる可能性もあります。

「モバっちょ」で請求する

スマホ・ケータイ・パソコンから請求できます。

下記URLにアクセスするか、スマホ・ケータイで右のQRコードを読み取ってください。

<https://djc-mb.jp/yokohama-cu2/>



◇入学者選抜要項・各種学生募集要項: 各250円

〈料金支払い方法〉

請求時払い	携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます(支払手数料は別途50円必要です)。 ※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払えない場合があります。その場合は、コンビニ払いを選択してください。
後払い	資料到着後、コンビニでお支払いください(支払手数料は別途126円必要です)。
「モバっちょ」での請求方法についてのお問合せ先 大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター ☎ 050-3540-5005 (平日10:00~18:00)	

「LINE」で請求する

LINEから資料を請求できます。※スマートフォン限定サービスです。



直接受け取る

金沢八景キャンパス正門守衛所にて、募集要項等各種案内書を24時間受け取る事ができます。

※配布開始日はテレメールの発送開始に準じます。